

京都大学 東南アジア研究センター要覧



平成7年度版

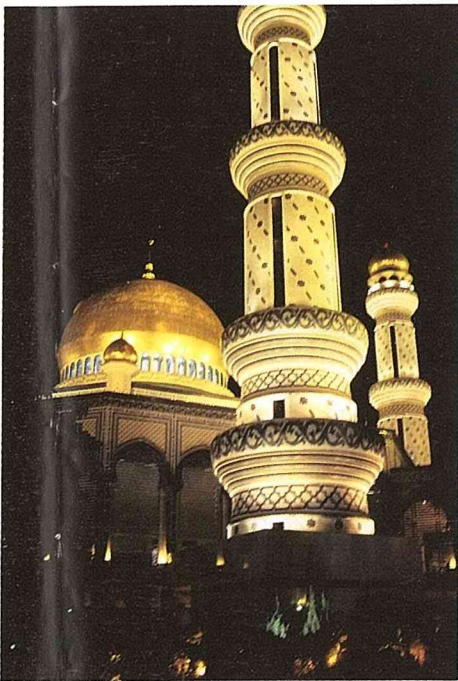
ボルネオの生態風土



バジャウの人々 (サバ・センボルナ)



シブの港風景 (サラワク・シブ)



ブルネイのモスク
(ブルネイ・バンダルスリブガワン)



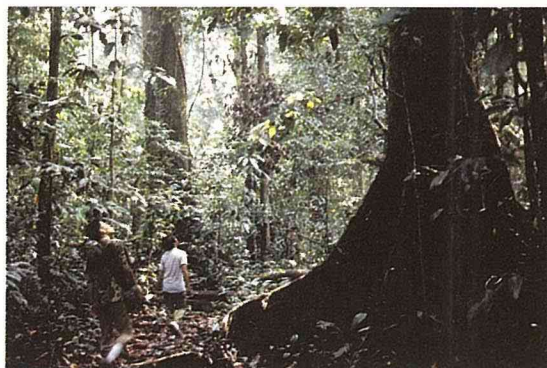
バダス泥炭湿地林の開発 (ブルネイ・バダス)



バンジャルマシンの川の民
(カリマンタン・バンジャルマシ)



オランウータンの保護
(中カリマンタン・タンジュンブティン)



セビロックの混交フタバガキ林 (サバ・サンダカン)



淡水湿地に稲をつくる人々
(東カリマンタン・ロングバワン)



カリマンタン源流域の稲作地帯
(東カリマンタン・ロングバワン)



プナンの子供たち (東カリマンタン・プジュンガン)

ま え が き

京都大学東南アジア研究センターは、昭和40年に、わが国で初めて国立大学に附置された研究センターとして官制化され、専任としては1部門4人の教官と2人の事務官をもって発足いたしました。歳月とともに9つの研究部門に成長したセンターは、さらに組織的な充実をはかって、平成元年度からはそれらを5大部門および客員部門に組み替え、現在に至っております。わが国における地域研究の先駆けとしての役割を果たすとともに、東南アジアに関する資料の集積をもはかってまいりました。教育の面でも、農学研究科熱帯農学専攻や人間・環境学研究科文化・地域環境学専攻の協力講座としての役割を果たしてきましたが、今後さらに積極的な取り組みをめざしております。こうした活動の中で、今年は30周年を迎えました。地域研究の重要性がますます強く認識されている今日、その責任の重大さを自覚しながら、着実な研究活動をさらに進めるべく努力を続けていく所存です。

本要覧は、東南アジア研究センターの機構や研究活動を要約し、あわせて、研究スタッフの紹介と公的出版物の目録を収めて、センターの歩みと現状を広くお知らせすることを目指しております。本要覧を通じて本センターの意図するところをご理解いただき、一層のご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成7年12月1日

京都大学東南アジア研究センター
所 長 坪 内 良 博

目 次

第1章	性格と沿革	1
第2章	機構と組織	4
	1. 機 構	
	2. 協議員	
	3. 職 員	
	4. 海外連絡事務所	
	5. 学内研究担当教官	
	6. 学外研究協力者	
第3章	研 究 活 動	8
	1. 調査・研究	
	2. 国際交流	
	3. シンポジウム・セミナー・研究集会	
	4. 東南アジア学フォーラム	
	5. 研究会等	
	6. 東南アジアセミナー	
	7. 資料収集および情報処理	
	8. 出版	
第4章	大 学 院 教 育	23
	1. 農学研究科熱帯農学専攻	
	2. 人間・環境学研究科：東南アジア地域研究講座	
第5章	研 究 ス タ ッ プ	25
	1. 研究部門	
	2. 資料部	
第6章	出 版 目 録	48
	1. 研究叢書等	
	2. 『東南アジア研究』（24巻1号から33巻3号まで）	
	3. 研究報告書シリーズ	

第1章 性格と沿革

京都大学東南アジア研究センターは、東南アジアおよびその周辺諸国を総合的に研究することを目的として設立された特色ある研究機関である。東南アジアとは、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ビルマ（ミャンマー）、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ブルネイの10カ国をさすが、研究の対象としては、厳密にこの範囲に限定しているわけではない。仏教の研究のためスリランカをふくめ、熱帯稲作の研究のためバングラデシュ、インドにまで手をひろげ、対外経済活動の研究のためには香港、台湾、韓国をも対象としたこともある。周辺諸国というのは、この意味である。

センターの研究活動は、自然科学をもふくむ点において、人文科学とくに人類学と政治学を中心とする欧米の地域研究とは異なる特色をもっている。自然環境の現状と変遷の過程を視野にいれて変動する地域を総合的に捉えるということが第一義的な目標であるが、それと同時に、関連学問分野を包括的な視野の下に収め、新しい問題群に取り組み、既成の学問分野を越えた新しい知の枠組みを作り上げることも重要な課題である。しかしながら、総合的といっても、基本的には地域の内在的理解が先行すべきで、そのためには徹底的な分析・解析的な研究の積み重ねが必要であることは当然である。

現在、一般的に広く地域研究と称されるもののみが、本センターの追求する総合的・包括的地域研究ではない。本センターの中でも、総合的地域研究の手法が確立しているわけではなく、いろいろなアプローチを比較・検討しながら、世界に類を見ない地域研究の確立に鋭意努力している。このような地域研究の現状にかんがみ、当面の目標は、今や日本で緊急に必要とされている地域研究のあるべき在り方を、将来への展望を含みつつ早急に確定し、範型として世に示すことである。その意味で1993年度から発足した文部省重点領域研究「総合的地域研究の手法確立——世界と地域の共存のパラダイムを求めて」は、センターひいては日本の東南アジア研究、地域研究の新たな展望を開くものと期待される。

近隣のアジア諸国とわが国との学術文化の交流が深まるにつれて、センターが地域研究の中心として果たすべき役割への期待はいよいよ高まりつつある。その要請にこたえるため、センターは東南アジア諸国の学者・文化人はもちろん、東南アジア研究に関心をもつ世界の学者との不断の交流につとめている。そして同時に東南アジアに関する文献資料・学問的情報を収集し、それらをひろく内外の学者に利用してもらえるような態勢を整備し

つつある。学問研究の国際交流は、これからの日本にとって大きな課題であるが、とくに近隣の東南アジア諸国の基礎的研究を実施しているセンターは、こうした面でもつねにその先達としての努力を傾ける必要があろう。

東南アジア研究センターが、京都大学に正式に設置されたのは、1965年のことである。それより以前、1963年1月には、本学に学内措置として「東南アジア研究センター」が設けられた。学内措置として創設せられた当時は、もっぱら民間からの寄付金とフォード財団からの研究奨励金を委任経理金として受け入れ、それによって多数の本学教官を東南アジア各地の現地調査に派遣した。その研究活動の中心は、タイ計画とマレーシア計画という2つの総合調査であった。それは人類学者による村落定着調査から、農学者による熱帯稲作の諸条件の研究に至るまで、極めて多岐にわたったが、常に現地に密着し、現地の研究者と共同して研究を進めるという態度を失わないように留意してきた。このため当初よりバンコクに連絡事務所を置き、政府機関・大学・研究者との交渉、連絡に当たらせてきた。これらの研究の成果は、1963年に創刊された『東南アジア研究』に次々と発表され、内外の学者の注目を浴びるに至った。

この成果に対する評価は、センターが1965年4月に国立学校設置法施行規則の改正による全国で初めての「研究センター」として、京都大学の正式の研究機関と認められた事によって確定したと言えよう。それより逐年研究部門の増加を認められ、1988年度までに12部門（客員部門3をふくむ）、教授13名（客員部門教授相当4をふくむ）、助教授12名（客員部門助教授相当2をふくむ）、助手9名（客員部門助手相当2をふくむ）の定員を持つ研究機関に成長した。特にこの客員部門のうち、地域研究第一（外国人客員）研究部門は、東南アジアからの研究者をセンターの客員研究員として迎えるもので、この種の国際交流のための部門の設置は全国で最初の試みであった。

1989年度には研究部門の大幅な編成替えが実施された。これは、それまでの客員部門を除く9研究部門を生態環境、社会生態、統合環境、地域発展、人間環境の5つの大部門に統合するもので、これによってセンターの研究スタッフは、教授18名（客員部門教授相当4を含む）、助教授12名（客員部門助教授相当2を含む）、助手8名（客員部門助手相当2を含む）へと拡充された。

東南アジアの地域研究を任務とする性格上、長期、短期の臨地研究が必須とされる。臨地研究を核に、センターにおいては各種の学際的な共同研究が組織されているのが特徴である。研究活動の活性化を図るために、5年ごとにセンターとしての研究テーマの見直し

を行い、それに基づいて研究班を組織してきた。1980年（昭和55年）度には、「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」が組織され、熱帯モンスーン・エコシステム班と小型家産制国家班とが編成された。1985年度の「東南アジア世界の成立と展開に関する文明論的総合研究」では、外文明と内世界、文明と国家形成、文明と生態環境、文明と経済環境の4班が組織された。1990年度には、「東南アジア世界の固有論理と発展構造に関する総合的研究」が発足し、歴史構造、自然生態、社会組織、地域統合にかかわる4班が研究を進めている。これに対応する臨地研究は文部省科学研究費補助金「国際学術研究」によって、毎年2ないし3班の研究班を海外に出している。

センターは、創設の当初以来和英両方の研究叢書の出版を行なって、研究成果を内外に問うてきているが、1970年以降、邦文は創文社に、英文はUniversity of Hawaii Pressに出版を委託して公刊している。また季刊誌『東南アジア研究』も内外の大学その他の研究機関と交換しているばかりでなく、財団法人アジア研究協会（理事長 奥田東）に委託して、一般購読の道をひらいている。

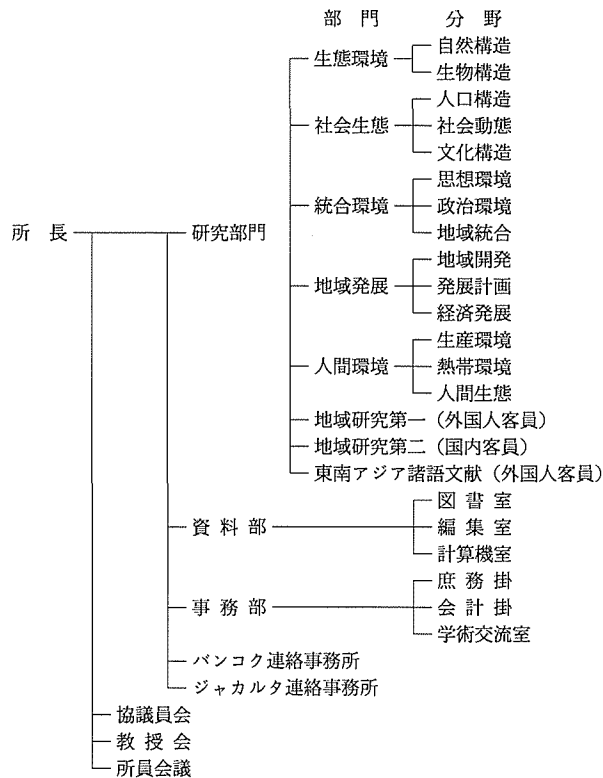
1969年に「バンコク連絡事務所」の運営経費が、次いで1973年に「ジャカルタ連絡事務所」の運営経費も国の予算として認められるとともに、現地調査費も国の予算で認められ、ようやく当センターの現地調査を計画的に推進する最小限の基礎が与えられるようになった。それ以来センターでは、この予算を活用して、大学内の「研究担当教官」による東南アジア研究をわずかながらも支援できるようになった。また1978年度から「非常勤講師経費」を認められ、さらに1980年度には地域研究第二（客員）研究部門が設けられたことにより、「学外研究協力者」が積極的に研究参加できる機会を提供できるようになった。また、1986年度には新たな客員部門として、東南アジア諸語文献研究部門が新設された。近年、東南アジア各国の図書資料が精力的に収集されているが、この部門新設によってそれらの整理方法の確立、資料情報の一層の収集のために、東南アジア各国から書誌学者、カタログラーを招くことが可能となった。

大学院教育としては、1981年度から、農学研究科熱帯農学専攻の、そして1993年（平成5年）度より人間・環境学研究科文化・地域環境学専攻の協力講座となって、大学院学生を受け入れている。大部門制による研究組織の縦割りと、研究テーマによる横割りとを勘案しながら、地域研究教育に取り組んでいる。

第2章 機構と組織

1. 機構

1995年度現在、東南アジア研究センターは、5大研究部門、3客員研究部門からなる研究部、および資料部、事務部で構成され、東南アジア地域の現地調査を円滑に行うための海外連絡事務所として、タイにバンコク連絡事務所を、インドネシアにジャカルタ連絡事務所を設置している。事務部は庶務・会計の2掛に分かれ、さらに内部組織として学術交流室を設置し、それぞれ業務を担当している。また、本センターの議決機関・協議機関として、協議員会、教授会、所員会議が設けられている。



2. 協 議 員

協議員会は、センターの運営に関する最高議決機関であり、センターの所長、教授および助教授1名、ならびにセンター所長が委嘱した関係部局の教授または助教授7名によって構成されている。

3. 職 員

センターの職員は、(イ) 研究部、(ロ) 資料部 (図書室, 編集室, 計算機室), (ハ) 事務部からなる。1995年11月現在の職員は次のとおりである。

所 長 教 授 坪 内 良 博

(イ) 研 究 部

生態環境部門

教 授 古 川 久 雄	熱帯農業環境
教 授 山 田 勇	森林生態学
助 手 阿 部 健 一	森林生態学
助 手 増 田 弘	熱帯農学

社会生態部門

教 授 坪 内 良 博	社会学, 人口学
教 授 立 本 成 文	文化人類学
教 授 加 藤 剛	比較社会学
助 教 授 五十嵐 忠 孝	人類生態学
助 教 授 林 行 夫	文化人類学, 宗教社会学
助 手 石 川 登	社会人類学

統合環境部門

教 授 応 地 利 明	人文地理学
助 教 授 玉 田 芳 史	比較政治学
助 教 授 西 村 重 夫	比較教育学
助 手 永 井 史 男	比較政治学

地域発展部門

教授 吉原 久仁夫	経済発展論
教授 海田 能宏	農村開発論, 熱帯農業水文学
助教授 池本 幸生	経済発展論

人間環境部門

教授 福井 捷朗	農業生態
助教授 田中 耕司	作物学
助手 河野 泰之	土地・水利用

客員研究部門

地域研究第一 (外国人客員)

Nakharin Mektrairat	政治学
Buared Prachaiyo	森林生態学
Che Wan Ahmad Zawawi bin Ibrahim	社会人類学
Hasnat Abdul Hye	農村発展論・地域発展論

地域研究第二 (国内客員)

教授 高谷 好一	自然地理学
助教授 早瀬 晋三	歴史学

東南アジア諸語文献 (外国人客員)

Rakotomalala Daniel	航海民族学
Phongpharn Lawananont	図書館学

(ロ) 資料部

助手 北野 康子 (図書室)	東南アジア書誌学
助手 米澤 真理子 (編集室)	
助手 永田 好克 (計算機室)	言語情報処理

(ハ) 事務部

事務長	事務官	北山 昭生
庶務掛 掛長	事務官	戸倉 照雄
	主任 事務官	山本 重夫
	事務官	瀧 陽子 (学術交流室勤務)
	臨時用務員	二股 房子

会計掛	掛長	事務官	三宅	学
		事務官	小西	喜久男
		事務官	井上	拓自

4. 海外連絡事務所

(イ) バンコク連絡事務所

バンコク連絡事務所（所在地，25/1 Soi 16, Sukhumvit Road, Bangkok, Thailand, 電話 259-6475；Fax 258-1834）は，1963年10月に開設されて以来，6度にわたって駐在地の変更があったが，この間のべ58名が駐在の任に当たった。

(ロ) ジャカルタ連絡事務所

ジャカルタ連絡事務所（所在地，Jalan Gunawarman, No.47, Kebayoran Baru, Jakarta, Indonesia, 電話 720-3668；Fax 720-2324）は，1970年10月に開設されて以来，4度にわたって移転があったが，この間のべ43名が駐在の任に当たった。

5. 学内研究担当教官

当センターは，東南アジア研究に関心をもつ学内各部署の教官に，研究担当教官として参加を委嘱している。1995年度において，これらの研究担当教官は125名を数える。

6. 学外研究協力者

当センターは，総合的に地域研究を実施するため，東南アジア地域の研究に関心をもつ全国各地の大学・研究機関等の研究者に，研究協力を仰いでいる。1995年度において，これらの研究協力者は238名を数える。

第3章 研究活動

1. 調査・研究

(1) 共同研究

センターの調査・研究活動は個別研究と共同研究に大別されるが、共同研究のうち、センターの大部分のスタッフの関与するものは、センター研究計画（プロジェクト）として推進されている。センタープロジェクトは、5カ年を単位として設けられる共通のテーマのもとに、所員が任意の研究グループをつくり、科学研究費補助金「国際学術研究」などを通じて臨地研究を協同で行うものである。1980年度から1984年度までの5カ年計画として、「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」というテーマのもとに、このセンタープロジェクトが遂行され、また1985年度から、第2次5カ年計画として「東南アジア世界の成立と展開に関する文明論的総合研究」が進められた。1990年度からは、第3次5カ年計画として「東南アジア世界の固有論理と発展構造に関する研究」が進められている。これら共同研究は、現地調査を中心として行われること、学際的なチームメンバーを組んで行われること、東南アジア地域の外国人研究者の参加を得て行われることを特色としている。

1980年度から開始された「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」5カ年計画では、「熱帯モンスーン・エコシステムにおける農業の発展と地域間交渉の展開」と「小型家産制国家の社会基盤と経済発展」の2つの研究班が編成された。1985年度から始まった「東南アジア世界の成立と展開に関する文明論的総合研究」では、「外文明と内世界」、「文明と国家形成」、「文明と生態環境」、「文明と経済環境」の4つの研究班が組織された。

1990年度から始まった「東南アジア世界の固有論理と発展構造に関する総合的研究」では4つのクラスターを作って研究を進めている。「東南アジア世界の成立と歴史構造」、「東南アジアの自然生態と発展形態」、「東南アジアの人間環境と社会組織」、「東南アジアの文化環境と地域統合」が4つのクラスターである。いずれのクラスターも、文部省科学研究費補助金（海外学術調査）あるいはその他の機関の援助を得て精力的な調査を進めている。本年度までに出版された研究成果の一部は、第6章「出版目録」の研究報告書ン

リーズの項に掲載されている。なお、1990年度以降にこの共同研究のもとで実施された科学研究費補助金による海外学術調査は以下のとおりである。

- 1990年度：「東南アジア型都市文明の形成——外文明からの変容と内発的展開——」（研究代表者：坪内良博）
「中国における農業生態空間の展開と人の移動に関する歴史的研究」（研究代表者：古川久雄）
「東南アジア海域世界の動態に関する総合的研究」（研究代表者：土屋健治）
- 1991年度：「中国における農業生態空間の展開と人の移動に関する歴史的研究」（研究代表者：古川久雄）
「東南アジア海域世界の動態に関する総合的研究」（研究代表者：土屋健治）
- 1992年度：「海域世界の地域間比較」（研究代表者：矢野 暢）
「島嶼部東南アジアのフロンティア世界に関する動態的研究」（研究代表者：加藤 剛）
- 1993年度：「海域世界の地域間比較」（研究代表者：矢野 暢）
「島嶼部東南アジアのフロンティア世界に関する動態的研究」（研究代表者：加藤 剛）
「コラート高原における人間・環境・作物複合の総観的研究」（研究代表者：福井捷朗）
- 1994年度：「熱帯海域世界の比較研究」（研究代表者：高谷好一）
「島嶼部東南アジアのフロンティア世界の動態に関する総合的研究」（研究代表者：加藤 剛）
「コラート高原における人間・環境・作物複合の総観的研究」（研究代表者：福井捷朗）
- 1995年度：「熱帯海域世界の比較研究」（研究代表者：古川久雄）
「サヘルと南インドにおける在来農法の再評価と両地域間技術移転の可能性に関する研究」（研究代表者：応地利明）
「人と森世界に関する大陸間比較研究」（研究代表者：山田 勇）
「ウォーラセア海域世界におけるネットワーク型社会の文化生態的動態」（研究代表者：田中耕司）

以上のセンタープロジェクトの他にさまざまな共同研究がセンター内外の研究者を組織して実施されてきた。日本学術振興会の拠点大学方式による日本・タイ学術交流事業に関わる共同研究、国際協力事業団の研究協力事業として実施されているバングラデシュとの共同研究「バングラデシュ農村開発研究」、あるいは日本学術振興会と日立国際奨学財団の助成による「マレーシア農村部における社会経済変動と文化変容」（マレーシア国民大学との共同研究）などである。

（2） 個別研究

現在のセンターのスタッフによる個別研究については第5章「研究スタッフ」の紹介の項をご参照願いたい。

(3) 重点領域研究

文部省科学研究費補助金の重点領域研究『総合的地域研究の手法確立——世界と地域の共存のパラダイムを求めて——』（略称：総合的地域研究 領域代表者は矢野暢から後に坪内良博に変更）が、4年間の予定で、1993年度から発足した。この研究は、これまでの東南アジア地域研究の成果をもとに、東南アジアの地域性と固有性を明かにし、さらに、地域と世界との共存を展望する「総合的地域研究」を通して「新しい知の枠組み」を構築することを目指すものである。具体的には次の6つの計画班と14の公募研究班で研究が行われている。

総括班 総合的地域研究の手法確立	研究代表者 坪内良博
A 地域研究の先端領域：東南アジアからの視座	
A 01 地域と生態環境	研究代表者 荻野和彦（愛媛大学）
A 02 地域性の形成論理	研究代表者 坪内良博（センター）
A 03 地域発展の固有論理	研究代表者 原洋之介（東京大学）
B 地域研究の手法	
B 01 外文明と内世界	研究代表者 西村重夫（センター）
B 02 地域連関の論理	研究代表者 山影 進（東京大学）
B 03 総合的地域研究の概念	研究代表者 高谷好一（滋賀県立大学）

2. 国際交流

センターにおける研究活動の推進とその寄与を深めるため、種々の形で外国の研究者、専門家との交流にも力が注がれている。

(1) 外国人研究者の招聘

1975年度より客員研究員の制度をセンターに設け、主として東南アジア諸国の研究者を招聘し、滞在中センター研究スタッフの一員として共同研究あるいは意見の交換を行っている。そのほかにも随時、外国人研究者の訪問、滞在を受け入れ便宜を計っている。以下は1994年以降にセンターにおいて研究を行なった外国人研究者のリストである。但し、1994年に滞在した者のうち、すでに『平成5年度版センター要覧』に掲載された研究者は除かれている。

A. 外国人客員研究員

Siti Hasnah Simanjuntak	1994	東南アジアにおける日本の 投資についての書誌作成	University of Brunei Darussalam (ブルネイ)
-------------------------	------	-----------------------------	---

Paiboon Pramojanee	1994	コラート高原における地形 ——土壌相関モデル	Ministry of Agriculture and Cooperatives (タイ)
Sompop Manarungsan	1994-95	19世紀および20世紀初期 のタイ経済史：東南アジア および日本との比較	University of Chula- longkorn (タイ)
Adrian Bernard Lapian	1994-95	東南アジア海域システム間 の交渉史に関する研究	Indonesian Institute of Sciences (インドネシア)
Suwatchara Choonpicharn	1994-95	東南アジアの薬用及び芳香 植物についての書誌作成	Chiang Mai University (タイ)
James Danandjaja	1994-95	インドネシアの民話と日本 の民話との比較研究	University of Indone- sia (インドネシア)
Le Bo Linh	1994-95	ベトナム経済の展望——東 南アジア地域との経済協力 の観点から	Asia-Pacific Economic Center (ベトナム)
Hendrik Menko Jan Maier	1994-95	マレー語文学の歴史文献資 料の研究	Leiden State Univer- sity (オランダ)
Sujin Butdisuwan	1995	京都大学東南アジア研究セ ンターに於けるタイ語文献 のデータベース・マネージ メント・システムについて	Srinakharinwirot Uni- versity (タイ)
Nguen Minh Hang	1995	ベトナムと中国の経済改 革：比較研究	Center for Chinese Stud- ies (ベトナム)
Nakharin Mektrairat	1995-96	タイにおける民族主義：思 想と運動	Thammasat University (タイ)
Buared Prachaiyo	1995	森林と社会：日・タイ比較	Regional Forest Divi- sion, Khon Kaen (タイ)
Che Wan Ahmad Zawawi bin Ibrahim	1995-96	マレーシア農村社会におけ る地域発展と先住「部族」 社会への影響	University of Malaya (マレーシア)
Phongpharn Lawananont	1995-96	東南アジア研究センターの 日本に関するタイ語図書： 注釈付書誌	Chulalongkorn Univer- sity (タイ)
Daniel Rakotomalala	1995-96	オーストロネシア人の太平 洋・インド洋進出の船舶と 航海術	Madagascar Internation- al Cultures Exchanges (マダガスカル)
Hasnat Abdul Hye	1995-96	第三世界における地域発展 の固有論理	Ministry of Industry (バ ングラデシュ)

B. その他の外国人学者

◇ Mangantar Simanjuntak	1994	神経言語学と語学教育に関する研究	University of Brunei Darussalam (インドネシア)
Sunait Chutintaranond	1994-95	植民地時代以前のシャム人とビルマ人の関係	University of Chulalongkorn (タイ)
Muhjidin Mawardi	1994	灌漑システムの最適調整に関する研究	Gadjah Mada University (インドネシア)
Adisorn Muakpimai	1995	東南アジアにおけるバンコクの位置	Thammasat University (タイ)
Yekti Maunati	1995	家内工業に関する日本・インドネシアの比較研究	LIPI (インドネシア)
Supaporn Sungsi	1995	日本における学術図書館のネットワーク：現在と未来	The National Institute of Development (タイ)
Charnvit Kasetsiri	1995	東南アジアにおけるバンコクの位置	Thammasat University (タイ)
Emmanuel Subangun	1995-96	アジア型消費文化についての研究	Atmajaya Catholic University (インドネシア)

(2) 留学生の派遣と受け入れ

センターは東南アジア研究を志す研究者の養成と国際交流の目的で、センターの若手研究者、京都大学の大学院生、およびその他の学生、若手研究者を欧米と東南アジアに留学生として派遣し、あるいは留学の便宜を計ってきた。

また、東南アジア諸国の学生をセンターの研修員として受け入れ、その指導に当たった。1994～95年度に受け入れた外国人研究生（研修員）は次の通りである。

Goh Pek Chen	1994-95	日本とマレーシアとの経済関係 (マレーシア)
Pham Huy Quang	1994-95	東アジア及び東南アジア諸国間の技術伝播とヴェトナムへの教訓 (ヴェトナム)
Punwichai Lakkana	1995-96	現代タイ社会における「国家」についての考え方 (タイ)
Walapa Tantisunthorn	1995-96	アジアにおける人的資源の開発 (タイ)

3. シンポジウム・セミナー・研究集会

東南アジア研究に関して内外の研究者とより広く意見を交換するため、これまでに数多くのシンポジウム、セミナー、ワークショップ、研究集会などが、センターの主催または

他機関との共催で開かれた。最近2年間に開催された主なものについて簡単な趣旨とプログラムを掲げておく。

(1) それぞれの熱帯多雨林——森林開発事業・開拓移民・先住民——(1994年2月23日)

森林開発企業、開拓移民者、それに先住の「森の民」と、今日の熱帯多雨林には様々な「層」の人々が関わってきている。森林開発と地域発展という問題に関しても、手段と目的は自ずから異なる。研究会では、東・南カリマンタンを対象地域として長期の臨地調査を終えた3人の研究者に、森林資源の枯渇に伴い顕在化・先鋭化した各「層」の森林利用をめぐる差異の現状を、それぞれの調査対象の立場から報告してもらい、ありうべき将来像について討論を行なった。

「森林政策・森林開発企業と地域——南カリマンタンの事例」 (筑波大) 金 才賢
「肥沃な土地を目指して——南カリマンタン丘陵地における開拓移民の成否」

(京大) 及川 洋征

「東カリマンタン州マハカム川中流域における先住焼畑民とジャワ移民のエコノミーとエコロジー」 (カリフォルニア大) 佐々木英之

(2) ジョホールからマレー世界を考える(1994年3月23日)

大陸部の最南端としてのジョホールは、シンガポール、インドネシアへの窓口として最近注目を集めている。日本の研究者の中で、この地を調査した菱口善美氏(駒沢大)と永田淳嗣氏(東大)の発表を中心にジョホールの意義を検討した。

(3) 小シンポジウム「農村開発と協同組織」(1994年3月25日)

アジア地域の農村開発において次の3点に注目している。①開発の受け手の組織化、②地方行政と受け手をいかにリンクするか、それに③用いられる技術のありかた、である。②と③については前年までにそれぞれ「農村開発における官と民のはざま」「農村開発の技術をめぐる」と題して小さなシンポジウムを開いた。今回は、①に関連して、バン格拉デシュなどで試みられている「協同組合」型農村開発に批判的な検討を加えることを目標にした。

「インドネシアの協同組合」
(農水省農総研) 坪田 邦夫
「ディスカッサント」 (龍谷大) 中村 尚司

「タイの協同組織と地縁組織」
(アジア経済研究所) 重富 真一
「ディスカッサント」 (放送大) 河合 明宣

「バングラデシュの農村開発と協同組織」

「ディスカッサント」

安藤 和雄

(龍谷大) 齊藤 千宏

(4) コラート高原における「多数村落調査」の経験 (1994年6月20日)

かつてのドンデーン村調査とは対照的に、ヤソートン県では、数十の村落を遍歴する形の調査がいくつか行われている。調査の目的、方法はまちまちであるが、それぞれの経験を披露しあう機会を設けた。以下の発表があった。

「稲作技術の変異」

(岐阜大) 宮川 修一

「民族間関係と文化変容」

林 行夫

「農村家内工業」

池本 幸生

「開村と移動」

(東大) 桜井由躬雄

「村落間関係」

(京都女子大) 舟橋 和夫

「他地域の経験から」

加藤 剛

(5) 都市と熱帯多雨林——木材・石油ブーム以後のカリマンタン (1994年6月30日)

異化空間として熱帯多雨林の中に都市が突然出現することがある。サマリダがその例である。木材および石油の搬出都市としてサマリダはカリマンタンの熱帯多雨林の一点に不釣り合いな人口を吸収した。しかし木材・石油ブームが去ったあと、余剰労働力を抱え、新たな発展への対応を余儀なくされている。こうした現状の中2つの視点からの報告を受け討論を行なった。都市周辺の土地様態の変遷と人口移動の解析から発展の道筋を探った地域計画論の立場と、都市化の中で自然保護区が成立する過程を分析した森林保護の立場からである。

「サマリダ市における土地利用変化と地域計画課題」

(京大) 水野 啓

「クタイ国立公園とその周辺——東カリマンタンの資源開発と保全」

(京大) 東 滋

(6) 日タイ拠点大学セミナー

“Thailand and Her Neighbors [II] Laos, Vietnam and Cambodia”

(1994年12月12日-13日)

1991年以来、上記拠点大学方式協力プログラムに、日・タイ研究に加えて、東南アジア研究を導入する試みがなされてきている。今回のセミナーは、この方針を具体化した4回目の年次セミナーである。

歴史的側面を扱った第一セッションでは、インド、中国文明の到来以前あるいは植民地化以前に、当該地域に、独自の文明あるいは経済交流が存在していたことに焦点が置かれ

た。ともに地域のアイデンティティーに関わる論議がなされた。

今日の問題を焦点とする第二セッションでは、現状分析を通じて、各国の孤立的発展があり得ないこと、「友人を選ぶことはできても、隣人を選ぶことができない」という現実に基づくべきことが論議された。

Keynote Address Thailand and Her Neighbors (Thammasat University) Charnvit Kasetsiri
Special Lecture A Businessman's Point of View on Thailand and Her Neighbors

(TOA Company Limited) Kajohn Trisukosol

First Session Mainland Southeast Asia: Historical Perspectives

Prehistoric Industries and the Mekong Civilization (Kagoshima University) Nitta Eiji

The Rice Exports and the Colonial Policy in the French Indochina

(Chiba Keiai College) Yoko Takada

Cultural Change in the Mainland of Southeast Asia after World War II

(Silpakorn University) Winai Phunumphon

Rice Trade in the Mekong Delta in the Early Nineteenth Century

(Wollongong University) Li Tana

Attempts to Monopolise Cambodia Trade: Siamese Invasions of Hatien in the Eighteenth and Early Nineteenth Centuries (Wollongong University) Puangthong Rungsawasdisab

Second Session Development and International Relations

Vietnam in the Changing Environment (DTEC) Sriprapha Petcharamesree

Socio-economic Impacts of Renovation in Vietnam on Co-operative Relations with Thailand and Countries in the Region (Center for Japan Studies, Hanoi) Nguyen Duy Dung

The Environment of Lao PDR Economy

(Srinakarintaraviroj University) Tumrong Udompijitkul

The Ties that Bind: Aspects and Prospects for Cooperation on Mainland Southeast Asia

(University of California, Berkeley) Khatharya Um

Summary Discussion

(University of Malaya) Shaharil Talib

(Thammasat University) Prasert Chittiwatanapong

(7) 東南アジア大陸部における民族間関係のなかの『民族』と『社会』の動態

(1995年1月6-7日)

国境を越えて展開する東南アジア大陸部の諸民族社会の調査研究が近年可能となり、若手研究者を中心に民族誌的資料が徐々に蓄積されてきた。本研究会では、個別の村落、民族、地域社会を国家、隣接民族間の歴史的な関係から捉えるとともに、他地域との比較を意図してシャン、タイ・ルー、ラオ、アホムのタイ系諸族およびカレン、ホー、モーン族の社会の現状が報告された。さらに、記述される民族の概念構成をめぐる理論的問題も検

討し、参集者の間で活発な議論がなされた。

「現地語による記述と調査対象——タイ国内の
モン族の調査とタイ語による記述」

(国立民族学博物館) 大島 新人

「『民族』へのこだわりの所在——カレン族・隣
接諸族・研究のはざままで」

(東北大) 速水 洋子

「民族の『仲間』意識と『よそ者』意識——ビ
ルマ世界におけるシャンの視角」

(広島大) 高谷 紀夫

「ラオ人社会の生成——まなざしのなかの『民
族』間関係」 (センター) 林 行夫

「境界線上の『民族』——タイ・ルー族とシブ
ソーンバンナーにおける民族間関係の諸相」

(岐阜教育大) 長谷川 清

「『タイ族世界』の創造——インド・アッサム州
のタイ諸族とタイ国の求め合いとすれ違い」

(同朋大) 馬場 雄司

「『民族』の構築学」 (国際大) 福島 真人

(8) アジアの経済成長と都市化 (1995年3月7日)

国際連合地域開発センターのヌルル・アミンとアントニオ・フェルナンデスの両氏を迎え、東南アジア経済が成長する一方で生じている都市貧困の問題についてバンコクとジャカルタ等のケースをそれぞれ報告していただき、議論を行なった。東南アジアの経済成長という華やかな側面に目を奪われがちであるが、都市の貧困問題やゴミのリサイクルなど都市貧困層の果たす役割について再認識した。

The Urban Informal Sector and Slums in Bangkok : The Impact of the Thai Economic Boom

(国際連合地域開発センター) A. T. M. Nurul Amin

Waste Management and Poor Communities in Selected Asian Cities

(国際連合地域開発センター) Antonio Fernandez

(9) アジアの稲作起源と初期稲作 —— さまざまなアプローチ (1995年3月24日)

1990年2月に開いた「熱帯・温帯島嶼域の稲と稲作」研究会をうけて、アジアの初期稲作に関する最近の考古学や遺伝学の成果をもちより、稲作起源や初期稲作の問題を広いパースペクティブのもとに展望し、この問題に対する将来のアプローチの方法を検討した。

「ジャポニカ長江起源説」(静岡大) 佐藤洋一郎

「長江下流域における水田址調査から」

(宮崎大) 宇田津徹朗・藤原 宏至

「インド稲作の考古学的知見」

(東海大) 近藤 英夫

「栽培植物起源学の立場から——バビロフの変
異の中心説をめぐって」 (京大) 大西 近江

「稲作文化論の立場から——島嶼から大陸を見
る」 田中 耕司

(10) Seminar on the State, Economy and Identity in Malaysia (1995年10月9日)

これは、センターと日本マレーシア研究会の協賛で実施されたセミナーである。マレー

シアの気鋭の研究者が多数来日している機会を捉えて、そのうちの4人にそれぞれの専門分野からマレーシアの国家と経済を通してみたアイデンティティーについて話題提供を願った。

The Rhetorics and Poetics of Dispossession : Post-colonial Development and Orang Asli in Malaysia (センター外国人研究員) Wan Zawawi Ibrahim

Economy and Identity : Contemporary Discourse on Malaysianness in Malaysia (国立民族学博物館客員教授) Shamsul A. B.

Chinese Politics and Economic Role in Malaysia : 1957 to the Present (テンプル大学日本校教授) Heng Pek Koon

Pride and Shame : Malaysian Look East Policy and Japanese Employers (筑波大学客員研究員) Kamaruddin M. Said

4. 東南アジア学フォーラム

創立25周年を契機として、新たな気持で、より多くの東南アジア地域研究者との研究交流をはかろうと、センターは、定期的な、開かれた「東南アジア学フォーラム」を企画した。このフォーラムの趣旨は、より多くの研究者をまじえて、東南アジア学のフロンティアを語り、より鮮明な東南アジア像を模索し、またあるいは地域研究に関わる研究と教育の諸問題について情報交換をしようというものである。フォーラムは1991年9月に第1回目が開催され、現在第16回を数える。当初は小の月(2, 4, 6, 9, 11月)の第3土曜日の午後を定例日としていたが、1993年度以降は年3回(2, 6, 11月)に変更された。なお「東南アジア学 Forum 通信」をその都度発行して、広く全国の関係者に配布している。

1994年、1995年に開催されたフォーラムのテーマと話題提供者の一覧を掲げておく。

第11回フォーラム(1994年2月19日)
「バリのこよみ考」 五十嵐忠孝
「コメント」 (京都産業大) 矢野 道雄
「ジャワの時間論——古典ジャワ文学作品における歴史的時間観念とその変容」
(京都産業大) 青山 亨
「コメント」 (阪大) 桃木 至朗

第12回フォーラム(1994年6月18日)
「島」の世界——内と外
「スリランカ社会における外的要因について」
(龍谷大) 中村 尚司
「コメント」 (北大) 足立 明
「インド洋のココス島について」
(龍谷大) 鶴見 良行
「コメント」
(国立民族学博物館) 秋道 智彌

第13回フォーラム（1994年11月12日）
「等身大」のタイ経済——地域発展の観点から
「農村工業における村落間分業の形成 タイ東
北部ヤソトン県における三角枕の事例」
池本 幸生
「コメント」（宮崎公立大）友杉 孝
「開発と村落」（アジア経済研究所）重富 真一
「コメント」（神戸大）北原 淳

第14回フォーラム（1995年2月18日）
教育と国民形成
「国境の村の国民教育」 西村 重夫
「コメント」（筑波大）村田 翼夫
「タイにおける同化政策と少数民族のアイデン
ティティ」 （筑波大）小野沢正喜
「コメント」（東大）西野 節男

第15回フォーラム（1995年6月17日）
多雨林世界と海域
「ボルネオの生態資源と人の動き」 山田 勇
「コメント」 池本 幸生
「東南アジア島嶼における地域の統合過程と森
林」 （筑波大）増田 美砂
「コメント」 石川 登

第16回フォーラム（1995年11月18日）
モンスーンアジアの水資源と社会
「戦後灌漑開発における政府と農民」
河野 泰之
「コメント」（一橋大）岩井美佐紀
「利水・治水における河川誌の一断面」
（早稲田大）春山 茂子
「コメント」（早稲田大）大矢 雅彦

5. 研究会等

センターでは、比較的大きなシンポジウム・セミナーの他に、各種の研究会が開催されている。テーマを絞った、定期的な「研究例会」、センタースタッフ全員で進行中の共同研究を検討する「プロジェクト報告会」、センターの客員部門の外国人研究員や折々にセンターを訪問する外国人研究者による「特別研究会」などの他にも、共同研究グループ内部での検討会、少人数での定期、不定期の研究会、他の機関との共催による各種研究会（例えば、東南アジアの自然と農業研究会、東南アジア伝統農業読書会、経済発展研究会）などがあり、常時センター内外の人々の出入りがたえない。

6. 東南アジアセミナー

東南アジアセミナーは、数十人の受講者を募り、東南アジアの自然、文化、社会等について概説し、専門的研究に必要な基礎知識を付与するため、集中的な講義及び演習を行うことを目的とし、1976年から毎年夏に開催されているものである。近年は、年ごとに異なるテーマを決め、かなり専門的な講義も含めており、受講者から好評を得ている。特に1993年度以降は、従来よりも一段とセミナー色を濃くし、受講者発表をプログラムに盛

り込んだ。1994, 95年度のセミナーのテーマ, 講義題目, 講師の一覧を掲げておく。

1994年度

テーマ「ヒト生存にとっての東南アジア」から(9月5日-9月9日)

「小人口世界としての東南アジア」	坪内 良博	〔研修生の発表と討論〕その2	
「農業と人口」	福井 捷朗	「生むこと・死ぬこと」	五十嵐忠孝
「植生とヒト」	(鹿児島大) 中野 和敬	「サゴ常食の世界」	(東大) 大塚柳太郎
〔研修生の発表と討論〕その1		「貧富と栄養」	池本 幸生
「住居と居住」	(京大) 布野 修司	〔総合討論〕	

1995年度

テーマ「人間形成から見た東南アジア」(9月4日-9月8日)

「あいさつ」	坪内 良博	〔研修生の発表と討論〕その1	
「東南アジアの教育風土」	西村 重夫	「イスラームと人間形成」	
「農村での人間形成」	五十嵐忠孝		(名古屋大) 西野 節男
「経済発展から見た教育」	池本 幸生	〔研修生の発表と討論〕その2	
「タイの教育とエリート」	玉田 芳史	「21世紀東南アジアの人間形成」	
「少数民族の文化と教育」			(筑波大) 村田 翼夫
	(筑波大) 小野沢正喜	〔総合討論〕	

7. 資料収集および情報処理

東南アジアの研究を深化, 発展させるために各種の資料収集がとりわけ重要なことは言うまでもない。1965年に図書室が開設されて以来, 東南アジア地域にかかわる専門書を中心に収集を進めてきた結果, 1995年3月現在72,797冊(洋書56,172冊, 和漢書16,625冊)を登録し, 所蔵するにいたった。研究資料としては次のような特記すべき資料がある。

(1) 現地語資料

1983年度以来, 東南アジア諸地域の言語で出版された文献の組織的収集を目指して, 特別予算の要求を行なっている。まず最初の5カ年収集計画が終わり, 現在第二次10カ年計画の第8年度が進行中である。この計画により, 整理済で配架されている現地語図書資料の内訳の概数は, レファレンス図書を除いて1995年8月現在で次の通りである。

正規の分類: タイ語約5,310冊, インドネシア語約4,040冊, マレー語約310冊, ビル

マ語 210 冊，その他 10 冊，特殊コレクション（別置）の概数：フォロンダ・コレクション 7,000 冊，チャラット・コレクション 9,000 冊，ベトナム語 2,200 冊。特に，タイ語文献の「チャラット・コレクション」，およびフィリピンに関する「フォロンダ・コレクション」は世界に誇るコレクションである。

また，1986 年度からは，東南アジア諸語文献研究部門が新設され，東南アジアから書誌学者やカタログガーを招聘することができるようになったので，彼らの協力によりこれらの資料の整理もできるようになった。「チャラット・コレクション」については 3 巻よりなる冊子体の目録と「フォロンダ・コレクション」の蔵書目録がある。今後もさらに充実した収集を目指している。

（2）マイクロフォーム

1971 年以降，「インドネシア関係文献マイクロフィッシュ」の一部を継続的に購入したのを始め，その後機会のあるごとにその充実をはかってきた。この結果，現在までにマイクロフィルム約 3,400 リール，マイクロフィッシュ約 4,000 ケースが納められている。このうち，フィルムは，東南アジア諸国統計資料，インドシナ三国近・現代史資料，第 2 次大戦下の東南アジア関係資料などを含み，フィッシュは，コーネル大学およびオランダ王立言語民族文化研究所が所蔵するインドネシア関係資料を主としている。

（3）雑誌

ナショナルセンターの学術情報センターに登録されているセンターの逐次刊行物は洋雑誌 1,088，和雑誌 380 を数える。このうち東南アジアを専門に対象とする雑誌は，創刊号から揃っている *BEFEO* をはじめとして 50 タイトル以上に及ぶ。東南アジアを含むアジア一般，熱帯，開発に関するタイトルは 43 点である。このほかすでに刊行されていない雑誌もかなりあり，東南アジア関係では有名な Logan の *JIAEA* や *Djawa* をも含めて 18 タイトル，アジア関係では，London から出た *Asiatic Quarterly Journal* 及びその後身 (1886-1912) や *Mondes Asiatiques* など 12 タイトルある。これらの地域関係雑誌の多くは欧米発行のものであるが，東南アジアの大学・研究機関の刊行する雑誌も増えてきており，それらはできるだけ収集するように努めている。その他 *Prisma*, *Tenggara* などのような各国語の週刊誌，総合雑誌，文芸批評誌も定期購読している。

(4) 統計

東南アジア、東アジア諸国の政府刊行物、および国際機関の刊行物を中心に、年刊、季刊、月刊の逐次刊行物を、購入または寄贈の刊行物として収集している。このうち購入は、年刊が35タイトル、季刊と月刊の両方で16タイトルである。その他に東南アジア各国のセンサスを、刊行の都度可能な限り収集している。国民所得、財政、金融、貿易、労働、人口など経済統計が大半で、国別ではインドネシアが多い。

(5) 地図

所有する地図は東南アジア地域を中心に、インド、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、パキスタン、中国、朝鮮、オーストラリア、太平洋諸島及び日本周辺と、ほぼ南アジアから東アジア全域をおおっている。製作年代も、戦前のもから近年の航空測量によるものまで、多岐にわたっており、現在約2万6千枚余に及んでいる。この中には、旧陸地測量部による南アジア、東南アジア、東アジアの2万5千分の1、5万分の1地形図等、歴史的にみても貴重なコレクションもある。また、数は少ないが、東南アジア各国の土地利用図、地質図、植生図などの主題図も含まれている。

(6) ランドサット写真

1978年からランドサット画像の収集をはじめ、現在3千数百シーンの写真を蔵している。収集地域は、東南アジア全域、インド亜大陸東半分からバングラデシュ、南中国の一部および日本の一部である。とくに東南アジア大陸部は隈なくカバーされている。初めは100万分の1の白黒ポジフィルム（バンド4、5及び7）を中心に集めていたが、やがて25万分の1擬似カラー写真に切り換えた。

センターでは、ランドサット画像データをデジタル処理してある限定された地域の精査のために用いるというよりは、むしろ地図の代りとして、広域の地形、植被、土地利用、水文環境などの概査のための貴重な資料として活用している。インデックスも整理されており、貸出しも可能である。

(7) 情報処理

計算機室では、研究活動を支援するために、端末装置やパーソナルコンピュータを揃えている。所員や外国人研究者が統計処理や文書処理をするために利用するほか、利用に当

たつての相談にも応じている。

現在計算機室で利用可能な機器としては、

- (1) 大型計算機センターの端末 2 台
- (2) IBM 互換パーソナルコンピュータ 3 台
- (3) NEC パーソナルコンピュータ 2 台
- (4) SONY ワークステーション 1 台 (電子メール機能が使える)

がある。

また、計算機室外にも次のような機器があり、利用可能である。

- (1) TOSHIBA 携帯型パーソナルコンピュータ 4 台
- (2) デジタイザ、図面の入力に用いる

8. 出版

東南アジア研究センターにおけるさまざまな研究活動の成果は、センターが刊行する出版物を通じて発表されている。センターは、1963 年以来季刊学術誌『東南アジア研究』(年 4 回刊行) を出版し、レフリー制度のもとに学内外の東南アジア研究者の論稿を掲載してきた。1995 年 12 月現在 33 巻 3 号 (通算 134 号) を数え、所収論稿は膨大な数に上る。

主として個人の研究成果は東南アジア研究叢書としては創文社から現在まで 24 冊、English Language Series としてはハワイ大学出版局から 19 冊を刊行している。なお、1995 年度から新たに京都大学学術出版会より地域研究叢書が始まった。

研究報告書シリーズは、シンポジウムの報告書、文部省科学研究費補助金による海外学術調査の報告書、その他の研究奨励金を受けて行なった研究の報告書、共同研究の中間的な成果、外国人研究員の研究報告書など各種のものを含んでいる。1995 年現在合計 64 冊を数える。より機動的に運営されていたディスカッション・ペーパーシリーズ、リプリント・シリーズは、ワープロなどの普及により、シリーズとしては発行を中止している。

第4章 大学院教育

1. 農学研究科熱帯農学専攻

熱帯農学専攻は、熱帯地域を中心にし、世界的な食糧、環境問題に対して積極的に問題の解決をはかるべく、熱帯地域の総合的な農学研究を推進し、熱帯地域に通用する研究者や技術者を養成することを主な目的として、1981年（昭和56年）4月に修士課程が、1983年4月に博士課程が設置された。

センターの当時の自然系教官は、その設立当初より熱帯農学専攻に参加し、協力講座として3講座、すなわち、熱帯稲作論、熱帯地文環境論および熱帯水文環境論をうけてもっている。

熱帯稲作論は、主に、東南アジアを対象とした熱帯圏の稲作や農山村社会の生態学的研究、東北タイの総合的農村開発に関する研究などを軸に教育活動を行なっている。熱帯地文環境は、熱帯の生態環境ならびに農業の歴史的変容のダイナミズムを、地理学的、生態学的方法によって捉え、世界における東南アジアの位置づけを、地形・土壌発展史、伝統農業社会比較などの視点から行おうとするものである。さらに熱帯水文環境論は、熱帯の農業水文環境ならびに農業基盤やバングラデシュの農村開発に関する総合的研究を行なっている。

1995年度現在の大学院生数は、12名で、内留学生は3名である。

2. 人間・環境学研究科：東南アジア地域研究講座

1991年度に旧教養部を中心にして人間・環境学研究科が開設された。当初、人間・環境学専攻のみで出発し、当センターからは1名の教官が参加したにすぎなかったが、翌年10月に第2専攻（文化・地域環境学専攻）が設置されてセンター教官の本格的な参加が始まった。第2専攻は9講座から構成されているが、その第8講座が東南アジア地域研究講座である。当講座は、現在、1）生態環境、2）社会生態、3）統合環境、4）地域発展、5）人間環境の指導分野からなり、生態環境では自然・生物構造論、社会生態では社会動態論、文化構造論、統合環境では思想環境論、地域認識論、地域発展では地域開発論、経済発展論、人間環境では人口構造論の授業が行われており、教授8名、助教授6名が参

加している。

当講座への学生の募集は1993年度から始まり、6名（内東南アジアからの留学生1名）が修士課程に入学した。翌年度は4名（内留学生3名）、そして今年度は4名が修士課程に入学した。

1994年度末に4名が修士課程を終了し、内3名が7年度に新設された博士課程に進学し、また他大学で修士課程を終了した3名（内留学生2名）の編入が認められた。現時点で、16名の学生が当講座に在籍している。

人間・環境学研究科には3つの特色がある。1つは学際的手法の習得に重点が置かれているということであろう。当講座自体が学際的な構成であるが、それと同時に修士課程修了に必要な30単位の内、4単位は当講座が所属する地域環境系の講座（アフリカ地域研究講座、文化人類学）の授業から、もう4単位は地域環境系以外の第2専攻ないしは第1専攻の講座の授業から修得しなければならない。

第二の特色は博士課程が課程博士を出すことを目標としているという点である。従来とは異なり、学生は指導教官から指定された授業を受け、10単位以上の単位の修得をしなければならない。授業は論文指導が中心で、学生は3年以内に論文を書きあげ、博士号を取得することが可能な指導体制がとられている。この課程博士はアメリカのPh. D. に似たものと解釈してよかろう。

第三の特色は博士課程が課程Aと課程Bに分かれており、前者は3年間の在学を必要とするが、研究業績がある社会人の入学を奨励するため、後者が設けられ、この場合、2年で終了することができる。

第5章 研究スタッフ

東南アジア研究センターの現職研究スタッフの略歴、現在の研究テーマ、主要な研究業績などを紹介する。各研究スタッフは、研究部門では生態環境部門、社会生態部門、統合環境部門、地域発展部門、人間環境部門、地域研究第二客員部門、続いて資料部の順に配列されており、1. 最終学歴、2. 学位、3. 専門分野、4. 現在の研究テーマ、5. 略歴、6. 主要な研究業績の順である。

1. 研究部門

生態環境部門

古川 久雄

1. 京都大学農学部, 1963.
2. 京都大学農学博士, 1973.
3. 熱帯農業環境
4. (1) 東南アジア低湿地の利用と保全
(2) アジア伝統農業の生態構造
(3) 近代の生態支配
5. 1967年, 京都大学農学部助手に採用される。
1978年, 東南アジア研究センター助教授,
1989年同教授に昇任, 現在に至る。1981年
より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻
助教授, 1989年より同教授を兼任。

1963年以降, 以下の諸国にて水田土壌の調査を行う; 1963~64年タイ, 1964~65年タイ, マレーシア, 1970年インドネシア(ジャワ), 1978年韓国。さらに, 1978年南スマトラ, 1979年ジャワ島, 1980~81年南スラウェシ, 1983年スマトラ東岸低湿地帯, 1984年リアウなど, インドネシア各地で農業景観の変貌等について調査に従事。1981~82年にはIRRIにて, カガヤン溪谷における多毛作化の調査を行う。また, 1982年

- には南インド, スリランカでも農業景観の変貌について調査を実施した。1985年, 1987年東北タイの塩類土壌調査。1986年マダガスカル, 1988年メラネシアでマレー型農耕文化の系譜を研究。1989年, インドネシア低湿地調査, 同じくイラン, トルコ乾燥地帯稲作調査。1990, 1991年度, 中国の農業生態史調査を華南から雲貴高原, 新疆, 内蒙古の広域において行なった。1992年度には海域世界の地域間比較研究のためにバルト海, 北海地域の生態的調査を, 1993年には地中海の生態的調査を行なった。1994年, 東南アジアの生態環境の変貌を概査した。
6. (1) 「ルソン島の陸稲栽培」『農耕の技術』5, 1983.
 - (2) "Land Use and Soil Catena in Jeneponto Area of South Sulawesi," 『東南アジア研究』20(4), 1983.
 - (3) 「愛知川扇状地の土壌層序」I, II(共著)『ペドロジスト』27, 1983; 29, 1985.
 - (4) 「バタンハリ川流域低湿地の農業景観 I. 地形と層序」(共著)「同 II. 農業景観の展開」『東南アジア研究』23(1), 1985; 24(1), 1986.

- (5) "Stratigraphic and Geomorphic Studies of Peat and Giant Podzols in Brunei I. Peat, II. Giant Podzols," 『ペドロジスト』 32, 1988.
- (6) 「マダガスカル乾燥地帯の土地利用」『東南アジア研究』 26 (4), 1989.
- (7) "Salt and Sinkhole—Corrosion as a Principal Factor Governing Topography and Mass Movement in Northeast Thailand—," (共著)『東南アジア研究』 27 (1), 1989.
- (8) 「農耕文化の伝播と適応」矢野暢(編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻)弘文堂, 1990.
- (9) 「大陸と多島海」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻)弘文堂, 1990.
- (10) 『ジャワ・マドゥラ古代遺跡・遺物目録』深見純生(訳)・古川久雄(校訂・編), 京都大学東南アジア研究センター, 1991.
- (11) "Genealogy of Minature Wet Rice Fields—The Spread of Oasis Culture,"『東南アジア研究』 28 (4), 1991.
- (12) 「マライシアの農耕系譜」『東南アジア研究』 29 (3), 1991.
- (13) 『インドネシアの低湿地』勁草書房, 1992.
- (14) 『中国先史・古代農耕関係資料集成』(共編)東南アジア研究センター, 1993.
- (15) 「現地調査——歩く・見る・聞く」矢野暢(編)『地域研究の手法』(講座・現代の地域研究第1巻)弘文堂, 1993.
- (16) 「自然と人間の共存」矢野暢(編)『地域研究のフロンティア』(講座・現代の地域研究第3巻)弘文堂, 1993.
- (17) 「近代化の功罪」矢野暢(編)『地域研究と発展の論理』(講座・現代の地域研究第4巻)弘文堂, 1993.
- (18) 「東南アジアの世界単位：海域——開かれたネットワーク」矢野暢(編)『世界単位論』(講座・現代の地域研究第2巻)弘文堂, 1994.
- (19) *Coastal Wetlands of Indonesia: Environment, Subsistence and Exploitation*, Kyoto Univ. Press, 1994.
- (20) 「水田と日本の風土」『食生活』1994年4月号.

山田 勇

1. 京都大学農学部, 1966.
2. 京都大学農学博士, 1979.
3. 森林生態学
4. (1) 東南アジア熱帯多雨林の森林構造
(2) 地球生態系における東南アジアの位置づけ
(3) 熱帯林生態系における人と自然のかかわり
5. 1975年, 東南アジア研究センターに助手として採用される。1980年農林水産省関西林木育種場, 1981年同関東林木育種場室長をへて, 1988年より, 東南アジア研究センター助教授。京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授を兼任。1995年より教授。人間・環境学研究科併任。
1965年以降, 以下の海外研究活動を行う。
1965年タイ, カンボジア, マレーシアの植物調査, 1968~70年インドネシアの森林調査, 1976年インドネシアの森林調査, 1977年タイ, マレーシア生態調査, 1978年フィリピン生態調査とインドネシア調査, 1979年北米山林調査, 1982, 1983, 1984~86年までブルネイ森林調査, 1988年北米及び中米の森林調査, 1988~89年パプアニューギニア, インドネシアの低湿地調査, 1990年タイ, インドネシア, 中国, 1991年マレーシア, タイ, ラオス, 中国の生態調査。1992年アマゾン, マレーシア, インドネシア, 1993年アマゾン, マレーシア, インドネシ

ア, 1994年ギリシャ, トルコ, エジプト, エクアドル, ボリビア, グアテマラ, ベルー, インドネシア, マレーシア, ブルネイ。1995年中国, ネパール, ホンコン。

6. (1) Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java (I) Stratification and Floristic Composition of the Montane Rain Forest near Cibodas," 『東南アジア研究』 13 (3), 1975.
- (2) "同 (II) Stratification and Floristic Composition of the Forest Vegetation of the Higher Part of Mt. Pangrango," 『東南アジア研究』 13 (4), 1976.
- (3) "同 (III) Litter Fall of the Tropical Montane Forest near Cibodas," 『東南アジア研究』 14 (2), 1976.
- (4) "同 (IV) Floristic Composition along the Altitude," 『東南アジア研究』 15 (2), 1977.
- (5) 『熱帯の有用樹種』 (共著) 熱帯農学研究センター, 1978.
- (6) "Ecological Study of Mangrove and Swamp Forests in South Sumatra," (共著) in *South Sumatra, Man and Agriculture*, CSEAS, Kyoto Univ., 1980.
- (7) 「西ジャワパングランゴ山山地林における落葉落枝などの季節変化」 『東南アジア世界』 創文社, 1980.
- (8) 「熱帯林の現状からみた林木育種のあり方」 『林木の育種』 特別号, 1982.
- (9) 「東南アジアの低湿地林1. マングローブ」 『東南アジア研究』 21 (2), 1983.
- (10) 「同2. マングローブの分布」 『東南アジア研究』 21 (3), 1983.
- (11) 「同3. 淡水湿地林」 『東南アジア研究』 21 (4), 1984.
- (12) 「同4. 泥炭湿地林」 『東南アジア研究』 22 (2), 1984.

- (13) 『東南アジアの低湿地』 (共著) 農林統計協会, 1986.
- (14) *Report on the Forest Research in Negara Brunei Darussalam from 1984 through 1986*, JICA, 1987.
- (15) *The Changing Pattern of Vertical Stratification along an Altitudinal Gradient of the Forests of Mt. Pangrango, West Java*, Kluwer, 1990.
- (16) 「多雨林の世界」 高谷好一 (編) 『東南アジアの自然』 (講座・東南アジア学第2巻) 弘文堂, 1990.
- (17) 『東南アジアの熱帯多雨林世界』 創文社, 1991.
- (18) 『熱帯雨林を考える』 (共編著) 人文書院, 1992.
- (19) 「世界の森林と地球環境」 渡部忠世 (編著) 『現代の農林水産業』 放送大学教育振興会, 1993.
- (20) *Vegetation Science in Forestry*, (共編著) Kluwer, 1995.

阿部 健一

1. 京都大学農学部, 1984.
2. 京都大学農学修士, 1986.
3. 森林生態学
4. (1) 樹上性節足動物群集の比較研究
(2) 泥炭湿地林・マングローブ林の生態
5. 1989年, 東南アジア研究センター助手に採用され, 現在に至る。1981~1983年, サバ州立森林研究所にて, 森林昆虫の個体群動態調査。以後1985年サバ, 1986年マルク, 1988年タイ及びジャワ・バリで樹上性節足動物の調査を行なった。ほかに1985年と1986年にジャワ島で村落調査に従事し, 1987年海南島, 1988年スマトラ・タイで伝統的森林利用の調査, 1990年と1991年には中国の森林・林業事情に関する広域な調査を行なっている。また1990年以降, スマト

ラ・リアウ州において泥炭湿地林の調査を続けている。

6. (1) "Plantation Forest Pests in Sabah," FRC Publication No.8, Sandakan, Sabah, 1983.
- (2) "Comparative Study on Arboreal Arthropod Communities in Contrasting Tropical Forests," 京都大学農学研究科修士論文, 1987.
- (3) "Reproductive Behavior of the Albizia Borer, *Xylocopa festiva* (Coleoptera: Cerambycidae)," (共著) in *Studies of the Behavior and the Life-cycle Strategies of Arboreal Insects in the Humid Tropics*, Kyoto University, 1987.
- (4) 「ブカラランガン内での農業生産」『東南アジアにおける「地域農業」の開発に関する研究』総合研究開発機構, 1987.
- (5) "Arboreal Arthropod Community of Mangrove Forest in Halmahera, Indonesia," in *Biological System of Mangrove, a Report of East Indonesian Mangrove Expedition*, Ehime University, 1988.
- (6) 「スマトラ泥炭湿地林の近代——試論——」『東南アジア研究』31 (3), 1993.

増田 弘

1. 京都大学理学部, 1985.
2. 京都大学農学修士, 1989.
3. 熱帯村落地理
4. アフリカ海域沿岸部村落の伝統生業
5. 1995年, 東南アジア研究センター助手に採用される。現在日本学術振興会ナイロビ研究連絡センター派遣研究員。
6. "Study on the Development of Highland Agriculture for Replacement of the Opium-based Agriculture of Hill Tribes in Northern Thailand and Their Settlement," 京都大学農学研究科修士論文, 1989.

社会生態部門

坪内 良博

1. 京都大学文学部, 1960.
2. 京都大学文学博士, 1970.
3. 社会学, 人口学
4. 東南アジアの社会と人口
5. 1966年, 東南アジア研究センター助手。1970年, 同助教授, 1982年, 同教授, 1993年, 同所長(兼任)。1968~69年, プリンストン大学などで人口学に関する研修。東南アジア各地(とくにマレーシアおよびインドネシア)において現地調査に従事する。
6. (1) 『離婚——比較社会学的研究』(共著) 創文社, 1970.
- (2) 「東海岸マレー農民における土地と居住」『東南アジア研究』10 (1), 1972.
- (3) 「クランタンの農村におけるポンド(寄宿宗教塾)」『東南アジア研究』11 (2), 1973.
- (4) 「マレー農村におけるイスラームと離婚」『東南アジア研究』13 (1), 1975.
- (5) "Marriage and Divorce among Malay Peasants in Kelantan," *Journal of Southeast Asian Studies* (Singapore), 6 (2), 1975.
- (6) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976.
- (7) "Islam and Divorce among Malay Peasants," in S. Ichimura (ed.), *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, University Press of Hawaii, 1977.
- (8) 『核家族再考——マレー人の家族圏』(共著) 弘文堂, 1977.
- (9) 「コムリン川流域およびムシ川下流部における集落形成史」『東南アジア研究』17 (3), 1979.
- (10) *Three Malay Villages: A Sociology of Paddy Growers in West Malaysia*, (共

著) University Press of Hawaii, 1979.

- (11) "On the High Population Growth Rates of the Past in South Sumatra," (共著)『東南アジア研究』19 (1), 1981.
- (12) "Traditional Migration Patterns in Southeast Asia and Their Survival," *Journal of Population Studies* (*Jinkogaku Kenkyu*), 6, 1983.
- (13) 「東南アジアにおける人口と伝統的基礎社会の性格——島嶼部を中心として」『東南アジア研究』21 (1), 1983.
- (14) 「東南アジア島嶼部における『小国』の存在形態に関するノート」『東南アジア研究』22 (1), 1984.
- (15) 『東南アジア人口民族誌』勁草書房, 1986.
- (16) 「マレー農村人口の変動的性格について——クランタン・ガロック村開拓後史——」『東南アジア研究』25 (3), 1987.
- (17) 『東南アジアの社会』(講座・東南アジア学第3巻)(編著) 弘文堂, 1990.
- (18) "A Re-examination of Raffles's Statistics on the Population of Java in the Early Nineteenth Century," 『東南アジア研究』28 (4), 1991.
- (19) 「マレー農村の20年——人口と家族の変化を中心に——」『東南アジア研究』30 (2), 1992.
- (20) 「19世紀中葉の東南アジアの人口——*Journal of the Indian Archipelago and Eastern Asia*における記述をめぐって」『東南アジア研究』32 (3), 1994.

立本 成文

1. 京都大学文学部, 1963.
2. シカゴ大学 Ph. D. (人類学), 1974.
3. 文化人類学
4. (1) マレー世界の社会と文化(とくに種族間の共生をめぐって)

(2) 社会システムと生活世界

5. 1964年, マラヤ大学マレー学科に留学。1965年初頭にケダー州農村の臨地研究を3カ月行なった後, 同年7月から翌年5月までジョホール州でオラン・フルの民族誌的研究に従事する。1967年から2年間, マラヤ大学において日本学講座の講師。1969年からセンターに奉職。1971年から1年間, マラカ州の農村で主として社会経済的なデータに基づいて, 家族, 世界観の研究を行う。1974年から1975年にかけて南ベトナムのメコン・デルタの農村のリーダーシップの調査。同年11月から翌年3月までインドネシア, 南スラウェシの調査。1977年から1979年にかけてジャカルタの日本大使館に勤務。南スラウェシの調査を1980年から再び開始し, 1984年まで3次にわたって, 主として非ムスリム教徒も住む平地村落で調査を行う。その他, 南アジア, マダガスカル, メラネシア, 中国, ヨーロッパ, カリブ海域でも短期間のサーベイを行う。1989年からジョホール, マラカ海峡のマレー世界の調査を継続。
6. (1) 「マレー半島におけるジャクンの親族名称」『東南アジア研究』4 (5), 1967.
- (2) 「マラヤ原住民の経済生活」『アジア経済』10 (5), 1969.
- (3) "The Aftereffects of Hajj and Kaan Buat," *Journal of Southeast Asian Studies* (Singapore), 6 (2), 1975.
- (4) "Family Circle, Community and Nation in Malaysia," *Current Anthropology*, 16, 1975.
- (5) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976.
- (6) 「コミュニティ宗教におけるシンボリズム」『東南アジア研究』14 (3), 1976.
- (7) 『核家族再考——マレー人の家族圏』(共著) 弘文堂, 1977.
- (8) "The Malay Family as a Social

- Circle,”『東南アジア研究』16(2), 1978.
- (9) 「屋敷地共住集団と家族圏」(共著)『東南アジア研究』18(2), 1980.
- (10) 「生活環境と社会組織——南スラウェシの山村誌」『東南アジア研究』20(1), 1982.
- (11) 「稲作儀礼雑観」渡部忠世(編)『南西諸島農耕における南方的要素』京都大学東南アジア研究センター, 1982.
- (12) “A Melakan Farming Village,” in P. Wheatley and K. S. Sandhu (eds.), *Melaka: The Transformation of a Malay Capital c. 1400–1980*, Oxford University Press, 1983.
- (13) 「差異の文化論」石井米雄(編)『差異の事件誌——植民地時代の異文化認識の相克』巖南堂, 1984.
- (14) 「世帯と親族」石井米雄(編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.
- (15) 『東南アジアの組織原理』勁草書房, 1989.
- (16) “Household and Religion: The Problem of Identity in a Bugis Community.”『東南アジア研究』28(4), 1990.
- (17) 『東南アジアの文化』(編著)弘文堂, 1992.
- (18) 「国家・言語・宗教・慣習」中野秀一郎(編)『エスニシティの社会学』世界思想, 1993.
- (19) 「マレー世界の対人主義と日本の間人主義」浜口恵俊(編)『日本型モデルのメリットとデメリット』新曜社, 1993.
- (20) “Coping with the Currents of Change: A Frontier Bugis Settlement in Johor, Malaysia,”『東南アジア研究』32(2), 1994.
2. コーネル大学 Ph. D., 1977.
3. 比較社会学
4. (1) 植民地主義との遭遇：聞き取り法に基づく村落レベルの社会史の再構築
(2) 「新秩序」体制下インドネシアの社会・文化変容
(3) ミナンカバウ母系制社会の変容：西スマトラ、クアantan、ヌグリ・スンビランの比較研究
5. 1977年、上智大学外国語学部比較文化学科講師に採用される。1979年、東南アジア研究センター助教授に採用され、1991年、同教授に昇任、現在に至る。
- 1972～73年インドネシア・西スマトラ州においてミナンカバウ社会の変容に関する調査、1973～74年南部スマトラにおいて地域開発における伝統的村落指導者の役割に関する調査、1980～81年ジャカルタ都市移住民の調査、1982年スマトラ・リアウ州においてエコロジーと種族的環境適応に関する調査、1984～85年、1990年、1991年、1992年、1993年、1994年、1995年リアウ州クアantanにおいて、1986～87年、1988年、1988～89年、1990年、1991年、1993年、1995年マレーシアのヌグリ・スンビラン州において、それぞれ村落社会史に関する調査を行う。
6. (1) “Change and Continuity in the Minangkabau Matrilineal System,” *Indonesia*, 28 (April), 1978.
(2) “Rantau Pariaman: The World of Minangkabau Coastal Merchants in the Nineteenth Century,” *Journal of Asian Studies*, 39 (4), 1980.
(3) 「矛と盾?——ミナンカバウ社会にみるイスラームと母系制の関係について」『東南アジア研究』18(2), 1980.
(4) *Matriliny and Migration: Evolving Minangkabau Traditions in Indonesia*, Cornell University Press, 1982.

加藤 剛

1. 一橋大学社会学部, 1966.

- (5) 「都市と移住民：ジャカルタ在住ミナンカバウの事例」『東南アジア研究』21 (2), 1983.
- (6) "Typology of Cultural and Ecological Diversity in Riau, Sumatra," in N. Maeda and Mattulada (eds.), *Transformation of the Agricultural Landscape in Indonesia*, CSEAS, Kyoto Univ., 1984.
- (7) 「インドネシアの都市にみる種族結合：ネットワークと同郷会」『東南アジア研究』23 (4), 1986.
- (8) 「都市のなかの『むら』——ジャカルタにみる婚姻形態——」石井米雄 (編)『東南アジア世界の構造と変容』創文社, 1986.
- (9) "Agricultural Rituals and Rice Cultivation in Negeri Sembilan: A Reconstruction from Oral History,"『東南アジア研究』26 (2), 1988.
- (10) "Different Fields, Similar Locusts: Adat Communities and the Village Law of 1979 in Indonesia," *Indonesia* 47 (April), 1989.
- (11) *Nasab Ibu dan Merantau: Tradisi Minangkabau Yang Berterusan di Indonesia* (trans. by Azizah Kassim), Dewan Bahasa dan Pustaka, 1989.
- (12) 「都市のなりたち」矢野暢 (編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻) 弘文堂, 1990.
- (13) 「『エスニシティ』概念の展開」坪内良博 (編)『東南アジアの社会』(講座・東南アジア学第3巻) 弘文堂, 1990.
- (14) 「イスラームとの出会い——スマトラの村の生活——」第5回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会 (編)『都市文明イスラームの世界——シルクロードから民族紛争まで——』クバプロ, 1991.
- (15) "When Rubber Came: The Negeri Sembilan Experience,"『東南アジア研究』29 (2), 1991.
- (16) 「スマトラの世界」矢野暢 (編)『東南アジア学入門』(講座・東南アジア学別巻) 弘文堂, 1992.
- (17) 「民族誌と地域研究——『他者』へのまなざし——」矢野暢 (編)『地域研究の手法』(講座・現代の地域研究第1巻) 弘文堂, 1993.
- (18) 「飼育されるエスニシティ」矢野暢 (編)『地域研究のフロンティア』(講座・現代の地域研究第3巻) 弘文堂, 1993.
- (19) "Changing Marriage Patterns in Malay Society of Negeri Sembilan," in T. Mizushima (ed.), *Local Societies in Malaysia*, Vol. 2, ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies, 1994.
- (20) "The Emergence of Abandoned Paddy Fields in Negeri Sembilan, Malaysia,"『東南アジア研究』32 (2), 1994.

五十嵐忠孝

1. 東京大学医学部, 1970.
2. 東京大学保健学修士, 1972.
3. 人類生態学
4. (1) 小人口学
(2) 栄養と生業機構
5. 1975年, 東京大学医学部保健学科助手に採用される。1982年, 群馬大学医学部助教授に昇任, 1984年, 東南アジア研究センターに配置換となり, 現在に至る。
1970~73年, トカラ列島でヒトの個体群生態学的調査, 1974~75年, 韓国の一農村で人口移動の調査, 1979年以降, インドネシア西ジャワ州のスンダ人村落で小人口学, 栄養と生業機構に関する調査などに従事, 近年比較の観点からバリ島農村社会に調査の比重を移しつつある。
6. (1) "Change in Daily Activity Patterns during the Ramadan in an Islamic Soci-

- ety," in *Proceedings of the Second International Symposium on Asian Studies, 1980*, Vol. II, Asian Research Service, Hong Kong, 1981.
- (2) 「個人年齢の推定方法に関する若干の覚え書き——西部ジャワ・スンダ人村落での調査から」『東南アジア研究』20 (2), 1982.
- (3) "Seeking the Dates of Birth of Children: An Age-Estimation Method that Combines Dental Age with Indigenously Expressed "Time of Birth" for Use in Priangan, West Java," in *Proceedings of the Fourth International Symposium on Asian Studies, 1982*, Vol. III, Asian Research Service, Hong Kong, 1983.
- (4) 「漁撈と農耕の比較生態——西部ジャワ・プリアガン地方での調査から」大塚柳太郎 (編) 『生態人類学』至文堂, 1983.
- (5) "Locality-Finding in Relation to Fishing Activity at Sea," in Bela Gunda (ed.), *The Fishing Culture of the World: Studies in Ethnology, Cultural Ecology and Folklore*, Akadémiai Kiadó, Budapest, 1984.
- (6) 『インドネシア人類生態学調査集成』(共編) 日産科学振興財団, 1984.
- (7) 「西ジャワ・プリアガン高地における水稲耕作——若干の人類生態学的観察」『農耕の技術』7, 1984.
- (8) 「西ジャワ・プリアガン高地の食糧資源と人口」小石秀夫・鈴木継美 (共編) 『栄養生態学』恒和出版, 1984.
- (9) 「インドネシアの人口, 出生, 死亡」『医学のあゆみ』132, 1985.
- (10) *Human Ecological Survey in Rural West Java in 1978 to 1982: A Project Report*, (共編著) Nissan Science Foundation, Tokyo, 1985.
- (11) "Some Biosocial Variables That May Account for Fertility Patterns in the Sundanese Society," in *Health Ecological Survey in Indonesia in 1983/84*, Part 1, Department of Public Health, Gunma University, 1985.
- (12) "Biosocial Variables Affecting Sundanese Fertility, West Java," *Man and Culture in Oceania*, 3, 1987.
- (13) 「農作業・季節・星——西ジャワ・プリアンガン高地における畑地耕作をめぐる季節性と農作業のタイミング——」『東南アジア研究』25 (1), 1987.
- (14) 「西ジャワ・プリアンガン地方のスンダ人農民社会における早婚・多産の文化・社会的背景」『東南アジア研究』25 (4), 1988.
- (15) 「ヒト・社会・出生間隔——東南アジアにおける具体像」矢野暢 (編) 『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻) 弘文堂, 1990.
- (16) 「早婚・高出生力・文化——プリアンガン・スンダ人社会の事例」前田成文 (編) 『東南アジアの文化』(講座・東南アジア学第5巻) 弘文堂, 1991.

林 行夫

1. 龍谷大学文学部, 1979.
2. 龍谷大学文学修士, 1981.
3. 文化人類学, 宗教社会学
4. (1) 上座仏教文化圏における宗教と社会の研究
(2) 東南アジア大陸部民族誌学
5. 1988年国立民族学博物館研究部助手に採用され, 1993年京都大学東南アジア研究センター助教授に転任, 現在に至る。1981年～83年にかけてタイのチュラーロンコーン大学政治学部人類学科にてタイの村落・宗教研

究を行うとともに、東北タイのラオ系農村にて定着調査を実施。1984～85年、1987年はそれぞれ3カ月間タイ東北部、中部地方において調査、1989～90年にかけて、タイ、ビルマ、中国雲南省西双版纳における上座仏教の実践形態にかんする比較調査、1990～92年の各年にそれぞれ2カ月ほどラオス北、南部地方にて民族文化と村落宗教の調査、1993～94年、カンボジアの仏教復興についての調査に従事。

6. (1) 「モータムと『呪術的仏教』：東北タイ・ドンデーン村におけるクン・プラタム信仰を中心に」『アジア経済』25 (10), 1984.
- (2) "A Temple, Ritual and World-View in Don Daeng," in H.Fukui *et al.* (eds.), *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Second Interim Report), CSEAS, Kyoto University, 1985.
- (3) 「葬儀をめぐるブン（功德）と社会関係」『東南アジア研究』23 (3), 1985.
- (4) 「開拓村（ウドンタニ県北モー村）訪問記」『東南アジア研究』23 (3), 1985.
- (5) タイ仏教における女性の宗教的位相についての一考察」『龍谷大学社会学論集』7, 1986.
- (6) 「国教の変容：タイ農村における『森の寺』をめぐる出家行動」『龍谷大学社会学論集』8, 1987.
- (7) 「タイ村落宗教研究における『体系』と『現実』」『民博通信』42, 1988.
- (8) 「ラーオ系稲作村における互助規範と功德のシェアの社会的意味：タイ上座部仏教の文化人類学的考察」『ソシオロジ』105, 1989.
- (9) 「ダルマの力と帰依者たち：東北タイにおける仏教とモータム」『国立民族学博物館研究報告』14 (1), 1989.
- (10) 「村落宗教の構造と変容」口羽益生（編）『ドンデーン村の伝統構造とその変容』創文社, 1990.
- (11) 「西双版纳における出家活動と村落の仏教組織」田辺繁治（編）『上座部仏教圏における宗教と社会：タイ・雲南・スリランカの比較研究（科研中間報告1/1989年度）』国立民族学博物館, 1990.
- (12) 「『王』・功德・開発：現代タイ王権と仏教」松原正毅（編）『王権の位相』弘文堂, 1991.
- (13) 「内なる実践へ：上座仏教の論理と世俗の現在」前田成文（編）『東南アジアの文化』（講座・東南アジア学第5巻）弘文堂, 1991.
- (14) 「仏教儀礼の民族誌」石井米雄（編）『講座 仏教の受容と変容2・東南アジア編』佼成出版社, 1991.
- (15) 「ラオ人社会の変容と新仏教運動：東北タイ農村のタマカーイをめぐる」田辺繁治（編）『実践宗教の人類学：上座部仏教の世界』京都大学学術出版会, 1993.
- (16) 「森林の変容と生成：東北タイにおける宗教表象の社会史試論」佐々木高明（編）『農耕の技術と文化』集英社, 1993.
- (17) 「『まなざし』のなかの民族と異文化：南ラオス調査から」『民博通信』65, 1994.
- (18) 「東北タイの精神世界：モータムの語るもの」小野澤正喜（編）『タイ読本』河出書房新社, 1994.
- (19) "Notes on the Inter-ethnic Relation in History: With Special Reference to Mon-Khmer Peoples in Southern Laos," in Surat Worangrat (ed.), *Chonklum Chattiphphan nai aeng Sakon Nakhon*, Sathaban Ratchaphat Sakon Nakhon, 1995.
- (20) "From Forest to State: Village Guardian Spirit among the Thai-Lao in

Northeast Thailand,” in R. Ananda and K. Tamura (eds.), *Knowledge and Power in Southeast Asian Religious Systems*, Institute of Southeast Asian Studies (in Press).

石川 登

1. 東京都立大学人文学部, 1985.
2. 東京都立大学文学修士, 1989.
3. 社会人類学
4. 社会変化論, 歴史的民族誌学
5. 1986年よりニューヨーク市立大学大学院人類学部在籍。1988年, ニューヨーク大学, 1991～92年, ニューヨーク市立大学クィーンズ・カレッジ講師。文化人類学概論および東南アジア地域論担当。1994年12月よりセンターに助手として採用され, 現在に至る。1993年3月～94年11月東マレーシア・サラワク州西部, および1995年2～3月西カリマンタンにて, マレー村落の社会変化に関する臨地調査を行う。
6. (1) 「親族組織」『南伊豆落居集落の民俗誌』『社』11(4), 1982.
(2) 「男子割礼をめぐる諸解釈——検討と批判」松園万亀雄・宮田登(共編)『文化人類学4』3(1), 1987.
(3) 「ボルネオにおける非単系出自論の展望」(東京都立大学大学院社会科学研究所社会人類学修士論文), 1989.
(4) 「シドニー W. ミンツ著『甘さと権力——砂糖が語る近代史』」『民族学研究』54(4), 1989.
(5) 「ボルネオにおける非単系出自論の可能性」『社会人類学年報』16, 1990.
(6) 「理論と民族誌——『高地ビルマ』をめぐる人類学小史 1954-1982」『民族学研究』57(1), 1992.
(7) 「農民と往復切符——循環的労働移動とコミュニティ研究の前線」『民族学研究』

58(1), 1993.

- (8) “The Formation of Malay Peasantry in Sematan, Southwestern Sarawak : A Historical Analysis” (Joint Authorship with Mayumi Ohta), a paper presented at the Third Biennial International Conference, the Borneo Research Council, Pontianak, West Kalimantan, Indonesia, July 14-16, 1994. ✓
- (9) “A Social History of Coconuts in Sematan, Western Sarawak,” *Journal AZAM*, Angkatan Zaman Mansang (AZAM) Sarawak, (forthcoming).
- (10) “A Benevolent Protector or a Failed Exploiter? : An Examination of Sarawak Agro-economic Policies under the Second Rajah, Charles Brooke (1871-1917),” in Shamsul A. B. and T. Uesugi (eds.), *Japanese Anthropologists, Malaysian Society : Contributions to Malaysian Ethnography*, National Museum of Ethnology, (forthcoming).

統合環境部門

応地 利明

1. 京都大学文学部, 1960.
2. 京都大学文学博士, 1986.
3. 人文地理学
4. (1) 全体論的視点からの村落・農耕研究
(2) 前近代アジア都市論
(3) 日本人の海外・異域認識
5. 1964年名古屋大学文学部助手, 1966年名古屋工業大学講師, 1968年同助教授, 1969年愛知県立大学文学部助教授, 1973年京都大学文学部助教授, 1986年同文学部教授, 1994年東南アジア研究センターに配置換, 現在に至る。
この間, 下記の海外諸地域で調査を行う。

- 1962～63年アフガニスタン, パキスタン, インド, ネパール, 1982年インド, インドネシア, 1985年インド, パキスタン, 1987年インド, 1987～88年インド, パキスタン, 1988～89年フランス, マリ, スペイン, トルコ, エジプト, 1989年インド, パキスタン, 1990年インドネシア, 1990年フランス, マリ, 1991年タイ, 1991年インドネシア, 1992年東および北ヨーロッパ, 1992～93年コートディボアール, マリ, フランス, 1993年イタリー, チュニジア, モロッコ, スペイン, 1993年インドネシア, 1994年インドネシア, 1994年フランス, ブルキナファソ, ガーナ, 1994～95年メキシコ, グアテマラ, パナマ, ヴェネズエラ, セントルシア, アンティグア, 1995年ガーナ, 1995年東南アジア大陸部, 1995～96年パキスタン, インド, スリランカ。
6. (1) 『西南アジアの農業と農村』(共著)京大人文科学研究所, 1967.
- (2) 『五穀・果実』(共著)(日本の模様21)光琳社, 1975.
- (3) "Land Utilization in a South Deccan Village : Contrasts between Tank-irrigated and Rain-fed Cultivation." 『東南アジア研究』22 (2), 1984.
- (4) 「デカン高原南端部における定期市の規範的検討」『人文地理』38 (4), 1986.
- (5) 「絵地図に現われた世界像」朝尾直弘他(編)『社会観と世界像』(日本の社会史7)岩波書店, 1987.
- (6) 「稔の系譜と稲作」渡部忠世(編)『稲のアジア史』第1巻『アジア稲作文化の生態基盤——技術とエコロジー』小学館, 1987.
- (7) 「インド稲作の性格——雑穀としての稲」渡部忠世(編)『稲のアジア史』第2巻『アジア稲作文化の展開——多様と統一』小学館, 1987.
- (8) "Farm Practices of Millet and Agricultural Implements in Maidan Region of Karnataka, South India," in S. Sakamoto (ed.), *A Preliminary Report of the Studies on Millet Cultivation and Its Agro-pastoral Culture Complex in the Indian Subcontinent*, Kyoto University, 1987.
- (9) "The West on the World Maps of Medieval and Early Modern Japan," in *Proceedings of Medieval Workshop "Mutual Images: Medieval Europe and Pre-modern East Asia,"* University of British Columbia, 1990.
- (10) "Les techniques de la culture du mil au Mali : Type et distribution," in J. Kawada (ed.), *Boucle du Nigers : Approches multidisciplinaires*, 2, I. R. L. C. A. A., 1990.
- (11) 「玄海灘の交易と農耕文化の交流」網野善彦他(編)『海と列島文化3 玄海灘の島々』小学館, 1990.
- (12) "The 'Ideal' Hindu City of Ancient India as Described in the *Arthashastra* and the Urban Planning of Jaipur," *East Asian Cultural Studies*, 25 (1～4), 1991.
- (13) "Reflexions sur les conditions écologiques de la riziculture dans la région s'étendant entre Mopti et Tombouctou, au Mali," in J. Kawada (ed.), *Boucle du Nigers : Approches multidisciplinaires*, 3, I. R. L. C. A. A., 1992.
- (14) 『南アジアを知る辞典』(共同監修)平凡社, 1992.
- (15) 「日本図と世界図——絵地図に描かれた中世日本の異域」荒野泰典他(編)『アジアの中の日本史』第5巻『自意識と相互理解』東京大学出版会, 1993.
- (16) 「南アジアの都城思想——理念と形態」

板垣雄三・後藤明（編）『イスラームの都市性』（学振新書16），日本学術振興会，1993.

- (17) 「タイにおける稲作慣行農法と犁の調査——犁耕の起源とも関連させて」『東南アジア研究』31(2)，1993.
- (18) 「世界に誇るデカンの雑穀農法」辛島昇（編）『ドラヴィダの世界』，東京大学出版会，1994.
- (19) “Essai de mise au point d’une carte agricole de la République du Mali : Le cas de la culture des mils,” in J. Kawada (ed.), *Boucle du Nigers: Approches multidisciplinaires*, 4, I. R. L. C. A. A., 1994.
- (20) 「前近代アジア都市論構築のための試論」『建築思潮』3，1995.

玉田 芳史

1. 京都大学法学部，1981.
2. 京都大学法学修士，1983.
3. 比較政治学
4. タイの現代政治と政治史の研究
5. 1987年愛媛大学法文学部の国際関係論担当の助手に採用され，1988年同講師，1989年同助教授を経て，1990年東南アジア研究センター助教授に転任，現在に至る。
1983年12月～85年10月タイのチュラーロンコーン大学政治学部に留学。1987年，1988年，1990年，1991年にそれぞれ2週間ほど，そして1992年，1994年に6カ月ほどタイにおいて調査や資料収集を行なった。
6. (1) 「タイの地方における実業家と官僚（1）（2）」『法学論叢』121(1)，(4)，1987.
- (2) 「タイにおける実業家政党と軍：首相府令66/2523を中心として」『東南アジア研究』26(3)，1988.
- (3) 「タイにおける1912年反乱計画：5世王による改革の問題点」『愛媛法学会雑誌』

15(3・4)，1989.

- (4) タック・チャルムティアロン著『タイ：独裁的温情主義の政治』（翻訳），井村文化事業社，1989.
- (5) 「東南アジアの政治」岡本幸治・木村雅昭（編著）『現代政治を解説する』ミネルヴァ書房，1990.
- (6) “*Itthiphon and Amnat : An Informal Aspect of Thai Politics*,” 『東南アジア研究』28(4)，1991.
- (7) 「タイのクーデタ，1980～1991年：軍の同期生，内部抗争，対政府関係」『東南アジア研究』29(4)，1992.
- (8) 「官僚制の近代化：タイの事例」矢野暢（編）『東南アジアの政治』（講座・東南アジア学第7巻）弘文堂，1992.
- (9) 「固くて柔らかな支配」矢野暢（編）『地域研究のフロンティア』（講座・現代の地域研究第3巻）弘文堂，1993.
- (10) 「タイの政治学教育」京都大学法学部（編）『政治学の研究教育の国際化に関する基礎的研究』（平成5年度教育研究学内特別経費報告書），1994.

西村 重夫

1. 広島大学教育学部，1974.
2. 広島大学教育学修士，1978.
3. 比較教育学
4. (1) インドネシアとマレーシアの国民統合と教育
(2) 東南アジアのイスラーム教育
5. 1976～77年，インドネシア・バンドゥン教育大学に留学。1979年，美作女子大学短期大学部講師。1982年，美作女子大学講師。1983年，同大学助教授。1984年，九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設講師。1988年，同研究施設助教授。1992年，東南アジア研究センター助教授に配置転換になり，現在に至る。1986～87年，バンドゥンにお

いてパンチャシラ道德教育の研究, 1989年, インドネシアとマレーシアにおいてイスラーム教育に関する比較研究, 1991年, 1993年, 1994年, 1995年, カリマンタンにおいて国民統合と教育に関する研究などに従事。

6. (1) 「インドネシアにおける教育目的の変遷に関する一考察」『美作女子大学・美作女子大学短期大学部紀要』28, 1983.
- (2) 「インドネシアの独立戦争期における教育政策の成立過程」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』36, 1985.
- (3) 「パンチャシラ道德教育の成立と発展」『日本比較教育学会紀要』12, 1986.
- (4) 「パンチャシラ道德教育の構造」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』37, 1986.
- (5) 「パンチャシラ道德教育の諸相」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』38, 1987.
- (6) 「インドネシアの教育における伝統と革新」権藤与志夫・弘中和彦(編)『アジアの文化と教育』九州大学出版会, 1987.
- (7) 「パンチャシラ道德教育の方法論」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』39, 1988.
- (8) “Perbandingan Pendidikan Moral di Indonesia dan Jepang,” *Mimbar Pendidikan*, 8 (3), 1989.
- (9) 「インドネシアにおけるイスラーム教育の構造——小学校用教科書の内容分析を中心として——」『九州大学教育学部紀要(教育学部門)』34, 1989.
- (10) 「マレーシアにおけるイスラーム教育の構造——小学校用教科書の内容分析を中心として——」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』40, 1989.
- (11) 「国民教育の発展戦略」馬越徹(編)『現代アジアの教育』東信堂, 1989.
- (12) 「インドネシア——多様性の中の統一をめざす教育——」馬越徹(編)『現代アジアの教育』東信堂, 1989.
- (13) 「国民教育——パンチャシラ道德教育へ

の展開をめぐる——」土屋健治(編)『東南アジアの思想』(講座・東南アジア学第6巻)弘文堂, 1990.

- (14) 「インドネシア人の留学」権藤与志夫(編)『世界の留学』東信堂, 1991.
- (15) 「インドネシアにおける国民教育制度改革の構図」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』42, 1991.
- (16) 「カリマンタン(ボルネオ)にみる国民統合の教育」『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』26, 1991.
- (17) 「日本占領期インドネシアの地方教育」『国立教育研究所紀要』121, 1992.
- (18) 「世界の各国における道德教育」押谷由夫・内藤俊史(編)『道德教育』ミネルヴァ書房, 1993.
- (19) 「国民統合と教育——マレーシア・サバ州・N小学校の変容をめぐる——」『東南アジア研究』31(4), 1994. ✓
- (20) 「紅白旗の色に染まる学校——インドネシア——」二宮皓(編)『世界の学校』福村出版, 1995.

永井 史男

1. 京都大学法学部, 1990.
2. 京都大学法学修士, 1992.
3. 比較政治学
4. 19世紀タイ近代政治史
5. 1993年4月～95年3月日本学術振興会特別研究員(DC2)。1994年4月～95年10月, タイ国のタマサート大学政治学部に留学。1995年, 東南アジア研究センター助手に採用され, 現在に至る。
6. (1) 「外圧なき開国——19世紀シャムにおける近代化の開始に関する一考察(1)」『法学論叢』135(2), 1994.
- (2) 「外圧なき開国——19世紀シャムにおける近代化の開始に関する一考察(2)」『法学論叢』136(1), 1994.

- (3) 「セークサン・プラサートクン博士著『タイ国家の変容と経済変化(1855～1945年)』『政治経済史学』341, 1994.
- (4) 「欧米における19世紀タイ史研究に関する動向(I)」『政治経済史学』352, 1995.

地域発展部門

吉原久仁夫

1. カリフォルニア大学(パークレー校), 1966.
2. カリフォルニア大学 Ph.D.(経済学), 1966.
3. 経済学
4. 文化, 制度, 経済成長
5. ミシガン大学経済学部助教授(1966～69年)を経て, 1969年, 東南アジア研究センター助手として着任, 1971年, 同助教授, 1987年, 同教授に昇任, 現在に至る。
この間, 1970～71年, 1981～82年, および1992年フィリピン大学経済学部, 1973～74年, シンガポール大学経済学部, 1976～77年, スタンフォード大学経済学部, 1982～83年タマサート大学経済学部, 1987年マラヤ大学経済学部, および1993年ベトナム社会科学院世界経済研究所で客員教授として経済発展論を講義する。
6. (1) "Demand Functions: An Application to the Japanese Expenditure Pattern," *Econometrica*, 37 (2), 1969.
- (2) "Long-term Models of the Japanese Economy," 『季刊理論経済学』20 (3), 1969.
- (3) "The Problem of Accounting for Productivity Change in the Construction Price Index," (共著) *Journal of the American Statistical Association*, 66 (333), 1971.
- (4) "Productivity Change in the Japanese Economy, 1905-65," (共著) 『季刊

- 理論経済学』23 (1), 1972.
- (5) 「シンガポールの工業化と米系企業」『東南アジア研究』12 (4), 1975.
- (6) 「シンガポールの工業化における外資系企業と民族系企業」『東南アジア研究』13 (2), 1975.
- (7) *Foreign Investment and Domestic Response: A Study of Singapore's Industrialization*, Eastern Universities Press, Singapore, 1976.
- (8) *Japanese Investment in Southeast Asia*, University Press of Hawaii, 1978.
- (9) *Sogo Shosha: The Vanguard of the Japanese Economy*, Oxford University Press, Tokyo, 1982. (インドネシア語, ベトナム語, マレーシア語に翻訳出版)
- (10) "Business Groups in Thailand," (共著) Research Notes and Discussion Paper No.41, Institute of Southeast Asian Studies, Singapore, 1983.
- (11) *Japanese Economic Development: A Short Introduction*, 3rd ed., Oxford University Press, Tokyo, 1994. (インドネシア語, タイ語, ラオス語, ベトナム語, タガログ語, 中国語に翻訳出版)
- (12) *Philippine Industrialization: Foreign and Domestic Capital*, Oxford University Press, Singapore, 1985.
- (13) *The Rise of Ersatz Capitalism in Southeast Asia*, Oxford University Press, Singapore, 1988. (インドネシア語, タイ語, マレーシア語に翻訳出版)
- (14) *Oei Tiong Ham Concern: The First Business Empire in Southeast Asia*, (編) CSEAS, 1989. (インドネシア語に翻訳出版)
- (15) *Thai Perceptions of Japanese Modernization*, (編) Kuala Lumpur, Falcon Press, 1989.

- (16) "Thailand : Industrialization without Development," (共著) *East Asian Cultural Studies*, 28 (March), 1989.
- (17) *Japan in Thailand*, (編) Kuala Lumpur, Falcon Press, 1989.
- (18) 『東南アジアの経済』(講座・東南アジア学第8巻)(編著) 弘文堂, 1991.
- (19) *The Nation and Economic Growth: the Philippines and Thailand*, Oxford University Press, Singapore, 1994.
- (20) "Culture, Institutions, and Economic Growth : Korea and Thailand," 『東南アジア研究』33 (3), 1995.

海田 能宏

1. 京都大学農学部, 1962.
2. 京都大学農学博士, 1970.
3. 農村開発論, 熱帯農業水文学
4. (1) アジア農村開発論
(2) 農業発展の水文環境的基盤
5. 1967年, 京都大学助手(農学部)に採用され, 1969年, 東南アジア研究センターへ配置換え。1974年同助教授, 1984年同教授に昇任。同年から京大大学院農学研究科熱帯農学専攻教授を, さらに1993年から同人間・環境学研究科地域研究専攻教授を兼任。
もともと農業水文学・灌漑排水学を専攻したが, 1969年東南アジア研究センターに移ってからは, 水文環境, 農業生態, 農村開発などへと関心を広げ, 臨地調査を続けている。現在までに調査した地域は中部タイとくにチャオプラヤーデルタ, イラワディーデルタ, メコンデルタ, カンボジア氾濫原, 南スマトラ海岸低地, ルソン平野, チェンマイ盆地, 東北タイ・ドンデーン村, 中部ジャワおよびバリ, バングラデシュのベンガルデルタ, ナイルデルタ, インドスデルタのパンジャブ地方, 中国雲南から西双版纳, 中国広東デルタ, それにイスラエル, 中・東欧, 地中海沿

海域などである。臨地調査の経験は長短合わせると60回延11年に及ぶ。

とりわけ関心を寄せたのは, チャオプラヤーデルタ, メコンデルタ, カンボジア氾濫原などにおける稲作地の水文環境研究, 東北タイ・ドンデーン村研究, それに1985年以来組織しつづけているバングラデシュの5地域8カ村を対象にした「農村開発実験」研究である。これは, 日本とバングラデシュの研究者による長期の共同作業である。21世紀のアジアの農村のあるべき姿を求めて, 「風土の工学」をキーワードとするような地域発展へのアプローチを模索している。

6. (1) "Pioneer Settlement and Water Control Development in the West Bank Tract of the Lower Chao Phraya Delta," 『東南アジア研究』11 (4), 1974.
- (2) 「メコンデルタ稲作農業の自然環境とデルタの開発構図」『東南アジア研究』13 (1), 1975.
- (3) "Agro-hydrologic Regions of the Chao Phraya Delta," in S. Ichimura (ed.), *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, University Press of Hawaii, 1977.
- (4) *Pa Mong Optimization and Downstream Effects Study, Main Report*, Report of Mekong Secretariat, MKG 45, Rev. 1, 1978.
- (5) "Effect of Mekong Mainstream Flood Regulation on Hydrology and Agriculture in the Cambodian Lowland (I): Rice Culture," 『東南アジア研究』16 (4), 1979.
- (6) 「メコンをデザインする」松田松二(編) 『自然とむすぶ文化』共立出版, 1980.
- (7) *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (An Interim

- Report), (共編著) CSEAS, Kyoto University, 1983.
- (8) "Hydrology of Rice Land," in *Soil Problems in Rice Based Cropping Systems*, International Rice Research Institute, 1985.
- (9) 「東北タイ・ドンデーン村：村のたたずまい」(共著)「東北タイ・ドンデーン村：稲作の不安定性」(共著)『東南アジア研究』23(3), 1985.
- (10) 「水文と水利の生態」渡部忠世・福井捷朗(共編)『稲のアジア史』第1巻, 小学館, 1987.
- (11) *Agricultural and Rural Development in Bangladesh: Key Questions and Issues from Village-Based Studies, 1986-1989*. JSARD Publication No. 20. (共編著) JICA, Dhaka, 1990.
- (12) 「バングラデシュの農村発展のための共同研究」『東南アジア研究』28(3), 1990.
- (13) 「稲作と水利」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻) 弘文堂, 1990.
- (14) "Tropical Hydrology Simulation Model 1 for Watershed Management: (1) Model Building, (2) Model Application, (3) Using the Model for Landuse Management," (共著)『水文・水資源学会誌』4(2), (3), (4), 1991.
- (15) "A Study in Rural Development: Summary Report on Joint Study for Rural Development in Bangladesh," *Technology and Development*, No. 6, 1993.
- (16) 「問題群としての地域」矢野暢(編)『地域研究の手法』(講座・現代の地域研究第1巻) 弘文堂, 1993.
- (17) 「風土の工学」日本大学国際地域研究所(編)『東南アジアの自然・技術・農民』龍溪書舎, 1994.
- (18) 「北インドの灌漑発展における外来技術と在地技術」『農業土木研究』62(2), 1994.
- (19) 「デルタの個性ということ——チャオブラヤーデルタの景観の変貌をめぐって——」『総合的地域研究』9号, 1995.
- (20) 特集「バングラデシュ農村開発研究」(編著)『東南アジア研究』33(1), 1995.

池本 幸生

1. 京都大学経済学部, 1980.
2. 京都大学博士(経済学), 1993.
3. 経済発展論, 所得分配論
4. (1) タイの所得分配
(2) タイの産業政策と工業化
(3) タイの地方開発と農村家内工業
(4) タイ経済史
(5) インドシナ諸国の経済開発
5. アジア経済研究所研究員(1980～90年)を経て, 1990年, 東南アジア研究センター助教授として着任, 現在に至る。
1987～89年にはチュラロンコン大学社会科学研究所客員研究員としてタイの所得分配および経済開発政策の研究を行う。
1991～92年(5カ月)および1993～94年にはバンコク連絡事務所に駐在。
6. (1) "On the Fiscal Incentive for Investment: The Case Study of Postwar Japan," (共著) *Developing Economies*, 22(4), 1984.
(2) "Income Distribution in Malaysia: 1957-80," *Developing Economies*, 23(4), 1985.
(3) 「所得分配：経済発展と所得分配の不平等化」『アジア経済』27(9・10), 1986.
(4) "Technical Progress and Level of Technology in Asian Countries: 1970-80 —A Translog Index Approach," *Developing Economies*, 24(4), 1986.

- (5) 「タイにおける所得分配と地方間・地域間格差：1975/76年と81年」(共著)『アジア経済』28(4), 1987.
- (6) 「経済発展と所得分布：東および東南アジアの事例」『アジア経済』28(5), 1987.
- (7) “Income Inequality and Regional Disparity in Thailand, 1962-81,” (共著) *Developing Economies*, 25(3), 1987.
- (8) *Economic Development Policy in Thailand: A Historical Review* (共編著) (『タイの経済政策——歴史・現状・展望』日本語訳) アジア経済研究所, 1988.)
- (9) 「利潤率, 企業集中と下請け関係：サイアム・モーターズ・グループの事例」『アジア経済』29(9), 1988.
- (10) 「東南アジアの所得分配」吉原久仁夫(編)『東南アジアの経済』(講座・東南アジア学第8巻) 弘文堂, 1991.
- (11) *Income Distribution in Thailand: Its Changes, Causes, and Structure*, アジア経済研究所, 1992.
- (12) 「タイ家電産業における輸入代替型企業と輸出指向型企業の併存」『アジア経済』32(11), 1991.
- (13) 「産業組織と開発政策——タイ自動車組立産業の事例」『アジア経済』33(10), 1992.
- (14) 「タイにおける地域開発政策と地域間格差」町田・佐藤(編)『アジア諸国の地域経済構造』アジア経済研究所, 1992.
- (15) “Income Inequality in Thailand in the 1980s,” 『東南アジア研究』30(2), 1992.
- (16) “Income Distribution and Malnutrition in Thailand,” *Chulalongkorn Journal of Economics*, 5(2), 1993.
- (17) 「ラーマ四世期の『消極的』経済政策」『東南アジア研究』31(4), 1994.
- (18) 「タイの自動車組立産業と自由化政策」

谷浦妙子(編)『産業発展と産業組織の変化——自動車産業と電気電子産業——』アジア経済研究所, 1994.

- (19) 「タイ家電産業の発展と市場構造」谷浦妙子(編)『産業発展と産業組織の変化——自動車産業と電気電子産業——』アジア経済研究所, 1994.
- (20) “An Expansion of Cottage Industry in Northeast Thailand: A Case of Triangular Pillow in Yasothon Province,” 『東南アジア研究』33(4), 1996.

人間環境部門

福井 捷朗

1. 京都大学農学部, 1961.
 2. 京都大学農学博士, 1974.
 3. 農業生態
 4. 東北タイ, コーラート高原の農業生態
 5. 1964～69年, タイ国カセサート大学及び農務省米穀局にて稲作を研究。1967年, 京都大学東南アジア研究センター助手に採用される。1969年同農学部助手, 1974年同東南アジア研究センター助手。1975年同助教授, 1987年同教授に昇任, 現在に至る。1982年より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻助教授, 1987年同教授を併任。
1972年タイ及びジャワ, 1974年メコンデルタ, 1976年イラワディデルタ及びサラワク, 1977年西マレーシア, 1979年スマトラ及びルソン島, 1979年, 1980年タイにおいて, それぞれ数カ月の現地調査に従事する。1975年, オランダ農科大学にて研究。1981～82年及び1983年, 東北タイ村落定着調査に従事する。1989年以降, ほとんど毎年のように, 東北タイのヤントン県を中心として, 農業生態調査を実施。また, 1990年には中国古代稲作に関する現地調査を行なった。
6. (1) “Environmental Determinants Affect-

- ing the Potential Dissemination of High Yielding Varieties of Rice : A Case Study of the Chao Phraya River Basin,"『東南アジア研究』9(3), 1971.
- (2) 「気候変動と湿潤熱帯の農業」『科学』49(3), 1979.
- (3) "Climatic Variability and Agriculture in Tropical Moist Regions," in *Proceedings of The World Climate Conference, Geneva, February 1979*, World Meteorological Organization, 1980. (WMO-No. 537)
- (4) "Variability of Rice Production in Tropical Asia," in *Drought Resistance in Crops with Emphasis on Rice*, International Rice Research Institute, Los Baños, 1982.
- (5) 「東南アジア低湿地の土地利用」『東南アジア研究』21(4), 1984.
- (6) 「エコロジーと技術; 適応のかたち」渡部忠世(編)『稲のアジア史』第1巻『アジア稲作文化の生態基盤』小学館, 1987.
- (7) 『ドンデーン村——東北タイの農業生態——』創文社, 1988.
- (8) 「『火耕水耨』再考」『史林』76(3), 1993. (渡部忠世監修, 農耕文化振興会編『農耕空間の多様と選択』に再録, 大明堂, 1995)
- (9) *Food and Population Balance in a Northeast Thai Village*, University of Hawaii Press, 1993. (Translated by P. Hawkes)
- (10) 「タイ国コラート高原の農業の展開過程」久馬一剛, 祖田修(編著)『農業と環境』富民協会, 1995.
- 田中 耕司
1. 京都大学農学部, 1969.
 2. 京都大学農学修士, 1972.
3. 作物学
 4. (1) 熱帯アジアにおける水田・畑の伝統的作付体系
(2) インドネシア移住民の農業適応
 5. 1973年, 京都大学農学部助手に採用される。1979年, 東南アジア研究センター助手に配置換, 1984年, 助教授に昇任, 現在に至る。
この間, 1974年ビルマ, アッサム等において野生イネの分布と栽培イネの生態型分化の調査に従事。1979年, インド, スリランカにおいてクロッピングシステム等の比較研究調査を行う。1980~85年にかけて3次にわたり, インドネシアにおいて熱帯島嶼域の人の移動に関わる環境形成過程の研究調査に参加, その後, インドネシアで農業移民の調査, バングラデシュで農村開発調査, インドネシア, マダガスカル, 中国, ベトナム, ラオス等で稲作技術・文化の調査を行う。近年は, 東南アジア海域世界の生業と生活に関する文化生態学的調査を進めている。
 6. (1) "Village-Level Studies on Rice-Based Cropping Systems in the Low-Lying Areas of Bangladesh 1. Cropping Patterns and Their Distribution in Haor and Bil Areas," (共著) *Jap. Jour. Crop Sci. Soc.*, 59(3), 1990.
(2) 「フロンティアとしての開拓空間」矢野暢(編)『東南アジア学的手法』(講座・東南アジア学第1巻) 弘文堂, 1990.
(3) 「プランテーション農業と農民農業」高谷好一(編)『東南アジアの自然』(講座・東南アジア学第2巻) 弘文堂, 1990.
(4) 「ベンガル・デルタ低地部の作付体系——技術変容と作付体系展開の地域間比較」(共著)『東南アジア研究』28(3), 1990.
(5) 「バングラデシュ・ハオール農村の水文環境と稲基幹作付様式の展開」(共著)『東南アジア研究』28(3), 1990.

- (6) 「農業フロンティアと移住民：南スラウェシ州ルウ県の農民移住と定着」高谷好一（編）『フロンティア空間としての東南アジア』（科学研究費報告書）東南アジア研究センター，1991.
- (7) “A Note on Typology and Evolution of Asian Rice Culture : Toward a Comparative Study of the Historical Development of Rice Culture in Tropical and Temperate Asia,” 『東南アジア研究』 28 (4), 1991.
- (8) 「アジアの稲作と日本——過去・現在・未来」『阪南大学産業経済研究所年報』 20号, 1991.
- (9) 「マレー型稲作とその広がり」『東南アジア研究』 29 (3), 1991.
- (10) “Traditional Use of Tropical Rain Forest : Shifting Cultivation of South-east Asia,” in N. Itoigawa *et al.* (eds.), *Topics in Primatology, Vol. 2*, University of Tokyo Press, 1992.
- (11) 「東南アジア海域世界と農業フロンティアの拡大——インドネシア南スラウェシ州の事例から」『東南アジア研究』 30 (4), 1993.
- (12) 「インドネシアの最近の農業事情と経済発展」『農業と経済』 No. 7, 1993.
- (13) 「拓かれる生活空間」矢野暢（編）『地域研究のフロンティア』（講座・現代の地域研究第3巻）弘文堂，1993.
- (14) 「フロンティア社会の変容」矢野暢（編）『地域研究と「発展」の論理』（講座・現代の地域研究第4巻）弘文堂，1993.
- (15) “Farmers’ Perceptions of Rice-Growing Techniques in Laos : ‘Primitive’ or ‘Thammasat’?” 『東南アジア研究』 31 (2), 1993.
- (16) 「森と野の狭間——東南アジアの熱帯雨林から」梅原猛・伊東俊太郎（監修）『森の文明・循環の思想』講談社，1993.
- (17) 「地域開発」『インドネシアの農林業——現状と開発の課題』国際農林業協力協会，1994.
- (18) 『東南アジア海域世界の森と海』（編著）京都大学東南アジア研究センター，1994.
- (19) 「森は誰のもの——南スラウェシ州の開拓前線における森林と農地の境界」『総合的地域研究』 No. 8, 1995.
- (20) 「海域世界と稲作の伝播」小泉格・田中耕司（編）『海と文明』（講座・文明と環境第10巻）朝倉書店，1995.

河野 泰之

1. 東京大学農学部，1981.
2. 東京大学農学博士，1986.
3. 土地・水利用
4. (1) タイの農業生態
(2) アジア稲作圏の水利用
5. 1987年東南アジア研究センター助手に採用され，現在に至る。1981年ジャワ島，1983～84年タイ，スリランカ及び南インド，1986年ルソン島，1989年イラン，イラク，エジプト，1990，1991年中国，1995年ベトナムにおいて土地・水利用や水利開発の調査に従事する。1992～1994年アジア工科大学灌漑工学経営プログラムに派遣される。
6. (1) 「熱帯農業開発における水田の意義」『農業土木学会誌』 51 (1), 1983.
(2) “Ch. 6. Land and Water/Hydrography” and “Ch. 8. Agriculture-Environment Interaction/Water Stress and Rice Production,” in H. Fukui *et al.* (eds.), *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Second Interim Report), CSEAS, Kyoto University, 1985.
- (3) 「東北タイ・ドンデーン村：稲作の不安

- 定性」『東南アジア研究』23 (3), 1985.
- (4) 「熱帯モンスーン地域の天水田の農業基盤の研究」東京大学博士論文, 1985.
- (5) 「タイ国東北部の天水田の水文環境と水利開発」『拓殖学研究』26, 1986.
- (6) 「天水田における土地改良事業の経済効果」『農業土木学会誌』55 (9), 1987.
- (7) "Ch. 3. Instability of Rice Production and Its Implications," in H. Fukui *et al.* (eds.), *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Third Interim Report), CSEAS, Kyoto University, 1988.
- (8) "Rainfed Rice Culture and Population Growth—A Case Study at a Northeast Thai Village—," 『東南アジア研究』28 (4), 1991.
- (9) 「タイ国東北部における天水農業の現状と今後の展開」『天水委員会現地調査報告書——タイ国』農用地整備公団, 1991.
- (10) 「タイ国東北部農村の生業構造に基づく村落類型——ヤソトン県を対象として」(共著)『東南アジア研究』30 (3), 1992.
- (11) 「『火耕水耨』再考」(共著)『史林』76 (3), 1993.
- (12) "Changing Features of Irrigated Agriculture in the Chao Phraya Delta, Thailand," in *Proceeding of the International Conference on Environmentally Sound Water Resources Utilization* Vol. II, 1993.
- (13) "Dynamics of Upland Utilization and Forest Land Management: A Case Study in Yasothon Province, Northeast Thailand," (共著)『東南アジア研究』32 (1), 1994.
- (14) "Effect of Water Control on Rice Cultivation in the Red River Delta, Viet-

nam: A Case Study in the Nhue River Irrigation System," (共著)『東南アジア研究』32 (4), 1995.

- (15) "Land and Water Resources Management for Crop Diversification in the Chao Phraya Delta, Thailand: A Case Study of Citrus Cultivation in the North Rangsit Irrigation Project," (共著)『東南アジア研究』33 (2), 1995.
- (16) 「タイ国東北部の村落レベルの土地利用の変容と村落共有林の役割」(共著)『第5回日本熱帯生態学会大会講演要旨集』, 1995.

客員教官

高谷 好一

1. 京都大学理学部, 1958.
2. 京都大学理学博士, 1963.
3. 自然地理学
4. 地域哲学
5. 1967年, 東南アジア研究センターに助手として採用され, 同年, 助教授, 1975年教授に昇任。1981年より京都大学大学院農学研究科熱帯農学専攻教授を兼任。1995年京都大学を退官し, 滋賀県立大学教授に就任, 現在に至る。

過去の研究・調査は, 農業を対象としてきたが, 主な海外調査には次のものがある。1966～67年タイ中央平原, 1968年インド東岸, 1968～69年タイ中央平原, 1970～71年ミシシッピー, アマゾン, ナイル, チグリス・ユーフラテス等のデルタ, 1972年地中海水田地帯, 1973年イラワジ・デルタ, 1974年東北タイ, 1975年ネパール, 1976年ビルマ, 1978年フィリピン, 同年スマトラ, 1980～81年スラウェシ, 1982～83年スリランカ, 1984年スマトラ, 1986～87年マダガスカル, 1988年メラネシア, 1990年中国

南部, 1991年中国西部, 1992年ヨーロッパ, 1993年地中海, 1994年カリブ海, 1995年イエーメンなど。

6. (1) *Agricultural Development of a Tropical Delta*, University of Hawaii Press, 1987.
- (2) 「ロンボク島の高地の伝統稲作」(共編)『東南アジア研究』26 (1), 1988.
- (3) *Madagascar: Perspective from the Malay World* (編)(文部省科研費報告書), 1988.
- (4) 『水田遺構集成』(編)(文部省科研費報告書), 1988.
- (5) 『伝統農業フィールドノート集』第一巻, (共編)農耕文化研究振興会, 1988.
- (6) 「掛け流し傾斜水田の事例」『農耕の技術』11, 1988.
- (7) 『マングローブに生きる』(NHK ブックス), 1988.
- (8) 「新生態史観モデルを求めて」『中央公論』4月号, 1989.
- (9) 『コメをどう捉えるのか』(NHK ブックス), 1990.
- (10) 「文明流とその培地」矢野暢(編)『東南アジア学の手法』(講座・東南アジア学第1巻)弘文堂, 1990.
- (11) 「東南アジア史のなかの生態」石井米雄(編)『東南アジアの歴史』(講座・東南アジア学第4巻)弘文堂, 1991.
- (12) "People and Settlement in Tropical Lowland, with Special Reference to Their Unstability,"『東南アジア研究』28 (4), 1991.
- (13) 「東アジアから見た日本の初期稲作」『季刊考古学』第37号, 1992.
- (14) 「太唐米に海域世界をみる」大林太良他(編)『海と列島の文化』第10巻, 小学館, 1992.
- (15) 『新世界秩序を求めて』中公新書, 1993.

- (16) 「〈地域〉とは何か」矢野暢(編著)『地域研究の手法』(講座・現代の地域研究第1巻)弘文堂, 1993.
- (17) 「〈世界〉を区切る旅」矢野暢(編著)『地域研究のフロンティア』(講座・現代の地域研究第3巻)弘文堂, 1993.
- (18) 「人類の過去, 現在, 未来」矢野暢(編著)『地域研究と〈発展〉の論理』(講座・現代の地域研究第4巻)弘文堂, 1993.
- (19) 「世界の中の〈世界単位〉」矢野暢(編著)『世界単位論』(講座・現代の地域研究第2巻)弘文堂, 1994.
- (20) 「中華世界」矢野暢(編著)『世界単位論』(講座・現代の地域研究第2巻)弘文堂, 1994.

早瀬 晋三

1. 東京大学文学部, 1980.
2. マードック大学 Ph. D., 1984.
3. 歴史学
4. (1) フィリピン・日本関係史
(2) ミンダナオ民族史
5. 1987年, 鹿児島大学教養部講師に採用される。1989年, 同助教授に昇任。1993年, 大阪市立大学文学部助教授に採用, 現在に至る。
6. (1) "Tribes, Settlers, and Administrators on a Frontier: Economic Development and Social Change in Davao, Southeastern Mindanao, the Philippines, 1899-1941," Ph. D. Dissertation, Murdoch University, 1984.
(2) "Tribes on the Davao Frontier," *Philippine Studies*, Vol. 33, Second Quarter, 1985.
(3) "American Colonial Policy and the Japanese Abaca Industry in Davao, 1898-1941," *Philippine Studies*, Vol. 33, Fourth Quarter, 1985 and also published in *The Journal of History*, Vols.

- 30-31, 1985-86.
- (4) 「ダバオ・フロンティアにおけるバゴボ族の社会変容」『アジア・アフリカ言語文化研究』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）31, 1986.
- (5) 「植民統治下のフィリピンにおけるマニラ麻産業」『東南アジア——歴史と文化——』No. 15, 東南アジア史学会, 1986.
- (6) 「マギンダナオ・イスラーム『国家』の成立——フィリピン・イスラーム史研究の予備的考察」『鹿児島大学教養部史学科報告』35号, 1988.
- (7) 『世紀転換期における日本・フィリピン関係』（共著）（AA 研東南アジア研究1）東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 1989.
- (8) 『「ベンゲット移民」の虚像と実像——近代日本・東南アジア関係史の一考察』同文館, 1989.
- (9) “Diplomats of Meiji Japan in the Philippines,” *Philippine Quarterly of Culture & Society*, 17 (4), 1989 and also published in *Journal of the Japan-Netherlands Institute*, Vol. 2, 1990.
- (10) 「鹿児島大学学生の東南アジア観：1989年——アンケート調査報告——」『鹿児島大学教養部史学科報告』37号, 1990.
- (11) “Philippine Historical Studies in Japan,” *Asian Research Trends: A Humanities and Social Science Review*, No. 1, 1991.
- (12) 『東南アジアのイスラーム——教育, 農村, 海洋民——シンポジウム（1991年2月1日）の記録』（共編）（南太平洋海域調査研究報告22）鹿児島大学南太平洋海域研究センター, 1991.
- (13) 「かつて東南アジアに職を求めた日本人——明治・大正期フィリピンの日本人不法労働者を中心に」中岡三益（編）『難民移民 出稼ぎ——人々は国境を越えて移動する』東洋経済新報社, 1991.
- (14) 『東南アジアを知るシリーズ2 フィリピンの事典』（共編）同朋舎, 1992.
- (15) 「フィリピンの植民地開発と陸上交通網——アメリカ統治期の住民への影響」石井米雄・辛島昇・和田久徳（編）『東南アジア世界の歴史的位相』東京大学出版会, 1992.
- (16) 「フィリピン」吉川利治（編）『近現代史のなかの日本と東南アジア』東京書籍, 1992.
- (17) 「南方『移民』と『南進』——フィリピンにおける『移民』, 外交官, 軍事工作」『膨張する帝国の人流』（岩波講座 近代日本と植民地第5巻）岩波書店, 1993.
- (18) 『インタビュー記録 日本のフィリピン占領』（共編）龍溪書舎, 1994.
- (19) 『東南アジア研究を考える——東南アジア史学会関西例会200回記念シンポジウムの記録』（共編）東南アジア史学会関西例会, 1995.
- (20) 『フィリピン行き渡航者調査（1901～39年）——外務省外交史料館文書「海外渡航者名簿」より』（文部省科研重点領域研究「総合的地域研究」成果報告書シリーズ8）京都大学東南アジア研究センター, 1995.

2. 資料部

北野 康子

1. 長崎大学教育学部, 1962.
2. ハワイ大学 MATESL (Master of Arts in Teaching English as a Second Language), 1968. ハワイ大学 MLS (Master of Library Studies), 1971.
3. 図書館学

4. (1) 東南アジア研究資料の目録情報
(2) 図書館の情報技術
5. 1966～68年, East-West Center 奨学生, 1969～71年, ハワイ大学大学院にて図書館学を修める。1971～77年, 貿易研修センター情報資料室勤務を経て, 1977年, 東南アジア研究センター資料部図書室に助手として着任, 現在に至る。
6. (1) *The Bibliography of Bibliographies of the Pacific*, Graduate School of Library Studies, University of Hawaii, Honolulu, 1969.
(2) *United Nations Documents on the Trust Territory of the Pacific Islands*, Graduate School of Library Studies, University of Hawaii, Honolulu, 1971.
(3) 「発展途上国の経済ナショナリズムと経済統合に関する文献目録」(共編)『アジア経済資料月報』20(3), 1978.
(4) 「図書館ネットワークのしくみ: WLNのシステム, Washington Library Network」(共編)ライブラリー・オートメーション研究会, 京都, 1982.
(5) 「インドネシアにおける図書館システム」(訳)『図書館界』35(4), 1983.
(6) "Southeast Asian Research Resources in Western Japan," presented at the Seventh Congress of Southeast Asian Librarians, Manila, 15-21 February 1987.
(7) 「京都大学東南アジア研究センターの現地語資料」『アジア研ニュース』119, 1990.
(8) 『情報技術と図書館: 小田泰正先生追悼論文集』(共編) 小田泰正先生追悼論文集刊行会, 1995.

- (9) "Two Special Collections in the CenterforSoutheastAsianStudies, Kyoto University: Foronda Collection and Charas Collection," presented at International Seminar on Special Collection of Southeast Asian Studies, Universiti Kebangsaan Malaysia, 19-21 June 1995.

米沢真理子

1. 京都大学文学部, 1972.
2. 京都大学文学修士, 1974.
5. 1974年, 京都大学東南アジア研究センターに文部事務官として採用される。1987年, 東南アジア研究センター資料部編集室助手に配置換, 現在に至る。
6. 「パスカルにおけるキリスト教弁証論の方法」, (京都大学修士論文), 1974.

永田 好克

1. 京都大学工学部, 1985.
2. 京都大学工学部修士, 1987.
3. 情報処理応用
4. 情報処理を援用した地域描写
5. 1987年, 富士写真フィルム株式会社入社。1988年, 東南アジア研究センター助手として採用され現在に至る。
6. (1) 「日本語論説文に現れる照応表現の処理」情報処理学会第34回全国大会, 1987.
(2) 「タイ国東北部農村の生業構造に基づく村落類型——ヤトソン県を対象として」『東南アジア研究』30(3), 1992.

第6章 出版目録

1996年1月現在で、センターが刊行した東南アジア研究叢書（和文、英文）、地域研究叢書、『東南アジア研究』（24巻1号以降）、研究報告書シリーズの一覧を掲げる。なお、『東南アジア研究』第1号から23巻4号までの全所収論文等は総目録として『東南アジア研究』別冊（23巻5号）に、またリプリント・シリーズ、ディスカッション・ペーパーの一覧は『昭和62年度版センター要覧』に一括掲載されているので、参照されたい。

1. 研究叢書等

A. 東南アジア研究叢書（和文）

1. 棚瀬 襄爾. 1966. 『他界観念の原始形態』
2. 矢野 暢. 1968. 『タイ・ビルマ現代政治史研究』
3. 本岡 武. 1968. 『東南アジア農業開発論』
4. 坪内 良博; 坪内 玲子. 1971. 『離婚』 創文社.
5. 飯島 茂. 1971. 『カレン族の社会・文化変容』 創文社.
6. シュトルツ. 1974. 『ビルマ——地誌・歴史・経済』 野上裕生（訳）. 創文社.
7. 市村 真一 編. 1974. 『東南アジアの自然・社会・経済』 創文社.
8. 石井 米雄 編. 1975. 『タイ国——ひとつの稲作社会』 創文社.
9. 石井 米雄. 1975. 『上座部仏教の政治社会学』 創文社.
10. 本岡 武. 1975. 『インドネシアの米』 創文社.
11. 市村 真一 編. 1975. 『東南アジアの経済発展』 創文社.
12. 口羽; 坪内; 前田 編. 1976. 『マレー農村の研究』 創文社.
13. 西原 正 編. 1976. 『東南アジアの政治的腐敗』 創文社.
14. エクスタインほか 編. 1979. 『中国の経済発展』 市村真一（監訳）. 創文社.
15. 渡部 忠世 編. 1980. 『東南アジア世界——地域像の検証』 創文社.
16. 水野 浩一. 1981. 『タイ農村の社会組織』 創文社.
17. 土屋 健治. 1982. 『インドネシア民族主義研究——タマン・シスワの成立と展開』 創文社.
18. 高谷 好一. 1982. 『熱帯デルタの農業発展——メナム・デルタの研究』 創文社.
19. 小林 和正. 1984. 『東南アジアの人口』 創文社.
20. 石井 米雄 編. 1986. 『東南アジア世界の構造と変容』 創文社.
21. 桜井由躬雄. 1987. 『ベトナム村落の形成——村落共有田＝コンディエン制の史的展開』 創文社.

22. 福井 捷朗. 1988. 『ドンデーン村——東北タイの農業生態』創文社.
 23. 口羽 益生 編. 1990. 『ドンデーン村の伝統構造とその変容』創文社.
 24. 山田 勇. 1991. 『東南アジアの熱帯多雨林世界』創文社.

B. 東南アジア研究叢書 (英文)

1. SATO, Takashi. 1966. *Field Crops in Thailand*. Kyoto : CSEAS.
 2. WATABE, Tadayo. 1967. *Glutinous Rice in Northern Thailand*. Kyoto : CSEAS.
 3. TAKIMOTO, Kiyoshi, ed. 1968. *Geology and Mineral Resources in Thailand and Malaya*. Kyoto : CSEAS.
 4. KAWAGUCHI, Keizaburo ; and KYUMA, Kazutake. 1969. *Lowland Rice Soils in Thailand*. Kyoto : CSEAS.
 5. KAWAGUCHI, Keizaburo ; and KYUMA, Kazutake. 1969. *Lowland Rice Soils in Malaya*. Kyoto : CSEAS.
 6. MAEDA, Kiyoshige. 1967. *Alor Janggus, A Chinese Community in Malaya*. Kyoto : CSEAS.
 7. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1975. *The Economic Development of East and Southeast Asia*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 8. NISHIHARA, Masashi. 1976. *The Japanese and Sukarno's Indonesia : Tokyo-Jakarta Relation, 1951-66*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 9. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1977. *Southeast Asia : Nature, Society and Development*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 10. KAWAGUCHI, Keizaburo ; and KYUMA, Kazutake. 1977. *Paddy Soils in Tropical Asia*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 11. YOSHIHARA, Kunio. 1978. *Japanese Investment in Southeast Asia*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 12. ISHII, Yoneo, ed. 1978. *Thailand : A Rice-Growing Society*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 13. CHO, Lee-Jay ; and KOBAYASHI, Kazumasa, eds. 1980. *Fertility Transition of the East Asian Populations*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 14. KUCHIBA, Masuo ; TSUBOUCHI, Yoshihiro ; and MAEDA, Narifumi. 1979. *Three Malay Villages : A Sociology of Paddy Growers in West Malaysia*. Honolulu : University Press of Hawaii.
 15. CHO, Lee-Jay ; SUHARTO, S. ; MCNICOLL, G. ; and MAMAS, S. G. M. 1980. *Population Growth of Indonesia : An Analysis of Fertil-*

- ity and Mortality Based on the 1971 Population Census.*
Honolulu : University Press of Hawaii.
16. ISHII, Yoneo. 1986. *Sangha, State, and Society: Thai Buddhism in History.*
Honolulu : University of Hawaii Press.
17. TAKAYA, Yoshikazu. 1987. *Agricultural Development of a Tropical Delta: A Study
of the Chao Phraya Delta.* Honolulu : University of
Hawaii Press.
18. TSUCHIYA, Kenji. 1988. *Democracy and Leadership: The Rise of the Taman
Siswa Movement in Indonesia.* Honolulu : University
of Hawaii Press.
19. FUKUI, Hayao. 1993. *Food and Population in a Northeast Thai Village.* Hono-
lulu : University of Hawaii Press.

C. 地域研究叢書

1. 坪内 良博. 1996. 『マレー農村の20年』京都大学学術出版会.
2. 高谷 好一. 1996. 『「世界単位」から世界を見る』京都大学学術出版会.

D. その他の外国語公刊図書

1. TSUCHIYA, Kenji. 1992. *Demokrasi dan Kepemimpinan: Kebangkitan Gerakan
Taman Siswa.* Jakarta : Balai Pustaka. (Indonesian
Edition of *Democracy and Leadership: The Rise of the
Taman Siswa Movement in Indonesia*, CSEAS Mono-
graphs in English No. 18)
2. ISHII, Yoneo. 1993. *Sejarah Sangha Thai: Hubungan Buddhisme dengan
Negara dan Masyarakat.* Bangi, Selangor, Malaysia :
Penerbit Universiti Kebangsaan Malaysia. (Malay Edi-
tion of *Sangha, State, and Society: Thai Buddhism in
History*, CSEAS Monographs in English No. 16)
3. NISHIHARA, Masashi. 1993. *Sukarno, Ratna Sari Dewi, dan Pampasan Perang.* Ja-
karta : Pustaka Utama Grafiti. (Indonesian Edition of
The Japanese and Sukarno's Indonesia, CSEAS Mono-
graphs in English No. 8)
4. FURUKAWA, Hisao. 1994. *Coastal Wetlands of Indonesia: Environment, Subsist-
ence and Exploitation.* Kyoto University Press.
5. YOSHIHARA, Kunio. 1994. *The Nation and Economic Growth: The Philippines and
Thailand.* Kuala Lumpur : Oxford University Press.
6. UEDA, Yoko. 1995. *Local Economy and Entrepreneurship in Thailand: A*

2. 『東南アジア研究』(24巻1号から33巻3号まで)

『東南アジア研究』第1号から23巻4号までの全所収論文等は総目録として別冊23巻5号に掲載されているので、ここでは、24巻1号から最新号までの所収論文等を掲げる。各報告は、コード番号・著者名・報告表題・掲載頁の順に配列されている。コード番号は、4, 5桁目の数字が巻数を、3桁目の数字が号数を、そして、1, 2桁目の数字が報告の番号を表している。

24巻1号 [Vol. 24, No. 1] 1986年6月 [June 1986]

論文 [Article]

24101 青山 亨 [Aoyama, Toru]. 古ジャワ文学におけるスタソーマ物語の受容と変容 [The Adoption and Structural Transformation in Old Javanese Literature of *Sutasoma*, an Indian Buddhist Story]. 3-17.

資料・研究ノート [Notes]

24102 川崎有三 [Kawasaki, Yuzo]. 小コミュニティの社会位相空間論——マレーシア潮州人漁村にみられるリズム・テンポ・メロディー——[A Small Community as a Sociotopological Space—Rhythm, Tempo and Melody of a Teochiu Fishing Village, Malaysia—]. 18-52.

24103 金 昌男 [Kim, Chang-Nam]. 工業部門の雇用吸収力と労働移動——アジア5カ国の事例——[Industrial Sector Labor Absorption and Migration in Asian Countries]. 53-64.

24104 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. バタンハリ川流域低湿地の農業景観 その2. 農業景観の展開 [Agricultural Landscape in the Lower Batang Hari, Sumatra Part Two: Vicissitudes of Agricultural Land Use]. 65-105.

現地通信 [Field Report]

24105 Andaya, Leonard Yuzon. A Short Introduction to Some Archival Resources in the Netherlands, Spain, and Portugal for the Study of Southeast Asia. 106-109.

24106 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 110.

24 卷 2 号 [Vol. 24, No. 2] 1986 年 9 月 [Sept. 1986]

Problem Soils in Southeast Asia

- 24201 Supiandi Sabiham ; and Furukawa, Hisao. A Study of Floral Composition of Peat Soil in the Lower Batang Hari River Basin of Jambi, Sumatra. 113-132.
24202 Wongsomsak, Sompob. Salinization in Northeast Thailand. 133-153.
24203 Attanandana, Tasnee ; and Vacharotayan, Sorasith. Acid Sulfate Soils : Their Characteristics, Genesis, Amelioration and Utilization. 154-180.

論文 [Article]

- 24204 Duff-Cooper, Andrew. Alternation and Other Modes of Periodicity from a Balinese Form of Life in Western Lombok. 181-196.

資料・研究ノート [Note]

- 24205 青木恵理子 [Aoki, Eriko]. 中部フローレスにおける神秘力と性 [Mystic Power and Sex in Central Flores]. 197-223.

現地通信 [Field Report]

- 24206 片山裕 [Katayama, Yutaka]. 1986年2月16日のコーリー [Corazon Aquino on Feb. 16, 1986]. 224-225.
24207 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 226.

24 卷 3 号 [Vol. 24, No. 3] 1986 年 12 月 [Dec. 1986]

論文 [Article]

- 24301 Fukui, Seiichi. An Economic Analysis of Traditional Water Management Institutions in Northern Thailand. 229-242.

資料・研究ノート [Notes]

- 24302 Wakatsuki, Toshiyuki ; Saidi, Amrizal ; and Rasyidin, Azwar. Soils in the Toposequence of the Gunung Gadut Tropical Rain Forest, West Sumatra. 243-262.
24303 高谷好一 ; アリス・ポニマン [Takaya, Yoshikazu ; and Poniman, Aris]. 熱帯多雨林沿岸部の生活——東スマトラ, リアウ州の実例——[Traditional Life and Its Transformation among the Melayu People on the East Coast of Sumatra]. 263-288.
24304 合田濤 [Goda, Toh]. オッチャス老の死——ボントック族の葬礼と世界観——[The Death of Old Odchas—A Study on the Bontok Funeral Ceremony and Cosmology—]. 289-317.

現地通信 [Field Report]

24305 Aung-Thwin, Michael. Burma Studies News. 318-321.

24306 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 322-324.

24 巻 4 号 [Vol. 24, No. 4] 1987 年 3 月 [March 1987]

論文 [Article]

24401 Thee Kian Wie; and Yoshihara, Kunio. Foreign and Domestic Capital in Indonesian Industrialization. 327-349.

24402 Kuribayashi, Sei. A Medium-term Macroeconometric Model for Economic Planning in Indonesia. 350-376.

24403 牟田博光 [Muta, Hiromitsu]. インドネシアの教育とマンパワー [Education and Manpower of Indonesia]. 377-402.

24404 桃木至朗 [Momoki, Shiro]. ヴェトナム李朝の軍事行動と地方支配 [Military Actions and Control of Local Powers in Vietnam under the Lý Dynasty]. 403-417.

資料・研究ノート [Note]

24405 福島真人 [Fukushima, Masato]. 閉ざされた言語——サミン運動とその言語哲学 [The Closed Language—The Samin Movement and Its Philosophy of Language—]. 418-435.

現地通信 [Field Report]

24406 中川 敏 [Nakagawa, Satoshi]. 「インドネシア考」のための覚書き [A Memorandum for 'Indonesian Studies']. 436.

25 巻 1 号 [Vol. 25, No. 1] 1987 年 6 月 [June 1987]

渡部忠世教授退官記念号

——熱帯アジアの稲と稲作——

[Commemorative Issue on the Retirement of Professor Tadayo Watabe

——Rice and Rice Culture in Tropical Asia——]

25101 片山忠夫 [Katayama, C. Tadao]. 熱帯アジアの野生稲の分布とその特性 [Distribution and Some Characteristics of Wild Rice, Genus *Oryza*, in Tropical Asia]. 3-27.

25102 高橋成人 [Takahashi, Norindo]. アジア栽培稲の生態型と生態的特性 [Characters and Differentiation of Ecotypes in Rice, *Oryza sativa* L.]. 28-38.

25103 角田重三郎 [Tsunoda, Shigesaburo]. アジアの陸稲, その分布と特性と系譜 [Distribution, Properties and Phylogenetic Relations of Asian Upland Rice Varieties]. 39-50.

25104 井之上準 [Inouye, Jun]. 東南アジアの浮稲とその生態 [On Floating Rice and Its Ecologi-

cal Traits in Southeast Asia]. 51-61.

- 25105 Horie, Takeshi. A Model for Evaluating Climatic Productivity and Water Balance of Irrigated Rice and Its Application to Southeast Asia. 62-74.
- 25106 黒田俊郎; 宮川修一 [Kuroda, Toshiro; and Miyagawa, Shuichi]. 東北タイ・ドンデーン村における天水田稲作の収量 [Don Daeng Village in Northeast Thailand : Paddy Yield of Rain-fed Fields]. 75-84.
- 25107 五十嵐忠孝 [Igarashi, Tadataka]. 農作業, 季節, 星——西ジャワ・プリアガン高地における畑地耕作をめぐる季節性と農作業のタイミング——[Agricultural Operations, Seasonality, and Stars : Annual Cycle of Upland Cultivation in a Sundanese Village, West Java]. 85-108.
- 25108 広瀬昌平 [Hirose, Shohei]. インドネシア, ランポン州の水稲作と陸稲作 [Lowland and Upland Rice Cultivation in Lampung Province, Indonesia]. 109-124.
- 25109 安藤和雄 [Ando, Kazuo]. ベンガル・デルタ低地部の稲作——バングラデシュ東部地方におけるアウス・散播アマンの混播栽培とパーボイルド米に関するノート——[Rice Cultivation in the Low-lying Areas of the Bengal Delta—A Note on Mixed Aus and Broadcast Aman Cultivation and Parboiled Rice in the Eastern Region of Bangladesh—]. 125-139.
- 25110 藤原宏志 [Fujiwara, Hiroshi]. プラント・オパール分析による弥生時代水田遺構の検討——とくに鳥取・目久美遺跡および青森・垂柳遺跡の水田遺構について——[Studies on Paddy Fields of the Yayoi Period by Plant Opal Analysis : Ancient Paddy Fields at the Megumi Site in Tottori Prefecture and the Tareyanagi Site in Aomori Prefecture]. 140-150.

書評論文 [Book Review]

- 25111 高村奉樹 [Takamura, Tomoki Y]. マレー半島における稲作の展開とその地域性 [Development of Rice-growing and Its Diversity in the Malay Peninsula]. 151-160.
- 25112 渡部忠世教授研究業績目録 [Publications of Professor Tadayo Watabe]. 161-168.
- 25113 渡部忠世教授略歴 [Personal History of Professor Tadayo Watabe]. 169.

現地通信 [Field Report]

- 25114 桜井由躬雄 [Sakurai, Yumio]. 廃虚のない町 [A City without Ruins]. 170-171.
- 25115 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 172-174.

25 卷 2 号 [Vol. 25, No. 2] 1987 年 9 月 [Sept. 1987]

論文 [Articles]

- 25201 Kaneko, Yukio; and Tampubolon, Hasudungan. The Development of the Manufacturing Sector in Indonesia. 177-204.
- 25202 深見純生 [Fukami, Sumio]. 三仏斎の再検討——マラッカ海峡古代史研究の視座転換——

[Reexamination of *San-fo-ch'i*—Change of Perspective of the Study on Early History of the Western Part of Insular Southeast Asia—]. 205–232.

資料・研究ノート [Notes]

- 25203 橋本 卓 [Hashimoto, Takashi]. タイ南部国境県問題とマレー・ムスリム統合政策 [The Problems in the Southern Border Provinces of Thailand and the Integration Policy to the Malay-Muslims]. 233–253.
- 25204 Mak Lau-Fong. Chinese Subcommunal Elites in 19th-century Penang. 254–264.
- 25205 Azizah Kassim. The Unwelcome Guests: Indonesian Immigrants and Malaysian Public Responses. 265–278.
- 25206 Shibayama, Mamoru. Input/Output Methods for Thai—Development of a Database and a Computer Concordance for the Three Seals Law of Thailand—. 279–296.

現地通信 [Field Report]

- 25207 鈴木静夫 [Suzuki, Shizuo]. ペドロとホセ, 二人のアバド・サントス [Pedro and Jose: Two Men Called Abad Santos]. 297–298.
- 25208 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 299–300.

25 卷 3 号 [Vol. 25, No. 3] 1987 年 12 月 [Dec. 1987]

市村真一教授退官記念号

——東南アジア経済・社会の変容——

[Commemorative Issue on the Retirement of Professor Shinichi Ichimura
——Economic and Social Changes in Southeast Asia——]

- 25301 Hill, Hal. Patterns of Trade and Industrialization in ASEAN. 303–316.
- 25302 Lim Chong-Yah. Trade in Manufactures: A Singapore Perspective. 317–341.
- 25303 Prasert Yamklinfung. Economic Development and Rural-urban Disparities in Thailand. 342–362.
- 25304 Tan, Mély G. The Role of Ethnic Chinese Minority in Development: The Indonesian Case. 363–382.
- 25305 Thee Kian Wie. Industrial and Foreign Investment Policy in Indonesia since 1967. 383–396.
- 25306 Wong, John. China's Emerging Economic Relationship with Southeast Asia. 397–411.
- 25307 Yoshihara, Kunio. The Problem of Continuity in Chinese Businesses in Southeast Asia. 412–429.
- 25308 矢野 暢 [Yano, Toru]. 「介入体制」としてのタイ国政治 [Thailand as a Penetrated System]. 430–446.
- 25309 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. タマン・シスワとインドネシア現代政治——「9月30日事件」への対応をめぐって—— [Taman Siswa in the Contemporary Political Situation of Indone-

- sia : A Preliminary Study]. 447 - 463.
- 25310 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. マレー農村人口の変動的な性格について——クランタン・ガロック村開拓後史——[On the Mobile Character of the Malay Village Population—A Feature of the Post-settlement Population of Galok, Kelantan—]. 464 - 475.
- 25311 福井捷朗 [Fukui, Hayao]. 東北タイ・ドンデーン村：人口動態（第2報）——死亡・出生率による人口移動の推定——[Don Daeng Village in Northeast Thailand : Population (2) —An Estimate of Migration by Mortality and Fertility Rates—]. 476 - 494.
- 25312 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. 石油価格・財政金融政策・構造変化のマクロ・インパクト——タイ経済の一般均衡 (CGE) 分析——[Macro Impacts of Oil Shocks, Fiscal Policies and Structural Changes—A CGE Analysis of the Thai Economy—]. 495 - 508.
- 25313 市村真一教授研究業績目録 [Publications of Professor Shinichi Ichimura]. 509 - 516.
- 25314 市村真一教授略歴 [Personal History of Professor Shinichi Ichimura]. 517 - 518.

現地通信 [Field Report]

- 25315 吉原久仁夫 [Yoshihara, Kunio]. マレーシアの企業家に関する情報源 [Sources of Information on Businessmen in Malaysia]. 519 - 520.
- 25316 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 521 - 522.

25 巻 4 号 [Vol. 25, No. 4] 1988 年 3 月 [March 1988]

西ジャワ・プリアガン地方の健康・生態・人口

[Health, Ecology and Demography in the Priangan Highlands, West Java]

- 25401 鈴木庄亮 [Suzuki, Syosuke]. スンダ農民の保健生態と生活環境 [Sickness and Death of Sundanese and Javanese Villagers : Environmental and Social Factors]. 525 - 544.
- 25402 小山 洋 [Koyama, Hiroshi]. 西ジャワ集落における農民の保健行動からみた公的医療機関 (プスケスマス) の問題点 [Problems of a Public Health Center (*puskesmas*) in Rural Indonesia : A Study of Health Behavior of Farmers in West Java]. 545 - 561.
- 25403 兵頭圭介 [Hyodo, Keisuke]. インドネシア西ジャワ州バンドン市のベチャ (人力車) 車夫の体力と筋力について [Physique and Muscle Strength of *Becak* Drivers in Bandung City, West Java, Indonesia]. 562 - 569.
- 25404 門司和彦 [Moji, Kazuhiko]. 西ジャワ・スンダ農民の仕事——その季節による変動と性・年齢による差異——[Work of Sundanese Villagers with Particular Reference to Seasonal Variations and Differences by Sex and Age]. 570 - 592.
- 25405 五十嵐忠孝 [Tadatoka, Igarashi]. 西ジャワ・プリアガン地方のスンダ人農民社会における早婚・多産の文化・社会的背景 [Cultural Practices Favoring Young Marriage and High Fertility : The Case of a Priangan Sundanese Village, West Java]. 593 - 624.

論文 [Article]

25406 Odano, Sumimaru; Sabilin, Syahiril; and Diwandono, Soedradjad. Indonesian Financial Development—From Government Intervention to Liberalization—. 625–652.

書評論文 [Review Article]

25407 小林和正 [Kobayashi, Kazumasa]. 人口分析の側面 [Demographic Analysis]. 653–658.

現地通信 [Field Report]

25408 遅沢克也 [Osozawa, Katsuya]. 森の魔物たち [Demons of the Forest]. 659–660.

26 巻 1 号 [Vol. 26, No. 1] 1988 年 6 月 [June 1988]

論文 [Articles]

26101 Shimizu, Hiroshi. Dutch-Japanese Competition in the Shipping Trade on the Java-Japan Route in the Inter-war Period. 3–23.

26102 Nitungkorn, Sukanya. The Problems of Secondary Education Expansion in Thailand. 24–41.

資料・研究ノート [Notes]

26103 Yagi, Tamotsu; and Itoh, Minoru. Physical Fitness of Thai Children and Their Environment. 42–54.

26104 高坂宏一 [Takasaka, Kouichi]. 西ジャワ・スンダ農村婦人の出産後の無月経期間 [The Duration of Postpartum Amenorrhea in a Sundanese Village]. 55–63.

26105 アリス・ポニマン; 高谷好一 [Poniman, Aris; and Takaya, Yoshikazu]. ロンボク島の高地の伝統的稲作 [Traditional Rice Cultivation on Lombok]. 64–73.

26106 中村重久 [Nakamura, Shigehisa]. インドネシア沖の地震による津波前駆音の推定と応用について [On Estimated Acoustic Tsunami Precursor Caused by Earthquake Undersea off the Indonesian Coast and Its Application]. 74–85.

書評論文 [Review Article]

26107 Aye Chan. The Nature of Land and Labour Endowments to Sasana in Medieval Burmese History: Review of the Theory of “Merit-path-to-salvation.” 86–95.

書評 [Book Reviews]

26108 加藤 剛 [Kato, Tsuyoshi]. Shamsul A. B., *From British to Bumiputera Rule: Local Politics and Rural Development in Peninsular Malaysia*. 96.

26109 中川 敏 [Nakagawa, Satoshi]. Cécile Barraud, *Tanebar-Evav: une société de maisons tournée vers le large*. 97–98.

現地通信 [Field Report]

- 26110 内田晴夫 [Uchida, Haruo]. ハオールの村から [From the Village in the Haor, Bangladesh]. 99-100.
26111 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 101-102.

26 卷 2 号 [Vol. 26, No. 2] 1988 年 9 月 [Sept. 1988]

Socio-Economic Change and Cultural Transformation in Rural Malaysia

—A Preliminary Research Report—

- 26201 Kato, Tsuyoshi; and Shamsul A. B. Editors' Introduction. 105-108.
26202 Kato, Tsuyoshi. Agricultural Rituals and Rice Cultivation in Negeri Sembilan : A Reconstruction from Oral History. 109-131.
26203 Azizah Kassim. Women, Land and Gender Relations in Negeri Sembilan : Some Preliminary Findings. 132-149.
26204 Norhalim Hj. Ibrahim. Some Observations on *Adat* and *Adat* Leadership in Rembau, Negeri Sembilan. 150-165.
26205 Maeda, Narifumi. A Note on Frontier Settlements in Johor. 166-174.
26206 Sekimoto, Teruo. A Preliminary Report on the Javanese in Selangor, Malaysia. 175-190.
26207 Mohamed Salleh Lamry. Economic Change and Social Stratification in Kampung Sungai Limau, Selangor, Malaysia. 191-204.
26208 Ramli Mohamed. The New Economic Policy and the Muda Irrigation Scheme : Research Agenda for Kampung Kubang Jawi. 205-217.
26209 Shamsul A. B. Development and Change in Rural Malaysia : The Role of the Village Development Committee. 218-228.

書評 [Book Reviews]

- 26210 高谷好一 [Takaya, Yoshikazu]. Kenneth R. Hall, *Maritime Trade and State Development in Early Southeast Asia*. 229.
26211 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. Gerald G. Marten (ed.), *Traditional Agriculture in Southeast Asia : A Human Ecology Perspective*. 229-230.
26212 根本 敬 [Nemoto, Kei]. Khin Yi, *The Dobama Movement in Burma (1930-1938)*. 230-232.

現地通信 [Field Report]

- 26213 吉川利治 [Yoshikawa, Toshiharu]. タイ国立公文書館の「大東亜」戦争関係資料 [Materials on the Second World War in the National Archives Division of Thailand]. 233-234.

26214 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 235 - 238.

26 巻 3 号 [Vol. 26, No. 3] 1988 年 12 月 [Dec. 1988]

論文 [Articles]

- 26301 桃木至朗 [Momoki, Shiro]. ヴェトナム李朝の地方行政単位と地方統治者 [Local Administrative Units and Local Governors in Vietnam under Lý Dynasty]. 241 - 265.
- 26302 北原 淳 [Kitahara, Atsushi]. タイ農村における就業構造の地域差 [A Note on Regional Differences in Occupational Structure in Rural Thailand]. 266 - 292.
- 26303 玉田芳史 [Tamada, Yoshifumi]. タイの実業家政党と軍——首相府令 66/2523 を中心として——[Political Parties and the Military in Thailand : Prime Minister's Office Order 66/2523]. 293 - 307.
- 26304 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part I : Physiography and Geomorphology of the Coastal Plains—. 308 - 335.

書評 [Book Reviews]

- 26305 森山幹弘 [Moriyama, Mikihiro]. F. S. Eringa, *Soendaas-Nederlands Woordenboek*. 336 - 338.
- 26306 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. J. D. Legge, *Intellectuals and Nationalism in Indonesia : A Study of the Following Recruited by Sutan Sjahrir in Occupation Jakarta*. 338 - 340.

現地通信 [Field Report]

- 26307 福井捷朗 [Fukui, Hayao]. 「東南アジアセミナー」臨地研修 [Southeast Asian Seminar in Thailand]. 341 - 342.
- 26308 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 343 - 346.

26 巻 4 号 [Vol. 26, No. 4] 1989 年 3 月 [March 1989]

〈特集〉 マレー世界のなかのマダガスカル
[Madagascar in the Malay World]

- 26401 高谷好一 [Takaya, Yoshikazu]. 編者のことば [Editor's Note]. 349 - 351.
- 26402 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. マダガスカル乾燥地帯の土地利用 [Land Use in the Dry Zone of Madagascar]. 352 - 366.
- 26403 田中耕司 [Tanaka, Koji]. マダガスカルのイネと稲作 [Rice and Rice Culture in Madagascar]. 367 - 393.
- 26404 深澤秀夫 [Fukazawa, Hideo]. 稲作を生きる, 稲と稲作の実践と戦略——北部マダガスカル Tsimihety 族に於ける稲作と協同労働——[The Tsimihety Peasants' Practices and Strategies of Rice Cultivation in Northern Madagascar]. 394 - 416.
- 26405 前田成文 [Maeda, Narifumi]. ベフディ——ベツィミサラカ族とシハナカ族の狭間で——

[Befody : A Settlement between the Betsimisarakaka and the Sihanaka]. 417-429.

座談会 [A Discussion]

26406 高谷好一ほか [Takaya, Yoshikazu *et al.*]. マダガスカルの農耕——そのマレー的要素について——[Agriculture of Madagascar : Its Malay Elements]. 430-454.

書評 [Book Reviews]

26407 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. ワリン・ウォンハンチャオ; 池本幸生 (編), 『タイの経済政策——歴史・現状・展望——』 [Warin Wonghanchao; and Yukio Ikemoto (eds.), *Economic Development Policy in Thailand : History, Present Situation and Prospect*]. 455-456.

26408 Yoshihara, Kunio. Melanie Beresford, *Vietnam : Politics, Economics and Society*. 456-457.

現地通信 [Field Report]

26409 桃木至朗 [Momoki, Shiro]. ハノイ——庶民の味 [Popular Dishes of Hanoi]. 458-459.

26410 寄贈図書目録 [Books Received by the Library]. 460-463.

27 巻 1 号 [Vol. 27, No. 1] 1989 年 6 月 [June 1989].

論文 [Articles]

27101 Furukawa, Hisao; and Pichai Wichaidit. Salt and Sinkhole—Corrosion as a Principal Factor Governing Topography and Mass Movement in Northeast Thailand—. 3-34.

27102 Supiandi Sabiham; and Sumawinata Basuki. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part II : The Clay Mineralogical Composition of Sediments in Coastal Plains of Jambi and South Kalimantan—. 35-54.

27103 石井和子 [Ishii, Kazuko]. 『サン・ヒアン・カマハーヤーニカン (聖大乘論)』にみる古ジャワの密教 [Old Javanese Esoteric Buddhism as Seen in the *Sang Hyang Kamahayanikan*]. 55-70.

27104 土佐弘之 [Tosa, Hiroyuki]. インドネシア権威主義体制と学生運動——政治体制と社会運動との相互作用過程に焦点をあてて——[The Student Movement under the Authoritarian Regime in Indonesia, with Particular Reference to the Period 1977-1978]. 71-108.

資料・研究ノート [Note]

27105 小菅伸彦; 松本保美 [Kosuge, Nobuhiko; and Matsumoto, Yasumi]. インドネシアにおける新計量モデルの開発 [The New Version of Econometric Model in Indonesia]. 109-127.

書評 [Book Reviews]

27106 大木 昌 [Oki, Akira]. Anthony Reid, *Southeast Asia in the Age of Commerce 1450-*

1680, Volume One : *The Lands below the Winds*. 128-129.

27107 倉沢愛子 [Kurasawa, Aiko]. Colin, Wild ; and Peter Carey (eds.), *Born in Fire : The Indonesian Struggle for Independence*. 129-131.

現地通信 [Field Report]

27108 加藤 剛 [Kato, Tsuyoshi]. マレー農村にて [In a Malay Village]. 132-133.

27109 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 134.

27 卷 2 号 [Vol. 27, No. 2] 1989 年 9 月 [Sept. 1989]

Oei Tiong Ham Concern : The First Business Empire of Southeast Asia

27201 Yoshihara, Kunio. Introduction. 137-155.

27202 Onghokham. Chinese Capitalism in Dutch Java. 156-176.

27203 Coppel, Charles A. Liem Thian Joe's Unpublished History of Kian Gwan. 177-187.

27204 Interview : Oei Tjong Ie. 188-220.

27205 Interview : Oei Tjong Tjay. 221-265.

書評 [Book Reviews]

27206 高阪 章 [Kohsaka, Akira]. Robert B. Dickie ; and Thomas A. Layman, *Foreign Investment and Government Policy in the Third World : Forging Common Interests in Indonesia and Beyond*. 266-267.

27207 池本幸生 [Ikemoto, Yukio]. Phisit Pakkasem, *Leading Issues in Thailand's Development Transformation : 1960-1990*. 267-269.

現地通信 [Field Report]

27208 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. ドンデー村の三人姉妹 [Three Sisters in Don Daeng Village]. 270-271.

27209 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 272.

27 卷 3 号 [Vol. 27, No. 3] 1989 年 12 月 [Dec. 1989]

27301 桜井由躬雄 [Sakurai, Yumio]. 陳朝期紅河デルタ開拓試論 1. 西沱濫原の開拓 [The Red River Delta in the Tran Dynasty (1225-1440). 1]. 275-300.

27302 鳥飼行博 [Torikai, Yukihiro]. フィリピン米作農村における危険分散とワーク・シェアリング [Risk Spreading and Work Sharing in Philippine Rice-farming Communities]. 301-316.

27303 Azizah Kassim. Patterns of Land Ownership and Inheritance in Negeri Sembilan : Some Implications for Agricultural Development. 317-338.

27304 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo—Part

Ⅲ : Micromorphological Study of Peat in Coastal Plains of Jambi, South Kalimantan and Brunei—. 339 - 351.

27305 Kimura, Masataka. The Revolution and Realignment of Political Parties in the Philippines (December 1985-January 1988) : With a Case in the Province of Batangas. 352 - 379.

書評 [Book Review]

27306 前田成文 [Maeda, Narifumi]. Hendrik M. J. Maier, *In the Center of Authority: The Malay Hikayat Merong Mahawangsa*. 380 - 381.

現地通信 [Field Report]

27307 山田 勇 [Yamada, Isamu]. サゴヤシの原生地を求めて [Natural Stands of Sago Palm in East Malesia]. 382 - 384.

27308 寄贈図書目録 [Selected Listing of Books Received by the Library]. 385 - 386.

27 卷 4 号 [Vol. 27, No. 4] 1990 年 3 月 [March, 1990]

27401 江崎光男 [Ezaki, Mitsuo]. インドネシアにおける逆オイル・ショックと構造調整政策——CGE モデルに基づく 1980 年と 1985 年の比較静学分析——[Oil Price Declines and Structural Adjustment Policies in Indonesia : A Static CGE Analysis for 1980 and 1985]. 389 - 405.

27402 鳥飼行博 [Torikai, Yukihiro]. フィリピン漁村の経済構造 [Economic Structure of Fishing Villages in the Philippines]. 406 - 426.

27403 根本 敬 [Nemoto, Kei]. 1930 年代ビルマ・ナショナリズムにおける社会主義受容の特質——タキン党の思想形成を中心に——[The Acceptance of Socialism by Burmese Nationalists during the 1930 s——Doubama Asiayoun's Ideological Formation——]. 427 - 447.

27404 春山成子; 大矢雅彦 [Haruyama, Sigeko; and Oya, Masahiko]. タイ南部スラタニ (Surat Thani) の 1988 年 11 月災害 [Flooding due to Heavy Rainfall in Surat Thani, Thailand, in November 1988]. 448 - 460.

27405 Supiandi Sabiham. Studies on Peat in the Coastal Plains of Sumatra and Borneo——Part IV : A Study of the Floral Composition of Peat in Coastal Plain of Brunei, Borneo——. 461 - 484.

27406 Kingston, Jeff. Agricultural Involution among Lampung's Javanese? 485 - 507.

書評 [Book Reviews]

27407 植村泰夫 [Uemura, Yasuo]. 加納啓良, 『インドネシア農村経済論』 [Hiroyoshi Kano, *The Rural Economy in Indonesia*]. 508 - 509.

27408 新田栄治 [Nitta, Eiji]. Charles Higham, *The Archaeology of Mainland Southeast Asia*.

510-512.

現地通信 [Field Report]

- 27409 江崎光男 [Ezaki, Mistuo]. フィリピンの援助問題 [The Question of Financial Assistance for the Philippines]. 513-515.

28 巻 1 号 [Vol. 28, No. 1] 1990 年 6 月 [June 1990]

- 28101 Maeda, Narifumi. Household and Religion : The Problem of Identity in a Bugis Community. 3-19.
- 28102 Patamawadee Pochanukul. The Development of Publicly-conducted Crop Research in Thailand : An Application of the Theory of Induced Institutional Innovation. 20-44.
- 28103 Watanabe, Hiroyuki, *et al.* On Trees in Paddy Field in Northeast Thailand. 45-54.
- 28104 上田曜子 [Ueda, Yoko]. バンコクの経済成長とバンコク近郊における資本家形成——ナコンパトム県及びラーチャブリー県の事例——[The Economic Growth of Bangkok and the Formation of Capitalists in Bangkok's Suburban Areas——Case Studies of Nakhon Pathom and Ratchaburi——]. 55-82.
- 28105 馬場雄司 [Baba, Yuji]. シップソンパンナー王国の水利組織について——ツァオロンパーサーの機能に関して——[Irrigation System of the Sipsong Panna : The Function of Tsalong Phasat]. 83-107.

書評 [Book Reviews]

- 28106 木之内秀彦 [Kinouchi, Hidehiko]. Andrew J. Rotter, *The Path to Vietnam : Origins of the American Commitment to Southeast Asia*. 123.
- 28107 阿部健一 [Abe, Ken-ichi]. Earl of Cranbrook, ed, *Malaysia*. 124-125.

現地通信 [Field Report]

- 28108 西村重夫 [Nishimura, Shigeo]. いま、パンチャシラ教育は [Pancasila Education Today]. 126-127.

28 巻 2 号 [Vol. 28, No. 2] 1990 年 9 月 [Sept. 1990]

- 28201 Koizumi, Junko. Why the Kula Wept : A Report on the Trade Activities of Kula in Isan at the End of the 19 th Century. 131-153.
- 28202 Somboon J. R. P. Coastal Geomorphic Response to Future Sea-level Rise and Its Implication for the Low-lying Areas of Bangkok Metropolis. 154-170.
- 28203 Abbi, Anvita. Reduplication in Tibeto Burman Languages of South Asia. 171-181.
- 28204 竹田晋也 [Takeda, Shinya]. 北タイ地方におけるラック作りの技術と宿主木について [Lac Cultivation and Host Tree Plantation in Northern Thailand]. 182-205.

- 28205 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. ラッフルズの19世紀初頭ジャワ人口統計の再検討——初期センサスの問題点をめぐって——[A Re-examination of Raffles's Statistics on the Population of Java in the Early Nineteenth Century——Some Problems of Early Censuses——]. 206-221.
- 28206 井上 真 [Inoue, Makoto]. クニャー・ダヤク族による焼畑システムの変容 [Changes in the Swidden System of the Kenyah Dayak Tribe]. 222-255.

書評 [Book Review]

- 28207 林 行夫 [Hayashi, Yukio]. 北原淳, 『タイ農村社会論』 [Atsushi Kitahara, *Thai Peasant Society*]. 256-258.

現地通信 [Field Report]

- 28208 田中耕司 [Tanaka, Koji]. ベトナム側メコン・デルタ管見 [A View of the Mekong Delta from the Vietnam Side]. 259-261.

28 巻 3 号 [Vol. 28, No. 3] 1990 年 12 月 [Dec. 1990]

〈特集〉 バングラデシュの農業と農村

[Agricultural and Rural Development in Bangladesh]

- 28301 海田能宏 [Kaida, Yoshihiro]. バングラデシュの農村発展のための共同研究 [The Framework of the Japan-Bangladesh Joint Study on Agricultural and Rural Development in Bangladesh]. 3-23.
- 28302 安藤和雄; 田中耕司; ケシャブ・ラル・マハラジャン; 向井史郎 [Ando, Kazuo; Tanaka, Koji; Maharjan, Keshav L.; and Mukai, Shiro]. ベンガルデルタ低地部の作付体系——技術変容と作付体系展開の地域間比較——[Cropping Systems in Low-Lying Areas of the Bengal Delta——A Regional Comparison of Technological Changes and Development of Cropping Systems——]. 24-40.
- 28303 田中耕司; 安藤和雄; 内田晴夫; ムハマッド・セリム [Tanaka, Koji; Ando, Kazuo; Uchida, Haruo; and Salim, Muhammad]. バングラデシュ・ハオール農村の水文環境と稲基幹作付様式の展開 [A Case Study on Hydrologic Conditions and Development of Rice-Based Cropping Patterns in a Haor Village in Bangladesh]. 41-58.
- 28304 野間晴雄 [Noma, Haruo]. 英領期ベンガル低地の開発と農業——史料による歴史地理的素描——[Land Reclamation and Agriculture in the Bengal Lowland in the British Period——A Historicogeographic Sketch——]. 59-91.
- 28305 河合明宣; 安藤和雄 [Kawai, Akinobu; and Ando, Kazuo]. ベンガルデルタの村落形成についての覚え書 [The Formation of Settlements in the Bengal Delta]. 92-106.
- 28306 筒井琢磨; 五十嵐忠孝; 坪内良博 [Tsutsui, Takuma; Igarashi, Tadataka; and Tsubouchi, Yoshihiro]. バングラデシュの農村における出生力 [Fertility in Bangladesh Villages]. 107-121.

- 28307 宇佐見晃一; ムハマッド・アフザル・ホセイン [Usami, Koichi; and Hossain, M. Afzal].
 バングラデシュ農村における労働力・農地流動・小農経済——先進農村と後進農村の事例比較——[Labor, Land Transaction and Peasant Economy in Rural Bangladesh——A Comparison of Developed and Less Developed Villages——]. 122-140.
- 28308 海田能宏; ケジャブ・ラル・マハラジャン [Kaida, Yoshihiro; and Maharjan, Keshav L.].
 バングラデシュの〈むら〉と〈まち〉のインターアクション [Rural-Urban Interaction and Its Implication for Rural Development in Bangladesh]. 141-154.
- 28309 熊谷 宏 [Kumagai, Hiroshi]. バングラデシュにおける農村開発の基本的政策と農協の役割 [Rural Development Policies and the Role of Comprehensive Village Cooperatives in Bangladesh]. 155-165.
- 28310 西村博行 [Nishimura, Hiroyuki]. 農業・農村開発に関する農民の行動と意向 [Farmers' Views on Agricultural and Rural Development——Their Incorporation into Rural Development Planning in Bangladesh——]. 166-177.

書評 [Book Reviews]

- 28311 福島真人 [Fukushima, Masato]. 西野節男, 『インドネシアのイスラム教育』 [Setsuo Nishino, *The Islamic Education in Indonesia*]. 178-179.
- 28312 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. W. G. J. Rummelink, *Emperer Pakubuwana II, Priyayi & Company and the Chinese War*. 180-181.
- 28313 Abdullah, Taufik. Jane Drakard, *A Malay Frontier: Unity and Duality in a Sumatran Kingdom*. 182-186.

現地通信 [Field Report]

- 28314 綾部恒雄 [Ayabe, Tsuneo]. 第4回タイ研究国際会議 (1990年5月11日~13日) [The 4th International Conference on Thai Studies (11-13 May, 1990)]. 187-188.

28 巻 4 号 [Vol. 28, No. 4] 1991 年 3 月 [March 1991]

創立 25 周年記念特集

Twenty-Fifth Anniversary Issue

- 28401 Yano, Toru. Preface. 3-4.
- 28402 Tamada, Yoshifumi. *Itthiphon and Amnat*: An Informal Aspect of Thai Politics. 5-16.
- 28403 Tsuchiya, Kenji. Popular Literature and Colonial Society in Late-Nineteenth-Century Java——*Cerita Nyai Dasima*, the Macabre Story of an Englishman's Concubine. 17-30.
- 28405 Tsubouchi, Yoshihiro. A Re-examination of Raffles's Statistics on the Population of Java in the Early Nineteenth Century——Some Problems of Early Censuses——. 31-43.
- 28406 Takaya, Yoshikazu. People and Settlements in Tropical Lowland, with Special Reference to Their Unstability. 44-55.

- 28407 Kono, Yasuyuki. Rainfed Rice Culture and Population Growth—A Case Study at a Northeast Thai Village—. 56–67.
- 28408 Fukui, Hayao. The Rice/Population Balance in a Northeast Thai Village. 68–84.
- 28409 Maeda, Narifumi. Agricultural Rites in South Sulawesi. 85–93.
- 28410 Furukawa, Hisao. Genealogy of Miniature Wet Rice Fields—The Spread of Oasis Culture—. 94–112.
- 28411 Tanaka, Koji. A Note on Typology and Evolution of Asian Rice Culture—Toward a Comparative Study of the Historical Development of Rice Culture in Tropical and Temperate Asia—. 113–123.
- 28412 Kaida, Yoshihiro. Irrigation Landscapes and Waterscapes in the Rice Land of Tropical Asia. 124–135.
- 28413 Ezaki, Mitsuo. ASEAN Prospects for NIC Status. 136–153.
- 28414 Kohsaka, Akira. Financial Development on the Philippines in the 1980 s. 154–168.

29 卷 1 号 [Vol. 29, No. 1] 1991 年 6 月 [June 1991]

- 29101 Hamonic, Gilbert. God, Divinities and Ancestors. For the Positive Representation of a “Religious Plurality” in Bugis Society, South Sulawesi, Indonesia. 3–34.
- 29102 Katagiri, Shigeo; Yamakura, Takuo; and Lee, Seng Hua. Properties of Soils in Kerangas Forest on Sandstone at Bako National Park, Sarawak, East Malaysia. 35–48.
- 29103 Somboon Jarupongsakul; Hattori, Tomoo; and Pichai Wichaidit. Salinization in the Holocene Fan-delta of Mae Khlong River, Thailand. 49–63.
- 29104 西井凉子 [Nishii, Ryoko]. 南タイの村落政治にみられるムスリム—仏教徒関係——「サムサム」的ムスリム社会における宗教と政治——[The Relationship between Muslims and Buddhists in a Southern Thai Village: Religion and Politics in “Sam Sam” Muslim Society]. 64–104.

現地通信 [Field Report]

- 29105 阿部健一 [Abe, Ken-ichi]. 揚子江の南 [The Southern Reach of the Yangtse River]. 105–106.

29 卷 2 号 [Vol. 29, No. 2] 1991 年 9 月 [Sept. 1991]

- 29201 Kato, Tsuyoshi. When Rubber Came: The Negeri Sembilan Experience. 109–157.
- 29202 Ooi Giok Ling. British Colonial Health Care Development and the Persistence of Ethnic Medicine in Peninsular Malaysia and Singapore. 158–178.
- 29203 Duff-Cooper, Andrew. Balinese Exchange: Replication and Reaffirmation of “The One.” 179–204.
- 29204 Kimura, Masataka. Martial Law and Realignment of Political Parties in the Philip-

pinos. (September 1972–February 1986) : With a Case in the Province of Batangas. 205–226.

現地通信 [Field Report]

- 29205 新田栄治 [Nitta, Eiji]. 東北タイ生産遺跡発掘プロジェクト——ノンヤン遺跡とバンドンブロン遺跡——[Excavation of Ancient Manufactories in Northeast Thailand : The Non Yang and Ban Dong Phlong Ruines]. 227–232.

29 卷 3 号 [Vol. 29, No. 3] 1991 年 12 月 [Dec. 1991]

〈特集〉 東南アジア島嶼部農業の系譜

[Genealogy of Agriculture in the Southeast Asian Archipelago]

- 29301 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. マライシアの農耕系譜 [Genealogy of Agriculture in Malaysia]. 235–305.
29302 田中耕司 [Tanaka, Koji]. マレー型稲作とその広がり [The Malayan-Type Rice Culture and Its Distribution]. 306–382.

書評 [Book Review]

- 29303 押川典昭 [Oshikawa, Noriaki]. Tan Malaka, *From Jail to Jail*. Translated and introduced by Helen Jarvis. 383–384.

現地通信 [Field Report]

- 29304 上田曜子 [Ueda, Yoko]. コーラートの町 [The Town of Korat]. 385.

29 卷 4 号 [Vol. 29, No. 4] 1992 年 3 月 [March 1992]

- 29401 玉田芳史 [Tamada, Yoshifumi]. タイのクーデター, 1980～1991年: 軍の同期生, 内部抗争, 対政府関係 [Coups in Thailand, 1980–1991 : Classmates, Internal Conflicts and Relations with the Government of the Military]. 389–421
29402 渡辺 敦 [Watanabe, Atsushi]. 食事の提供・獲得をめぐる社会関係——インドネシア, 西ジャワ州南バンテンの村落から [Eating Opportunities and Its Social Context of a Village in South Banten, West Java, Indonesia]. 422–453.
29403 中島正博 [Nakashima, Masahiro]. タイ国チャオプラヤー・デルタにおける水利秩序の形成と発展 [Formation and Development of Irrigation Water Management Systems in Thai Chao Phya Delta]. 454–467.
29404 Sukardjo, Sukristijono; and Yamada, Isamu. The Management Problems and Research Needs of the Mangrove Forest in the Cimanuk Delta Complex, Ujung Indramayu, West Java. 468–485.

書評 [Book Review]

- 29405 片山 裕 [Katayama, Yutaka]. 清水展, 『文化のなかの政治: フィリピン「二月革命」の物語』 [Hiromu Shimizu, *Politics in Culture—Storytelling of February Revolution in the Philippines*]. 486–487.

現地通信 [Field Report]

- 29406 池本幸生 [Ikemoto, Yukio]. 第46回世界銀行・国際通貨基金総会 [The 46th World Bank・IMF General Assembly]. 488–489.

30 巻 1 号 [Vol. 30, No. 1] 1992 年 6 月 [June 1992]

- 30101 矢野 暢 [Yano, Toru]. 「チャクリー改革」論序説 (1)——ラーマ四世と「近代化」—— [The “Chakri Reformation” of Siam (1)——King Rama IV and His Modernization——]. 3–36.
- 30102 高阪 章 [Kohsaka, Akira]. フィリピンの金融システムとマクロ経済の安定性 [Macroeconomic Stability and the Financial System in the Philippines]. 37–58.
- 30103 佐藤洋一郎; 藤原宏志 [Sato, Yo-ichiro; and Fujiwara, Hiroshi]. イネの発祥中心地はどこか——これからの研究に向けて—— [Where was Cultivated Rice Born? : A Review]. 59–68.
- 30104 Koentjaraningrat. Traditional Cultures Facing the Development of Agricultural Industries : A Preliminary Study of Culture Change in Irian Jaya. 69–92.
- 30105 Sumawinata, Basuki. Adaptive Agricultural Practices and Land Use Cycles on Pyritic Sediments in South Kalimantan. 93–104.

書評 [Book Reviews]

- 30106 吉原久仁夫 [Yoshihara, Kunio]. Anek Laothamatas, *Business Associations and the New Political Economy of Thailand: From Bureaucratic Polity to Liberal Corporatism*. 105.
- 30107 土佐弘之 [Tosa, Hiroyuki]. Richard Chauvel, *Nationalists, Soldiers and Separatists: The Ambonese Islands from Colonialism to Revolt 1880–1950*. 106–109.

現地通信 [Field Report]

- 30108 木之内秀彦 [Kinouchi, Hidehiko]. 選挙集会を見に行く [A Visit to a Campaign Meeting]. 110.

30 巻 2 号 [Vol. 30, No. 2] 1992 年 9 月 [Sept. 1992]

- 30201 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. アルマナック・ムラユ論 [A Study on *Almanak Melajoe*]. 113–191.

30202 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. マレー農村の20年——人口と家族の変化を中心に——
[Changes in Population and Households in a Malay Village, 1971-1991. 192-212.

30203 Ikemoto, Yukio. Income Inequality in Thailand in the 1980s. 213-235.

現地通信 [Field Report]

30204 吉原久仁夫 [Yoshihara, Kunio]. フィリピンのコミュニケーション [Communication in the Philippines]. 236-237.

30 巻 3 号 [Vol. 30, No. 3] 1992 年 12 月 [Dec. 1992]

30301 河野泰之; 永田好克 [Kono, Yasuyuki; and Nagata, Yoshikatu]. タイ国東北部農村の生業構造に基づく村落類型——ヤソトン県を対象として——[Occupational Structure and Village Type in Northeast Thailand——A Case Study in Yasothon Province——]. 241-271.

30302 横倉雅幸 [Yokokura, Masayuki]. 東南アジアの初期農耕 [Early Agriculture in Southeast Asia]. 272-314.

30303 鏡味治也 [Kagami, Haruya]. ジャカルタのバリ人 [Hindu-Balinese in Jakarta]. 315-330.

30304 Ueda, Yoko. Research Note : Characteristics of Local Entrepreneurs in Nakhon Ratchasima City. 331-372.

書評 [Book Review]

30305 吉原久仁夫 [Yoshihara, Kunio]. Benedict J. Tria Kerkvliet. *Everyday Politics in the Philippines: Class and Status Relations in a Central Luzon Village*. 373-374.

現地通信 [Field Reports]

30306 土屋健治 [Tsuchiya, Kenji]. スキポール空港の“スラムットソレ” [Selamat Sore at Schipol Airport]. 375.

30307 玉田芳史 [Tamada, Yoshifumi]. 「暴虐の5月」事件とチャムローン・シームアンのハンスト宣言 [The Incident “May Massacre” and Chamlong Srimuang’s Declaration of Hunger Strike]. 376.

30 巻 4 号 [Vol. 30, No. 4] 1993 年 3 月 [March 1993]

〈特集〉 東南アジア海域世界の森と海

[Forests and the Sea in the Southeast Asian Maritime World]

30401 田中耕司 [Tanaka, Koji]. 編者のことば [Editor’s Note]. 381-385.

30402 高谷好一 [Takaya, Yoshikazu]. 東南アジアの森と野と海 [Forest, Sea, and Farm Land in Southeast Asia]. 386-400.

- 30403 Domingo M. Non. Moro Piracy during the Spanish Period and Its Impact. 401-419.
- 30404 前田成文 [Maeda, Narifumi]. ブギスの森と海 [Forest and the Sea among the Bugis]. 420-426.
- 30405 田中耕司 [Tanaka, Koji]. 東南アジア海域世界と農業フロンティアの拡大——インドネシア南スラウェシ州の事例から——[The Southeast Asian Maritime World and the Expansion of the Agricultural Frontier——A Case from South Sulawesi in Indonesia——]. 427-443.
- 30406 Hood M. S. Man, Forest and Spirits : Images and Survival among Forest-Dwellers of Malaysia. 444-456.
- 30407 大木 昌 [Oki, Akira]. 森林利用の諸形態——ジャワと日本における焼畑の比較試論—— [Forms of Forest Exploitation : A Comparative Study of Shifting Cultivation in Java and Japan]. 457-477.

座談会 [A Panel Discussion]

- 30408 田中耕司ほか [Tanaka, Koji *et al.*]. 東南アジア海域世界の森と海 [Forests and the Sea in the Southeast Asian Maritime World]. 478-502.

31 巻 1 号 [Vol. 31, No. 1] 1993 年 6 月 [June 1993]

- 31101 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. マレー農村における屋敷地共住集団——20 年間における変化とその意味——[Multihousehold compounds in a Malay Village in Kelantan, 1971-1991]. 3-17.
- 31102 中村重久 [Nakamura, Shigehisa]. 1852 年モルッカ津波について [A Note on the 1852 Molucca Tsunami]. 18-24.
- 31103 森山 工 [Moriyama, Takumi]. 森の民、湖へ行く——北東マダガスカル、ベツィミサラカにおける伝統と現在——[The Forest People Go to the Lake : Tradition and Actuality among the Betsimisaraka of Northeastern Madagascar]. 25-42.
- 31104 Anthony H. Johns. Islamization in Southeast Asia : Reflections and Reconsiderations with Special Reference to the Role of Sufism. 43-61.
- 31105 Reynaldo C. Iletto. The 'Unfinished Revolution' In Philippine Political Discourse. 62-82.

書評 [Book Review]

- 31106 内藤 耕 [Naito, Tagayasu]. Alison J. Murray. *No Money, No Honey : A Study of Street Traders and Prostitutes in Jakarta*. 83-84.

現地通信 [Field Report]

- 31107 山田 勇 [Yamada, Isamu]. ボルネオ昨今 [Borneo News]. 85.

31 卷 2 号 [Vol. 31, No. 2] 1993 年 9 月 [Sept. 1993]

- 31201 坪内良博; 坪内玲子 [Tsubouchi, Yoshihiro; and Tsubouchi, Reiko]. あるポンドック (寄宿宗教塾) の変容 1971-1992: 避難所としての存続 [The *Pondok* as a Place of Refuge: Changes in a *Pondok* in Kelantan, 1971-1992]. 89-108.
- 31202 応地利明 [Ohji, Toshiaki]. タイにおける稲作慣行農法と犁の調査——犁耕技術の展開過程とも関連させて—— [Traditional Rice Cultivation Methods and a Survey of Plows in Thailand: In Connection with the Development of Plow Culture]. 109-131.
- 31203 Tanaka, Koji. Farmers' Perceptions of Rice-Growing Techniques in Laos: "Primitive" or "*Thammasat*" 132-140.
- 31204 Sukardjo, Sukristijono. The Present Status of the Mangrove Forests in the Northern Coast of West Java with Special Reference to the Recent Utilization. 141-157.
- 31205 Nguyen Huu Chiem. Geo-Pedological Study of the Mekong Delta. 158-186.

現地通信 [Field Reports]

- 31206 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. AIT からアジアを眺めて [A View of Asia from AIT]. 187.

31 卷 3 号 [Vol. 31, No. 3] 1993 年 12 月 [Dec. 1993]

〈特集〉「東南アジア海域世界の森と海」(Ⅱ)

[Forests and the Sea in the Southeast Asian Maritime World (Ⅱ)]

- 31301 阿部健一 [Abe, Kenichi]. スマトラ泥炭湿地林の近代——試論—— [Peat Swamp Forest in Sumatra: A Perspective]. 191-205.
- 31302 鶴見良行 [Tsurumi, Yoshiyuki]. サバ調査ノート [A Note to My Journeys to Sabah]. 206-221.
-
- 31303 水野広祐 [Mizuno, Kosuke]. インドネシア農村におけるプリブミ資本織布小工業の展開——西ジャワ・マジャラヤ地方の産地における小営業—— [Development of "Pribumi" Owned Small Scale Weaving Industry in Rural Indonesia——Petty Commodity Production in the Community Based Industry at Majalaya, West Java——]. 222-254.
- 31304 鳥飼行博 [Torikai, Yukihiko]. フィリピンのフロンティア開発——パラワン州にみる国内移住と支村の形成—— [Development of the Philippine Frontier: Labor Absorption and Internal Migration to Palawan Province]. 255-284.
- 31305 Ebel Wickramanayake; and Tran Thi Ben. Private Industries in Ho Chi Minh City, Vietnam. 285-292.

書評 [Book Review]

- 31306 足立 明 [Adachi, Akira]. K. M. de Silva *et al.* eds, *Ethnic Conflict in Buddhist Societies : Sri Lanka, Thailand and Burma*. 293-295.

31 巻 4 号 [Vol. 31, No. 4] 1994 年 3 月 [March 1994]

- 31401 池本幸生 [Ikemoto, Yukio]. ラーマ四世期の「消極的」経済政策 [The “Conservative” Economic Policies of Siam during the Reign of King Rama IV]. 299-324.
- 31402 西村重夫 [Nishimura, Shigeo]. 国民統合と教育——マレーシア・サバ州・N 小学校の変容をめぐって——[National Integration and Education with Special Reference to the Transformation of N Primary School in Sabah, Malaysia]. 325-344.
- 31403 Nguyen Huu Chiem. Former and Present Cropping Patterns in the Mekong Delta. 345-384.
- 31404 Yoko, Ueda. The Development of Commercial Banking and Financial Businesses in the Provinces of Thailand. 385-411.
- 31405 北野正徳 [Kitano, Masanori]. 娯楽と教訓の制度化——インドネシア近代小説の展開に関する考察 [The Institution of Entertainment and Moral Example : A Study on the Development of the Modern Indonesian Novel]. 412-439.

現地通信 [Field Report]

- 31406 田中耕司 [Tanaka, Koji]. 東南スラウェシ州再訪 [Southeast Sulawesi Revisited]. 440-441.

32 巻 1 号 [Vol. 32, No. 1] 1994 年 6 月 [June 1994]

- 32101 Kono, Yasuyuki; Suman Sijapati; and Takeda, Shinya. Dynamics of Upland Utilization and Forest Land Management : A Case Study in Yasothon Province, Northeast Thailand. 3-33.
- 32102 青山 亨 [Aoyama, Toru]. 叙事詩, 年代記, 予言 : 古典ジャワ文学にみられる伝統的歴史観 [The Traditional View of “History” in Classical Javanese Literature]. 34-65.
- 32103 大橋厚子 [Ohashi, Atuko]. ジャワ島プリアンガン地方におけるコーヒー輸送と現地人首長レヘント——18世紀初め～19世紀初め——[Coffee Transportation and Regents in Priangan, Java—from the Early 18th Century to the 1820s——]. 66-119.
- 32104 岩淵聡文 [Iwabuchi, Akifumi]. アチェ特別州南東部へのトバ・バタク族の移民 [The Toba Batak Migration to the Southeastern Part of the Special Province of Ache, Indonesia]. 120-137.

現地通信 [Field Reports]

- 32105 立本成文 [Tachimoto, Narifumi]. 龍牙島を望む島ブヌバ [A Letter from Penuba]. 138.
32106 林 行夫 [Hayashi, Yukio]. カンボジアの迷走と仏教復興 [Political Turmoil and the Revival of Buddhism in Cambodia]. 139-141.

32 卷 2 号 [Vol. 32, No. 2] 1994 年 9 月 [Sept. 1994]

- 32201 Kato, Tsuyoshi. The Emergence of Abandoned Paddy Fields in Negeri Sembilan, Malaysia. 145-172.
32202 Sekimoto, Teruo. Pioneer Settlers and State Control : A Javanese Migrant Community in Selangor, Malaysia. 173-196.
32203 Tachimoto, Narifumi Maeda. Coping with the Currents of Change : A Frontier Bugis Settlement in Johor, Malaysia. 197-230.
32204 速水洋子 [Hayami, Yoko]. 北タイ山地における仏教布教プロジェクト : あるカレン族村落群の事例 [Buddhist Missionary Project in the Hills of Northern Thailand : A Case Study from a Cluster of Karen Villages]. 231-250.

現地通信 [Field Report]

- 32205 古川久雄 [Furukawa, Hisao]. マンダール人, インドネシア人, 中国人, 日本人 [Mandarese, Indonesians, Chinese and Japanese]. 251-252.

32 卷 3 号 [Vol. 32, No. 3] 1994 年 12 月 [Dec. 1994]

- 32301 坪内良博 [Tsubouchi, Yoshihiro]. 19 世紀中葉の東南アジアの人口——*Journal of the Indian Archipelago and Eastern Asia* における記述をめぐって——[Population of Southeast Asia in the Mid-nineteenth Century : Population Counts Appearing in the *Journal of the Indian Archipelago and Eastern Asia*]. 255-305.
32302 木之内秀彦 [Kinouchi, Hidehiko]. 中越ソ「友好」成立の断面——1950 年のベトナムをめぐって——[Vietnam 1950 : A Study on the Establishment of Sino-Russian-Vietnamese "Alliance"]. 306-356.
32303 永田淳嗣 [Nagata, Junji]. ジョホール・マラッカ海峡沿岸におけるある在地権力者の農園経営 [A Case Study of a Local Landlord and His Estate Management in Lowland Johor]. 357-384.
32304 Sukardjo, Sukristijono. Soils in the Mangrove Forests of the Apar Nature Reserve, Tanah Grogot, East Kalimantan, Indonesia. 385-398.
32305 Umar Junus. Kaba : An Unfinished (His-) Story. 399-415.

書評 [Book Review]

- 32306 大木 昌 [Oki, Akira]. Anthony Reid, *Southeast Asia in the Age of Commerce 1450-1680*. Vol. Two : *Expansion and Crisis*. 416 - 419.

現地通信 [Field Report]

- 32307 河野泰之 [Kono, Yasuyuki]. AIT を巣立つ若者たち [The Young People Graduating from AIT]. 420 - 421.

32 巻 4 号 [Vol. 32, No. 4] 1995 年 3 月 [March 1995]

- 32401 Kono, Yasuyuki ; and Doan Doan Tuan. Effect of Water Control on Rice Cultivation in the Red River Delta, Vietnam : A Case Study in the Nhue River Irrigation System. 425 - 445.
- 32402 Moriyama, Mikihiro. Language Policy in the Dutch Colony : On Sundanese in the Dutch East Indies. 446 - 454.
- 32403 Chang, Han-Yin. Singapore : Education and Change of Class Stratification. 455 - 476.
- 32404 Cheng Lim Keak. Patterns of Social Alignment : A Case Study of Hakka Associations in Singapore. 477 - 494.
- 32405 左藤正範 [Sato, Masanori]. インドネシアの歴史教科書における「ロームシャ」について [A Study on "Romusha" in History Textbooks in Indonesia]. 495 - 522.
- 32406 中田義昭 [Nakada, Yoshiaki]. 余剰米と出稼ぎ——タイ東北部ヤソートーン県の 1 村を対象として——[Surplus Rice and Seasonal Labor Migration : A Case Study at a Village in Yasothon Province, Northeast Thailand]. 523 - 548.

現地通信 [Field Report]

- 32407 Pulunggono, Heru Bagus. Some Note on Sandalwood of Timor. 549 - 550.

33 巻 1 号 [Vol. 33, No. 1] 1995 年 6 月 [June 1995]

〈特集〉 バングラデシュ農村開発研究
[Bangladesh Rural Development Studies]

- 33101 海田能宏 ; サレハ・ベグーム [Kaida, Yoshihiro ; and Saleha Begum]. バングラデシュ農村開発実験 [Bangladesh Rural Development Experiment, 1992 - 95]. 3 - 24.
- 33102 藤田幸一 [Fujita, Koichi]. 村落公共機能の強化をめざして——バングラデシュ農村開発の新戦略——[Strengthening Rural Public Functions : A New Strategy for Bangladesh Rural Development]. 25 - 38.
- 33103 安藤和雄 ; 内田晴夫 ; ハビブール・ラーマン ; アルタフ・ホセイン [Ando, Kazuo ; Uchida, Haruo ; Rahman, Habibur ; and Hossain, S. M. Altaf]. マタボールたちと在地の農村開発

- バン格拉デシュ, ドッキンチャムリア村におけるアクション・リサーチの記録 [*Matabors and Village Development : An Account of Action Research in Dakhsin Chamuria Village, Bangladesh*]. 39-65.
- 33104 内田晴夫; 安藤和雄; ムハマッド・セリム; アルタフ・ホセイン [Uchida, Haruo; Ando, Kazuo; Salim, Muhammad; and Hossain, S. M. Altaf]. 農村水文学——バン格拉デシュの農村インフラ整備への新しいアプローチ——[*Rural Hydrology : An Approach to Rural Infrastructure Build-up in Bangladesh Rural Development*]. 66-81.
- 33105 吉野馨子; ムハマッド・セリム [Yoshino, Keiko; and Salim, Muhammad]. バングラデシュのバリ・ビティ (屋敷地) を通してみた農村開発 [An Observation of Bangladesh Rural Development Through *Bari-Biti* (Home Garden)]. 82-97.
- 33106 矢嶋吉司; 河合明宣; ショボン・クマール・ダスグプタ; マザハルル・イスラム [Yajima, Kichiji; Kawai, Akinobu; Dasgupta, Swapan Kumar; and Islam, Mazharul]. オストドナ村農村開発頓末記——深管井導入の失敗からの再出発——[An Account of Austodona Village Development, Bangladesh : A Lesson Learned from Aborted Deep-Tubewell Project]. 98-114.
- 33107 野間晴雄 [Noma, Haruo]. バングラデシュ村落社会と村落研究——農村開発を指向した研究史的展望——[A Review of Studies on Village Society and Rural Development in Bangladesh]. 115-140.

33 卷 2 号 [Vol. 33, No. 2] 1995 年 9 月 [Sept. 1995]

- 33201 八尾隆生 [Yao, Takao]. 黎朝聖宗期の新開拓地を巡る中央政權と地方行政——安興碑文の分析——[The Le Government and Its Regional Administration System in the Newly Reclaimed Land under the Reign of Le Thanh Tong : The Analysis of the Inscriptions in Yen Hung Sub-Prefecture]. 143-168.
- 33202 Kono, Yasuyuki; and Pradip Kumar Saha. Land and Water Resources Management for Crop Diversification in the Chao Phraya Delta, Thailand : A Case Study of Citrus Cultivation in the North Rangsit Irrigation Project. 169-186.
- 33203 Miyagawa, Shuichi. Expansion of a Improved Variety into Rain-fed Rice Cultivation in Northeast Thailand. 187-203.
- 33204 重富真一 [Shigetomi, Shin'ichi]. 東北タイにおける共同耕作の形成原理 [The Mechanism of Forming Joint Farming in Northeast Thailand]. 204-223.
- 33205 井上 真 [Inoue, Makoto]. マカッサル人の山村における文化生態系の動態——インドネシア共和国スラウェシ州における治山プロジェクトの影響——[Dynamics of Cultural Ecosystem in the Makassar Mountainous Region : Effect of the Watershed Management Project, South Sulawesi, Indonesia]. 224-244.
- 33206 Warren, James Francis. A Strong Stomach and Flawed Material : Towards the Making of a Trilogy, Singapore, 1870-1940. 245-264.

書評 [Book Review]

- 33207 加藤 剛 [Kato, Tsuyoshi]. Barbara Watson Andaya, *To Live as Brothers : Southeast Sumatra in the Seventeenth and Eighteenth Centuries*. 265 - 266.

現地通信 [Field Report]

- 33208 海田能宏 [Kaida, Yoshihiro]. 20年ぶりのメコンデルタ紀行 [A Journey in the Mekong Delta after an Interval of Twenty Years]. 267 - 282.

33 卷 3 号 [Vol. 33, No. 3] 1995 年 12 月 [December 1995]

創立 30 周年記念特集

Thirtieth Anniversary Issue

- 33301 Tsubouchi, Yoshihiro. A Malay Village in Kelantan, 1970 - 1991. 3 - 20.
33302 Nishimura, Shigeo. The Development of Pancasila Moral Education in Indonesia. 21 - 34.
33303 Tamada, Yoshifumi. Coups in Thailand, 1980 - 1991 : Classmates, Internal Conflicts and Relations with the Government of the Military. 35 - 57.
33304 Somkiat Konchan ; Nakada, Yoshiaki ; and Fukui, Hayao. Food and Population under Subsistence Rice Farming in Three Villages in Yasothon, Northeast Thailand. 58 - 80.
33305 Tanaka, Koji. Transformation of Rice-Based Cropping Patterns in the Mekong Delta : From Intensification to Diversification. 81 - 96.
33306 Yoshihara, Kunio. Culture, Institutions, and Economic Growth : A Comparative Study of Korea and Thailand. 97 - 144.
33307 Ohji, Toshiaki. Traditional Rice Cultivation Methods and a Survey of Plows in Thailand : With Special Reference to the Development of Plow Technology. 145 - 180.
33308 Yamada, Isamu. Aloeswood Forest and the Maritime World. 181 - 186.
33309 Tachimoto, Narifumi Maeda. Global Area Studies with Special Reference to the Malay or Maritime World. 187 - 201.
33310 Danandjaja, James. A Comparative Study of Japanese and Indonesian Folklores. 202 - 214.
33311 Furukawa, Hisao. Meiji Japan's Encounter with Modernization. 215 - 236.

3. 研究報告書シリーズ

研究報告書シリーズは、センターが単行本として出版したもので、シンポジウムの報告書、文部省科学研究費補助金による海外学術調査の報告書、その他の研究奨学金を受けて行なった研究の報告書など、各種のものを含んでいる。既刊のものを以下に年度順にあげる。

1. KAWAGUCHI, Keizaburo, ed. 1965. *Rice Culture in Malaya*, Symposium Series No. 1.
2. INOKI, Masamichi, ed. 1966. *Japan's Future in Southeast Asia*, Symposium Series No. 2.
3. FUJIOKA, Yoshikazu, ed. 1966. *Water Resource Utilization in Southeast Asia*, Symposium Series No. 3.
4. HIGASHI, Noboru, ed. 1968. *Medical Problems in Southeast Asia*, Symposium Series No. 4.
5. 市村 真一編. 1975. 『稲と農民』
6. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1977. *Preliminary Report on Role of Education in the Rural Development of Southeast Asia—Thailand and Malaysia—*.
7. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1979. *Econometric Models of Asian Countries I*.
8. ICHIMURA, Shinichi; and MIZUNO, Koichi, eds. 1979. *Ecology, New Technology, and Rural Development in Thailand and Malaysia (with Special Reference to the Role of Education)*.
9. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1980. *Econometric Models of Asian Countries II*.
10. TSUBOUCHI, Yoshihiro; NASRLIDDIN, Iljas; TAKAYA, Yoshikazu; and RASJID, Hanafiah A., eds. 1980. *South Sumatra, Man and Agriculture*.
11. WATABE, Tadayo, ed. 1981. *Report of the Scientific Survey on Traditional Cropping Systems in Tropical Asia, Part 1 : India and Sri Lanka, Part 2 : Indonesia*.
12. MATTULADA; and MAEDA, Narifumi, eds. 1982. *Villages and the Agricultural Landscape in South Sulawesi*.
13. TAKAYA, Yoshikazu; and Narong THIRAMONGKOL. 1982. *Chao Phraya Delta of Thailand (Asian Rice-Land Inventory : A Descriptive Atlas, No. 1)*.
14. 渡部 忠世 編. 1982. 『南西諸島農耕における南方的要素』

15. FUKUI, Hayao ; KAIDA, Yoshihiro ; and KUCHIBA, Masuo, eds.
1983. *A Rice-Growing Village Revisited : An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (An Interim Report).
16. THAN TUN, ed. 1983. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part One, A. D. 1598-1648.*
17. JAYAWARDENA, S. D. G. ; and MAEDA, Narifumi, eds.
1984. *Transformation of the Agricultural Landscape in Sri Lanka and South India.*
18. Boonyawart LUMPAOPONG ; Jitti PINTHONG ; Chavalit CHALOTHON ; and KAIDA, Yoshihiro.
1984. *Chiang Mai-Lamphun Valley, Thailand* (Asian Rice-land Inventory : A Descriptive Atlas, No. 2).
19. MATTULADA ; and MAEDA, Narifumi, eds.
1984. *Transformation of the Agricultural Landscape in Indonesia.*
20. TSUCHIYA, Kenji, ed. 1984. "States" in Southeast Asia, from "Tradition" to "Modernity."
21. FUKUI, Hayao ; KAIDA, Yoshihiro ; and KUCHIBA, Masuo, eds.
1985. *A Rice Growing Village Revisited : An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Second Interim Report).
22. THAN TUN, ed. 1985. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Two, A. D. 1649-1750.*
23. THAN TUN, ed. 1985. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Three, A. D. 1751-1781.*
24. KATO, Tsuyoshi ; MUCHTAR, Lutfi ; and MAEDA, Narifumi, eds.
1986. *Environment, Agriculture and Society in the Malay World.*
25. TANAKA, Koji ; MATTULADA ; and MAEDA, Narifumi, eds.
1986. *Environment, Landuse and Society in Wallacea.*
26. THAN TUN, ed. 1986. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Four, A. D. 1782-1787.*
27. THAN TUN, ed. 1986. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Five, A. D. 1788-1806.*
28. 高谷 好一編. 1986. 『東南アジア伝統農業資料集成』第1巻.
29. 渡部 忠世編. 1986. 『日本農耕文化の展開と系譜——島の視点から』
30. EZAKI, Mitsuo, ed. 1987. *Development Planning and Policies in ASEAN Countries.*
31. THAN TUN, ed. 1987. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Six,*

A. D. 1807-1810.

32. 田中 耕司 編. 1987. 『東南アジア伝統農業資料集成』第2巻.
33. JAIM, W. M. H. *et al.* 1987. *Review of Literature* (JSARD Working Paper No. 1)
34. HUQ, Muhammad Ammer-UI 1987. *Review of Literature on Planning Studies in Bangladesh* (JSARD Working Paper No. 2).
35. SOLAIMAN, M. 1987. *Review of Literature: Institution Building* (JSARD Working Paper No. 3).
36. NOMA, Haruo; and CHAKRABORTY, Ratan Lal, eds. 1987. *Selections of Records on Agriculture, Land Tenure and Economy of Mymensingh District, 1787-1866* (JSARD Working Paper No. 4).
37. THAN TUN, ed. 1988. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Seven, A. D. 1811-1819.*
38. TAKAYA, Yoshikazu, ed. 1988. *Madagascar: Perspectives from the Malay World.*
39. 高谷 好一編. 1988. 『古代稲作農耕の学際的研究』
40. 柴山 守編. 1988. 『東南アジア学研究支援: 多言語テキスト処理システムの研究』
41. KUMAGAI, Toru; and KAIDA, Yoshihiro. 1988. *Gobarchitra Village and Chandpur Irrigation Project* (JSARD Working Paper No. 5).
42. FUKUI, Hayao; KAIDA, Yoshihiro; and KUCHIBA, Masuo, eds. 1988. *A Rice-Growing Village Revisited: An Integrated Study of Rural Development in Northeast Thailand* (The Third Interim Report).
43. THAN TUN, ed. 1988. *The Royal Order of Burma, A. D. 1598-1885, Part Eight, A. D. 1819-1853.*
44. Aris PONIMAN; 高谷好一 1988. 『伝統農業フィールドノート集』第1巻.
45. SAKURAI, Yumio; and NITTA, Eiji, eds. 1988. *Primitive Agriculture in Viet Nam and Japan I.*
46. 桜井由躬雄; 新田 栄治 編. 1988. 『日本・ベトナム初期農耕比較論 II』
47. YOSHIHARA, Kunio, ed. 1989. *Oei T'iong Ham Concern: The First Business Empire of Southeast Asia.*
48. TSUBOUCHI, Yoshihiro, ed. 1989. *The Formation of Urban Civilization in Southeast Asia.*
49. YOSHIHARA, Kunio, ed. 1989. *Thai Perceptions of Japanese Modernization* (Published in association with Falcon Press Sdn. Bhd., Kuala Lumpur).
50. SAKURAI, Yumio. 1989. *Land, Water, Rice, and Men in Early Vietnam: Agrarian Adaptation and Socio-Political Organization* (Translated by Thomas A. Stanley).

51. MARASRI SIVARAKS, compiled. 1989. *Catalog of Thai Cremation Volumes in the Charas Collection*.
52. THAN TUN, ed. 1989. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Nine, A. D. 1853-1885*.
53. THAN TUN, ed. 1990. *The Royal Orders of Burma, A. D. 1598-1885, Part Ten, Epiloge, Glossary and Index*.
54. YOSHIHARA, Kunio, ed. 1990. *Japan in Thailand* (Published in association with Falcon Press Sdn. Bhd., Kuala Lumpur).
55. 田中 耕司 編. 1990. 『東南アジア伝統農業資料集成』第3巻.
56. NAI PAN HLA. 1990. *An Introduction to Mon Language*.
57. Tsubouchi, Yoshihiro, ed. 1991. *The Formation of Urban Civilization in Southeast Asia 2*.
58. 坪内 良博 編. 1991. 『集落人口の性格と変動に関する比較社会学的研究』
59. 高谷 好一 編. 1991. 『フロンティア空間としての東南アジア』
60. 田中 耕司 編. 1991. 『東南アジア伝統農業資料集成』第4巻.
61. 深見 純生 訳. 古川 久雄 編. 1991. 『ジャワ・マドゥラ古代遺跡・遺物目録』
62. 古川 久雄; 渡部 武 編. 1993. 『中国先史・古代農耕関係資料集成』
63. 田中 耕司 編. 1994. 『東南アジア海域世界の森と海』
64. Sujin BUTDISUWAN. 1995. *Cumulative Index for Thai Book Collection (1989-Jan. 1995) in the Library of the Center for Southeast Asian Studies Kyoto University*

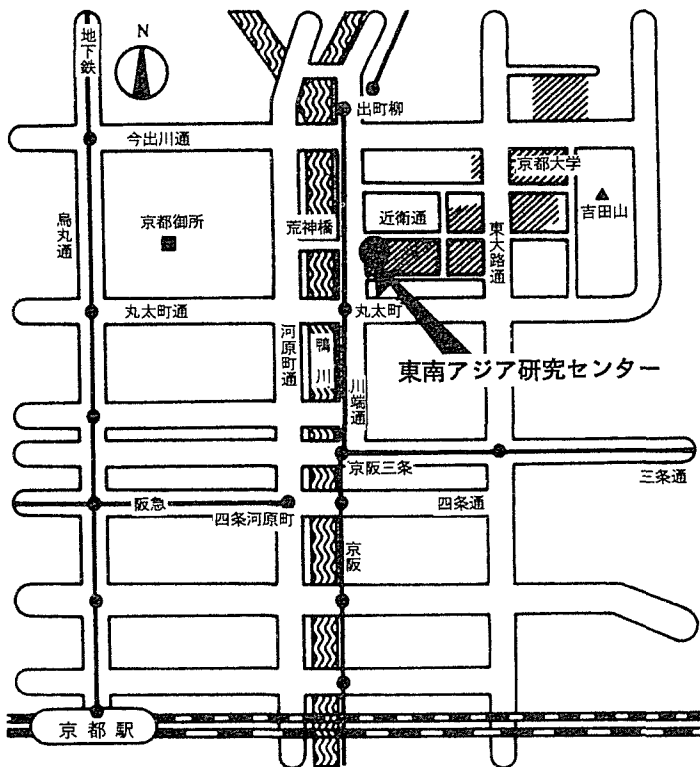
なお、センター関係者の研究報告書のうち、センター以外の機関により出版されたものを、参考までに掲げておく。

JSARD Publication Series (Published by JICA Bangladesh Office)

1. JSARD Editorial Committee, ed. 1988. *Proceedings of the Mid-term Review Workshop of JSARD, January 24, 1988* (JSARD Publication No. 6).
2. KAIDA, Yoshihiro; and HOSSAIN, S. M. Altaf, eds. 1988. *Gobarchitra Village in Chandpur* (JSARD Publication No. 7).
3. UCHIDA, Haruo *et al.*, eds. 1988. *Jawar Village in Kishoreganj* (JSARD Publication No. 8).
4. HOSSAIN, S. M. Altaf. 1988. *Evolution of Cropping Systems in My-mensingh and Comilla Regions* (JSARD Publication No. 12).

5. NISHIMURA, Hiroyuki *et al.*, eds. 1989. *Three Villages in Comilla* (JSARD Publication No. 9).
6. MAHARJAN, Keshav Lall. 1989. *Phanishair Village in Chandpur* (JSARD Publication No. 11).
7. CHAKRABORTY, Ratan Lal ; and NOMA, Haruo, compiled. 1989. *Select Records on Agriculture and Economy of Comilla District, 1782-1867* (JSARD Publication No. 13).
8. MAMUN, Abdullah Al. 1989. *Agro-ecological Studies of Weed in Bangladesh* (JSARD Publication No. 14).
9. NOMA, Haruo ; CHAKRABORTY, Ratan Lal, compiled. 1990. *Select Records on Agriculture, Land Revenue, Economy and Society of Noakhali District, 1849-1878* (JSARD Publication No. 15).
10. KAIDA, Yoshihiro, ed. 1990. *Tetulia Village in Bogra* (JSARD Publication No. 16).
11. MAMUN, A. Al. 1990. *Agro-ecological Studies of Weeds and Weed Control in a Flood-prone Village of Bangladesh* (JSARD Publication No. 17).
12. JSARD Editorial Committee, ed. 1990. *Proceedings of the Second JSARD Workshop, Held on August 20-21, 1989* (JSARD Publication No. 18).
13. KAIDA, Yoshihiro, ed. 1990. *A Review of Related Studies* (JSARD Publication No. 19).
14. KAIDA, Yoshihiro *et al.*, eds. 1990. *Key Questions and Issues from Village-Based Studies, 1986-1989* (JSARD Publication No. 20).

案内地図



- ◎「京都駅前」から市バス4、14、特17、または205に乗車。
河原町通「荒神口」で下車、東へ徒歩5分。
- ◎京阪電車「丸太町駅」から北へ徒歩5分。

京都大学東南アジア研究センター

〒606 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel. (075) 753-7302
Fax (075) 753-7350

